

# I 農林水産物の出荷動向について

## 1 米（元年産）

### (1) 米の出荷動向（全国）

—令和元年産米の全国作況指数は99—

令和元年は全国の作況指数が99となり、全国総生産量は776万トン、うち民間流通米の数量は757万トンと推計されます（表I-1-1）。

表I-1-1 全国の米の生産・出荷の推移

単位：万トン

	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産
作況指数	100	103	100	98	99
総生産量	799	804	782	778	776
民間流通米 (うち加工米)	774 (25)	781 (28)	762 (26)	766 (28)	757 (30)
政府備蓄米	25	23	20	12	19

資料：作物統計（農林水産省）、米をめぐる関係資料（農林水産省）

※ 民間流通米は、農産物検査数量から政府備蓄米数量を引いたもの。

—全国の作付面積の第1位は、コシヒカリ—

令和元年産うるち米の品種別作付面積は、第1位が「コシヒカリ」で全体の33.9%を占めています。第2位は「ひとめぼれ」(9.4%)、第3位は「ヒノヒカリ」(8.4%)となっています（表I-1-2）。

表I-1-2 水稲うるち米の品種別作付面積上位10品種

単位：作付面積割合%

	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産
第1位	コシヒカリ (36.1)	コシヒカリ (36.2)	コシヒカリ (35.6)	コシヒカリ (35.0)	コシヒカリ (33.9)
第2位	ひとめぼれ (9.7)	ひとめぼれ (9.6)	ひとめぼれ (9.4)	ひとめぼれ (9.2)	ひとめぼれ (9.4)
第3位	ヒノヒカリ (9.0)	ヒノヒカリ (9.1)	ヒノヒカリ (8.9)	ヒノヒカリ (8.6)	ヒノヒカリ (8.4)
第4位	あきたこまち(7.2)	あきたこまち(7.0)	あきたこまち(7.0)	あきたこまち(6.8)	あきたこまち(6.7)
第5位	ななつぼし (3.4)	ななつぼし (3.5)	ななつぼし (3.5)	ななつぼし (3.4)	ななつぼし (3.4)
第6位	はえぬき (2.8)	はえぬき (2.8)	はえぬき (2.8)	はえぬき (2.8)	はえぬき (2.8)
第7位	キヌヒカリ (2.7)	キヌヒカリ (2.5)	キヌヒカリ (2.4)	キヌヒカリ (2.2)	まっしぐら (2.2)
第8位	まっしぐら (1.9)	まっしぐら (1.8)	まっしぐら (1.9)	まっしぐら (2.0)	キヌヒカリ (2.1)
第9位	あさひの夢 (1.6)	あさひの夢 (1.6)	あさひの夢 (1.7)	あさひの夢 (1.6)	あさひの夢 (1.7)
第10位	こしいぶき (1.5)	ゆめぴりか (1.5)	ゆめぴりか (1.6)	ゆめぴりか (1.5)	ゆめぴりか (1.6)

資料：水稲の品種別作付動向について（米穀安定供給確保支援機構）

—令和元年産米の相対取引価格は横ばい—

令和元年産米の相対取引価格（全銘柄平均価格（運賃、包装代、消費税相当額を含む））は、前年比で横ばいとなりました（表I-1-3）。

表I-1-3 米の相対取引価格（出荷業者・通年平均）

主食用1等、単位：円/60kg

	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産
全銘柄平均価格	13,175	14,307	15,595	15,688	15,716
前年産比較 (%)	110	109	109	101	100

資料：米の相対取引価格（農林水産省）

※ 相対取引価格は、全国出荷団体等と卸売業者等の主食用相対取引における1等米の数量及び価格により加重平均したもの。なお、全銘柄平均価格は、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格。価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

－米の消費量は、長期的に減少している－

米の1人当たり消費量は、昭和37年度の年間118.3kgをピークに、その後、減少しています。

平成20年度には1人当たりの年間消費量は60kgを切り、令和元年度は、53.0kgの消費量となっています(表I-1-4)。

表I-1-4 全国における米の一人あたり年間消費量 単位：kg/年

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
年間消費量	54.6	54.4	54.2	53.5	53.0

資料：食料需給表（農林水産省）、元年度は概算値

(2) 岩手県産米の出荷動向

－令和元年岩手県作況指数は103－

岩手県の令和元年産米の作況指数は103となり、収穫量は280千トンとなりました。このうち、農産物検査を受検した数量は213千トンとなっており、農家保有数量は66千トンと推計されます(表I-1-5、図I-1-1)。

令和元年産水稲うち玄米の農産物検査で最も数量が多いのは、ひとめぼれで72.7%、次いであきたこまち14.6%、銀河のしずく4.1%となっています(表I-1-6)。特に、ひとめぼれは、平成5年以降岩手県で最も出荷数量の多い品種となっています。

表I-1-5 本県における出荷数量の推移 単位：千トン

	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産
作況指数	105	102	98	101	103
収穫量	288	272	265	273	280
民間流通米 (うち加工用米)	231 (7)	218 (7)	206 (8)	202 (9)	210 (10)
政府備蓄米	8.0	7.2	5.2	0.2	3.5
農家保有数量	50	47	54	70	66

資料：作物統計（農林水産省）、備蓄米の政府買入入札の結果（農林水産省）

※ 民間流通米は、農産物検査数量から政府備蓄米数量を引いたもの。

※ 農家保有数量は、収穫量から農産物検査数量を引いた推定値。

表I-1-6 主な産地品種銘柄別検査数量及び割合 単位：トン、%

産地品種銘柄	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産
ひとめぼれ	157,821(78.2)	147,574(79.3)	132,026(75.6)	127,040(73.9)	134,058(72.7)
あきたこまち	31,347(15.5)	26,364(14.2)	27,437(15.7)	25,618(14.9)	26,912(14.6)
いわてっこ	5,611(2.7)	4,782(2.6)	4,518(2.6)	5,059(2.9)	6,694(3.6)
どんびしゃり	4,434(2.2)	3,923(2.1)	3,363(1.9)	3,673(2.1)	3,922(2.1)
銀河のしずく	—	913(0.5)	4,050(2.3)	6,649(3.9)	7,699(4.1)
金色の風	—	—	540(0.3)	1,041(0.6)	1,397(0.8)
合計	201,741	186,066	174,534	171,924	184,202

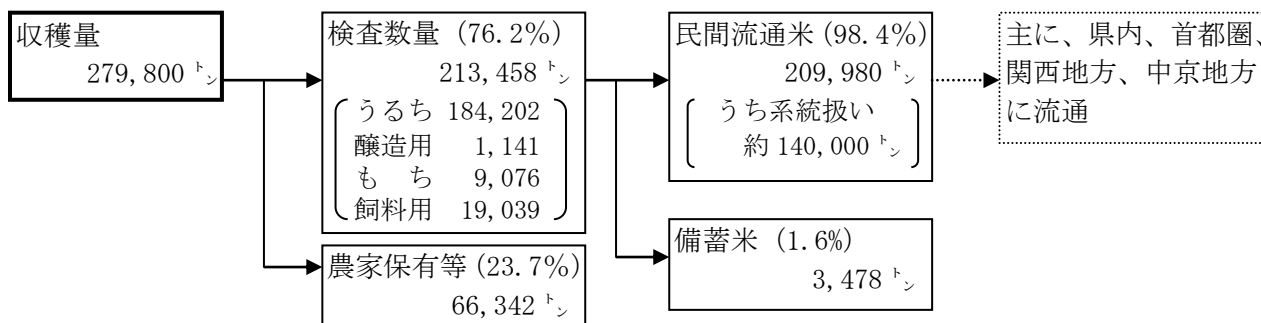
資料：農産物検査結果（農林水産省）

※ ( ) は、水稲うち玄米の検査数量合計に占める割合

※ —はデータ非公表

※ 検査数量は、政府備蓄米数量も含む

図 I-1-1 県産米の流通状況（令和元年産）



資料：作物統計調査（農林水産省）、農産物検査結果（農林水産省）、県産米戦略室業務資料、備蓄米の政府買入入札の結果（農林水産省）

—令和元年産県産米の相対取引価格はほぼ横ばい—

令和元年産県産米の相対取引価格は、ひとめぼれが 60kg 当たり 15,312 円、あきたこまちが 15,180 円と前年比でほぼ横ばいとなりました（表 I-1-7）。

表 I-1-7 県産米の相対取引価格（出荷業者・通年平均） 主食用 1 等、単位：円/60kg

品種銘柄	27 年産	28 年産	29 年産	30 年産	元年産
ひとめぼれ	12,930	13,840	15,172	15,337	15,312
あきたこまち	12,422	13,476	15,043	15,255	15,180
銀河のしずく	-	-	-	-	16,241
(参考) 全銘柄平均価格	13,175	14,307	15,595	15,688	15,716

資料：米の相対取引価格（農林水産省）

※ 相対取引価格は、全国出荷団体等と卸売業者等の主食用相対取引における 1 等米の数量及び価格により加重平均したもの。なお、全銘柄平均価格は、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格。価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

表 I-1-8 銘柄別産地別相対取引価格の推移

単位：円/60 kg

品種銘柄 (産地)	27 年産	28 年産	29 年産	30 年産	元年産	
ひとめぼれ (岩手)	12,930	13,840	15,172	15,337	15,312	
	(宮城)	12,827	13,950	15,496	15,535	15,511
	(福島)	11,146	13,401	14,955	14,981	14,913
あきたこまち (岩手)	12,422	13,476	15,043	15,255	15,180	
	(秋田)	12,845	14,175	15,995	15,843	15,799
コシヒカリ (新潟/魚沼)	20,442	20,434	20,782	21,147	21,009	
	(新潟/一般)	16,186	16,175	16,924	17,042	17,391
	(福島/会津)	13,424	14,212	15,321	15,528	15,392
はえぬき (山形)	12,445	13,841	15,360	15,407	15,397	
つや姫 (山形)	17,953	17,848	18,175	18,347	18,588	
つがるロマン (青森)	11,787	13,434	15,112	15,075	15,059	
ななつぼし (北海道)	13,117	14,244	15,882	15,996	15,869	
ゆめぴりか (北海道)	16,209	16,479	17,226	16,266	16,800	

資料：米の相対取引価格（農林水産省）

## 2 小麦・大豆

### (1) 小麦

#### －水田への作付けが55%－

令和元年産小麦の全国の作付面積は、212千ha（前年度212千ha）で、そのうち水田への作付けが116千haであり、55%となっています（表I-2-1）。

表I-2-1 小麦の作付動向（全国）

単位：千ha

年次	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和元年産
作付面積	210	213	213	214	212	212	212
うち水田	112	114	115	117	116	116	116
うち畑	98	99	98	97	97	96	96

資料：農林水産省 作物統計

令和元年産小麦の全国の収穫量は、1,037千トン（前年比114%）、作況指数は123%となっています。

地域別の収穫量をみると、北海道が678千トンで、全体の65%を占め、以下、九州・沖縄、関東・東山の順となっています（表I-2-2）。

表I-2-2 地域別小麦の作付面積と収穫量

	27年産		28年産		29年産		30年産		令和元年産	
	作付面積 (千ha)	収穫量 (千トン)	作付面積 (千ha)	収穫量 (千トン)	作付面積 (千ha)	収穫量 (千トン)	作付面積 (千ha)	収穫量 (千トン)	作付面積 (千ha)	収穫量 (千トン)
北海道	122.6	731.0	122.9	524.3	121.4	471.1	121.6	607.6	121.4	677.7
東北	7.0	16.3	6.9	18.3	6.6	12.6	7.0	17.3	6.4	18.5
関東・東山	20.8	79.6	21.0	75.4	20.9	74.2	21.1	80.4	20.8	81.0
北陸	0.2	0.3	0.3	0.8	0.4	0.7	0.4	0.9	0.4	0.7
東海	15.9	47.8	16.0	50.0	15.5	52.8	15.9	56.6	16.0	68.6
近畿	9.4	21.9	9.4	21.3	9.0	23.2	9.3	22.4	8.4	26.1
中国	2.0	5.1	2.2	4.7	2.4	6.8	2.3	6.8	2.5	9.8
四国	1.9	5.5	1.9	5.4	2.2	6.9	2.1	7.4	2.3	9.9
九州・沖縄	33.3	96.7	33.8	90.7	33.4	116.6	32.7	107.3	33.4	144.7
全国	213.1	1,004.2	214.4	790.8	211.9	764.9	212.3	906.7	211.6	1,037.0

資料：農林水産省 作物統計（東山は、山梨県と長野県）

#### －全国の需要量は、減少傾向－

小麦の総需要量（国内消費仕向量）は、減少傾向にあります。

令和元年度の総需要量は6,323千トンで、総供給量は6,349千トン（国内生産量1,037千トン、輸入量5,312千トン）でした。

令和元年度の国内での小麦の流通は、外麦買入及び民間流通により、5,225千トンが食料用として、630千トンが飼料用として流通しています（表I-2-3）。

国内産麦は、主食用として小麦粉などに加工されています。

表 I-2-3 小麦の需給状況

単位：千トン

年次	国内生産量	輸 入 量	国内消費仕向量		
			(総需要量)	うち飼料用	うち粗食料
27年度	1,004	5,660	6,583	780	5,340
28年度	791	5,624	6,621	801	5,362
29年度	907	5,939	6,577	735	5,376
30年度	765	5,638	6,510	803	5,227
令和元年度	1,037	5,312	6,323	630	5,225

資料：農林水産省 食料需給表（年度）

—県産小麦の生産量は前年比 156%—

令和元年産の県産小麦は、作付面積が前年とほぼ同じ、3,760ha（前年比 98%）となりました。

10a 当たり収量は、266kg/10a と前年産を大きく上回り、生産量は 10,000 トン（前年比 156%）となりました（表 I-2-4）。

令和元年産の作付面積の最も大きい品種は、「ゆきちから」で 2,053ha（54.6%）、続いて「ナンブコムギ」が 1,230ha（32.7%）、「銀河のちから」が 396ha（10.5%）、「もち姫」が 37ha（1.0%）、「その他」45ha（1.2%）となっており、ゆきちからの作付面積が増加傾向にあります（表 I-2-5）。

表 I-2-4 県産小麦の生産・集荷の推移

	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和元年産
作付面積 (ha)	3,860	3,900	3,860	4,020	3,830	3,760
収穫量 (t)	6,370	7,290	8,450	8,160	6,400	10,000
単収 (kg/10a)	165	187	219	203	167	266
(単収全国比)	41.1	39.7	59.3	47.5	46.3	54.3

資料：農林水産省 作物統計

\*10a 当たり平均収量：過去7カ年のうち、最高及び最低を除いた5カ年の平均値

表 I-2-5 令和元年産小麦の県内作付け状況

品種名	作付面積 (ha)	作付割合 (%)
ナンブコムギ	1,230	32.7%
ゆきちから	2,053	54.6%
ネバリゴシ	25	0.7%
銀河のちから	396	10.5%
もち姫	37	1.0%
ゆきはるか	9	0.2%
キタカミコムギ	5	0.1%
ナンブキラリ	6	0.1%
計	3,760	

資料：農産園芸課 国産麦の生産拡大に向けた取組状況等調査

※ アローワンス

小麦の収穫量は天候の影響を受け変動するため、生産者と実需者との間の契約数量に一定の幅（アローワンス）が設けられ、アローワンスの範囲であれば、実需者は価格などその他条件については当初契約どおりのまま麦を引きとることとされています。小麦の播種前契約の場合、本県では契約数量の±5%としています。

## (2) 大豆

### －令和元年産大豆の作付面積は増加、収穫量は減少－

令和元年産大豆の作付面積（全国）は143,500haで、前年産に比べ3,100ha（前年対比98%）減少し、収穫量は、217,800tで、前年産に比べ6,500t（同103%）増加しました。

また、10a当たり収量は、152kg/10aとなり、前年を上回りました（同106%）（表I-2-6）。

表I-2-6 全国の大豆の生産・集荷の推移

	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和元年産
作付面積(ha)	131,600	142,000	150,000	152,000	146,600	143,500
収穫量(トン)	231,800	243,100	238,000	253,000	211,300	217,800
単収(kg/10a)	176	171	159	168	144	152
販売価格(円/60kg)	13,380	10,155	9,364	8,202	9,124	10,346

資料：農林水産省 作物統計 （公財）日本特産農産物協会

注1：販売価格は、入札取引における落札価格（消費税込）

### －令和元年産岩手県産大豆は、前年を上回る収穫量－

令和元年産の県産大豆の作付面積は4,290haで、前年産に比べ300ha（前年対比93%）減少しました。

収穫量は6,310tで、前年より70t増加し、単収は147kg/10aと前年を上回りましたが（表I-2-7）、10a当たり平均収量\*（131kg/10a）は、全国を下回っています。

表I-2-7 県産大豆の生産・集荷の推移

	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和元年産
作付面積(ha)	4,020	4,260	4,550	4,640	4,590	4,290
収穫量(t)	5,470	6,520	6,680	5,380	6,240	6,310
単収(kg/10a)	136	153	147	116	136	147
(単収全国比)	77.3	89.5	92.5	69.0	94.4	96.7

資料：農林水産省 作物統計

\*10a当たり平均収量：過去7カ年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値

### 3 野菜

#### (1) 出荷動向

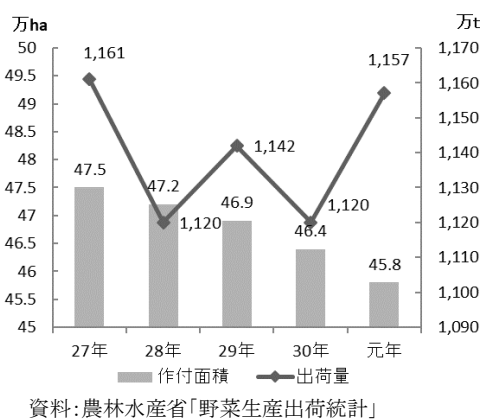
##### ア 全国

##### 一 国産野菜の作付面積・出荷量は増加一

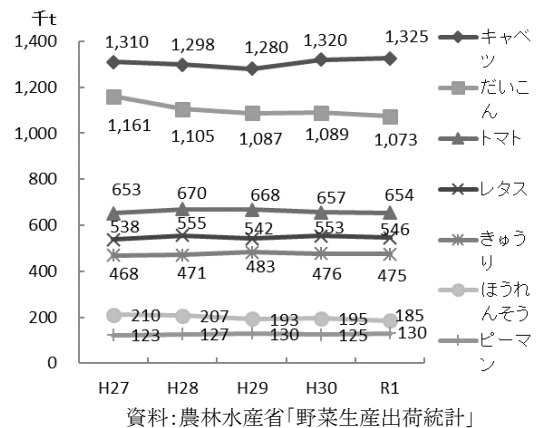
令和元年産国産野菜（41品目）の作付面積は、45万7,900ha（前年比98.7%）と、前年より6,200ha減少し、出荷量は、1,157万トン（前年比103.4%）と、前年より33万7,000トン増加しています（図I-3-1）。

主な品目の出荷量は、キャベツ132万5,000トン（前年比100.5%）、だいこん107万3,000トン（前年比98.5%）、トマト65万3,800トン（前年比99.5%）、レタス54万5,600トン（前年比98.6%）、きゅうり47万4,700トン（前年比99.7%）、となっています（図I-3-2）。

図I-3-1 野菜の作付面積及び出荷量の推移（全国）



図I-3-2 主要野菜の出荷量の推移（全国）



#### イ 県内

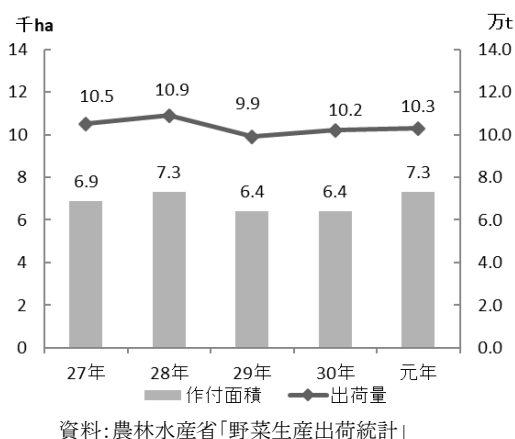
##### 一 県産野菜の作付面積は減少、出荷量は増加一

令和元年産県産野菜（41品目）の作付面積は、7,290ha（平成28年比100.0%※）、出荷量は、10万2,705トン（平成28年比94.7%）と5,795トン減少しています（図I-3-3）。

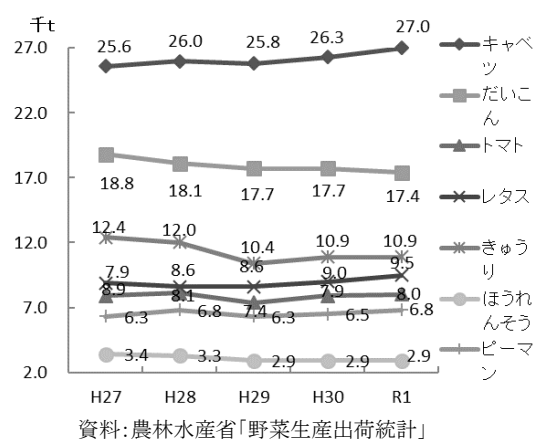
※ 平成30年産においては、かぶ・こまつな・ちんげんさい・ごぼう・れんこん・ばれいしょ・みつば・みずな・セルリー・カリフラワー・にら・たまねぎ・かぼちゃ・グリーンピース・そらまめ・しょうが・いちご・メロン・すいかのデータは主要産地のみで、岩手県のデータがない。

主な品目の出荷量は、キャベツ2万7,000トン（前年比102.7%）、だいこん1万7,400トン（前年比98.3%）、きゅうり1万900トン（前年比100.0%）となっています（図I-3-4）。

図I-3-3 野菜の作付面積及び出荷量（本県）



図I-3-4 主要野菜の出荷量の推移（本県）



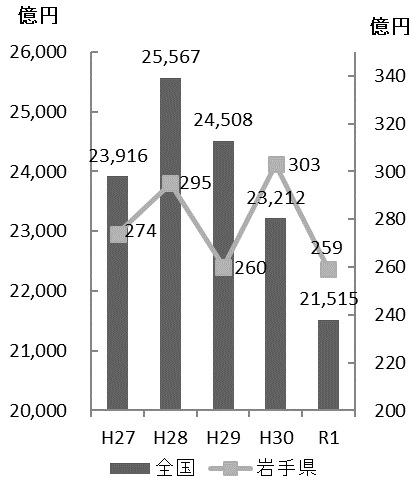
## (2) 野菜の生産額

### ー野菜産出額は全国減少、本県減少ー

令和元年の全国の野菜産出額は、2兆 1,515 億円（前年比 92.7%）と前年より 1,079 億円減少しています。うち、本県は 259 億円（前年比 85.5%）と前年より 44 億円減少しています（図 I-3-5）。

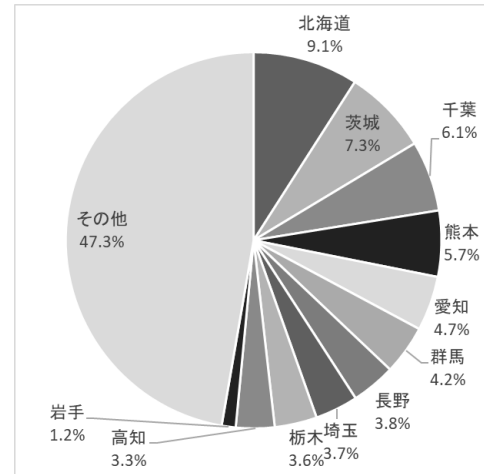
都道府県別の産出額割合をみると、本県は 1.2%となっています（図 I-3-6）。

図 I-3-5 野菜産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

図 I-3-6 野菜産出額の構成割合（令和元年度）



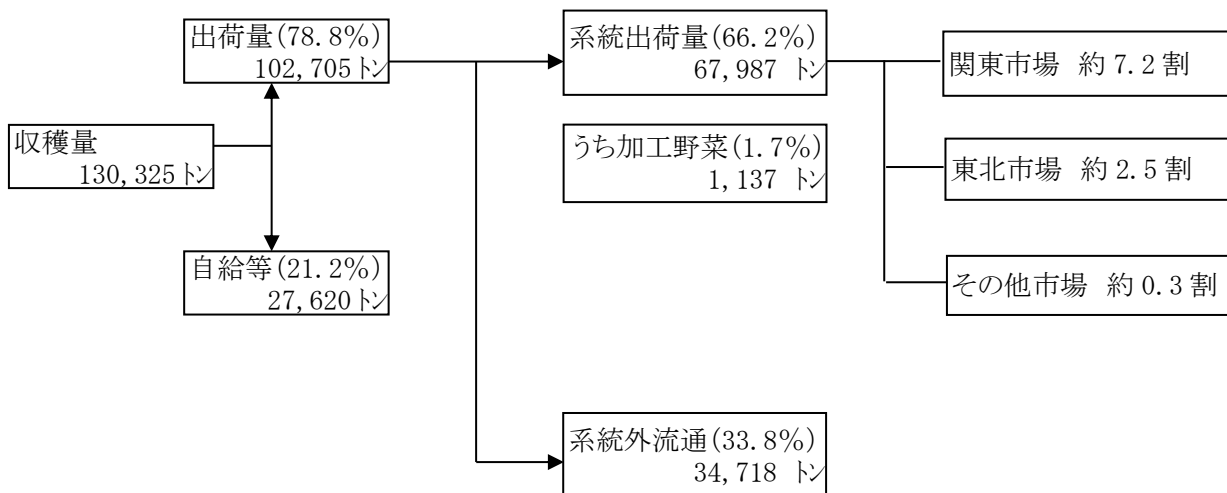
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

## (3) 本県野菜の流通状況

### ー野菜出荷量の約7割が系統出荷ー

令和元年産野菜の流通状況を見ると、県内で生産された野菜のうち 78.8%（10 万 2,705 トン）が出荷されており、そのうち 66.2%が系統出荷となっています（図 I-3-7）。

図 I-3-7 県産野菜の流通状況（令和元年度）



資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」、JA 全農いわて聞き取り



#### (4) 東京都中央卸売市場における本県主要野菜の取扱状況

##### ア 入荷動向

東京都中央卸売市場における野菜の取扱数量をみると、令和2年産の主要野菜計は146万9,865トン(前年産対比97.8%)で、前年をやや下回っています。

全国に占める本県の割合をみると、品目ごとに割合は異なっていますが、ピーマンでは14.3%、きゅうりでは5.2%となっています(表I-3-1)。

表 I-3-1 東京都中央卸売市場における主要野菜の取扱数量

単位:トン

	H28年		H29年		H30年		R元年		R2年	
	全国	県産	全国	県産	全国	県産	全国	県産	全国	県産
だいこん	131,282	1,035 (0.8%)	125,283	745 (0.6%)	119,436	1,521 (1.3%)	118,030	1,599 (1.4%)	112,543	1,206 (1.1%)
キャベツ	190,604	25,471 (13.4%)	190,136	8,356 (4.4%)	199,737	8,070 (4.0%)	197,425	9,665 (4.9%)	193,942	9,706 (5.0%)
レタス	99,963	845 (0.8%)	74,751	449 (0.6%)	77,452	322 (0.4%)	75,126	325 (0.4%)	71,784	189 (0.3%)
ほうれんそう	15,236	757 (5.0%)	14,203	669 (4.7%)	15,050	552 (3.7%)	14,404	516 (3.6%)	15,731	374 (2.4%)
ねぎ	53,217	958 (1.8%)	52,315	835 (1.6%)	52,519	1,007 (1.9%)	53,039	928 (1.7%)	49,797	997 (2.0%)
きゅうり	78,592	3,862 (4.9%)	77,463	4,058 (5.2%)	75,068	3,943 (5.3%)	75,392	4,426 (5.9%)	76,051	3,965 (5.2%)
トマト	86,034	2,560 (3.0%)	85,058	2,503 (2.9%)	81,827	2,647 (3.2%)	80,740	2,726 (3.4%)	78,655	2,534 (3.2%)
ピーマン	21,120	3,096 (12.8%)	23,724	2,827 (11.9%)	23,445	2,935 (12.5%)	24,267	3,288 (13.5%)	25,480	3,653 (14.3%)
スイートコーン	14,160	313 (2.2%)	15,072	265 (1.8%)	13,506	214 (1.6%)	13,916	290 (2.1%)	14,000	173 (1.2%)
主要野菜計	1,526,415	25,471 (1.7%)	1,528,439	25,303 (1.7%)	1,501,497	25,548 (1.7%)	1,503,623	28,532 (1.9%)	1,469,865	26,595 (1.8%)

資料：東京都中央卸売市場統計情報/品目別取扱実績

##### イ 令和2年年産品目別の状況

###### ① ほうれんそう

東京都中央卸売市場における本県の出荷量は、374トンと全国第7位で、出荷割合は2.4%となっています。最も出荷量の多い月は6月の76トンで、本県の年間出荷量の20.3%を占めています。

また、単価をみると、全体的に市場平均価格よりも高く取引されています(表I-3-2)。

表 I-3-2 ほうれんそうの出荷量及び単価

単位:トン

	県名	年計			5月		6月		7月		8月		9月	
		数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	群馬	5,779	36.7%	505	583	406	448	460	287	712	212	811	263	922
2位	茨城	4,991	31.7%	479	580	424	402	483	248	621	121	723	91	842
3位	栃木	1,593	10.1%	627	32	544	208	586	206	768	197	850	164	939
4位	埼玉	1,081	6.9%	484	118	400	42	447	14	624	4	798	7	853
7位	岩手	374	2.4%	679	65	527	76	559	52	758	38	895	36	975
	市場計	15,731	100.0%	514	1,526	427	1,283	503	914	714	678	828	651	929

注：単価はkg当たりの卸売平均価格 資料：東京都中央卸売市場統計情報/産地別取扱実績

###### ② ピーマン

東京都中央卸売市場における本県の出荷量は、3,653トンと全国第3位で、出荷割合は14.3%となっています。最も出荷量の多い月は8月の1,337トンで、本県の年間出荷量の36.6%を占めています。

また、単価をみると、6、7月は市場平均価格よりも高く取引されているものの、8月以降は市場平均価格を下回っています(表I-3-3)。

表 I-3-3 ピーマンの出荷量及び単価

単位:トン

	県名	年計			6月		7月		8月		9月		10月	
		数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	茨城	10,983	43.1%	524	1,956	493	1,047	553	509	491	888	468	988	619
2位	宮崎	5,097	20.0%	577	164	465	73	811	32	788	3	806	79	695
3位	岩手	3,653	14.3%	473	115	622	554	667	1,337	452	1,077	401	499	450
4位	高知	2,500	9.8%	558	178	429	22	669	18	633	13	627	73	676
5位	鹿児島	1,346	5.3%	521	9	361	1	514	0	720	0	1,382	14	688
	市場計	25,480	100.0%	527	2,482	492	1,970	607	2,543	468	2,476	428	1,898	559

注：単価はkg当たりの卸売平均価格 資料：東京都中央卸売市場統計情報

### ③ キャベツ

東京都中央卸売市場における本県の出荷量は、9,706 トンと全国第6位で、出荷割合は5.0%となっています。最も出荷量の多い月は8月の2,562 トンで、本県の年間出荷量の26.4%を占めています。

また、単価をみると、年間を通じて市場平均価格よりも低く取引されています。(表I-3-4)。

表I-3-4 キャベツの出荷量及び単価

単位：トン

	年計				6月		7月		8月		9月		10月	
	県名	数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	群馬	48,589	25.1%	117	2,210	109	11,405	100	11,467	166	11,724	119	10,539	89
2位	愛知	44,408	22.9%	81	719	108	48	102	6	139	1	160	205	77
3位	千葉	43,467	22.4%	89	8,154	85	460	66	84	167	118	137	1,587	86
4位	神奈川	22,538	11.6%	112	659	78	2	59	0	266	0	498	159	79
6位	岩手	9,706	5.0%	79	156	84	2,411	63	2,562	127	2,076	96	2,402	82
	市場計	193,942	100.0%	99	16,917	90	16,749	99	15,510	166	15,430	120	17,755	90

注：単価はkg当たりの卸売平均価格 資料：東京都中央卸売市場統計情報

### ④ きゅうり

東京都中央卸売市場における本県の出荷量は、3,965 トンと全国第7位で、出荷割合は5.2%となっています。最も出荷量の多い月は8月の1,943 トンで、本県の年間出荷量の49.0%を占めています。

また、単価は市場平均価格をやや上回っています(表I-3-5)。

表I-3-5 きゅうりの出荷量及び単価

単位：トン

	年計				7月		8月		9月	
	県名	数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	群馬	13,609	17.9%	325	494	333	302	380	1,116	393
2位	埼玉	11,044	14.5%	323	274	324	76	333	701	386
3位	福島	10,815	14.2%	380	2,682	404	3,677	391	2,067	356
4位	宮崎	9,918	13.0%	354	8	526	0	347	1	548
7位	岩手	3,965	5.2%	346	883	396	1,943	350	911	290
	市場計	76,051	100.0%	336	6,625	380	8,660	371	7,161	346

注：単価はkg当たりの卸売平均価格 資料：東京都中央卸売市場統計情報

## 4 果実

### (1) 出荷動向（総論）

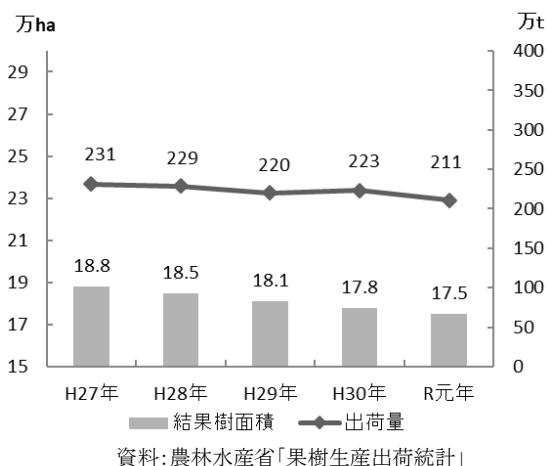
#### ア 全国

##### —国産果実の結果樹面積、総出荷数量はともに減少—

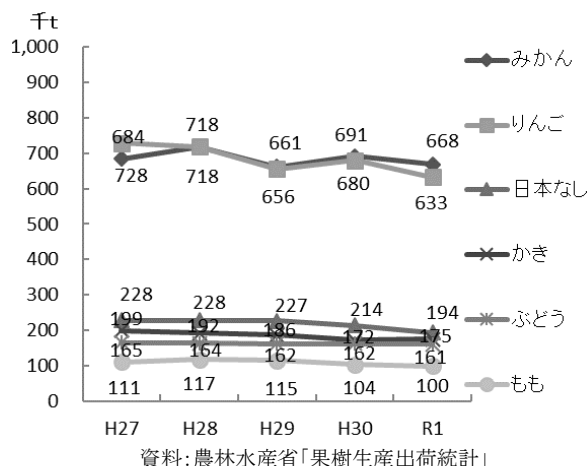
令和元年産国産果実の結果樹面積は、17万5,000ha(前年比98.4%)と、前年より2,800ha減少し、出荷量は、210万9,000トン(前年比94.9%)と、前年より11万3,700トン減少しています(図I-4-1)。

品目別の出荷量は図I-4-2のとおりです。

図I-4-1 果実の結果樹面積及び出荷量の推移(全国)



図I-4-2 主要果実の出荷量の推移(全国)



#### イ 県内

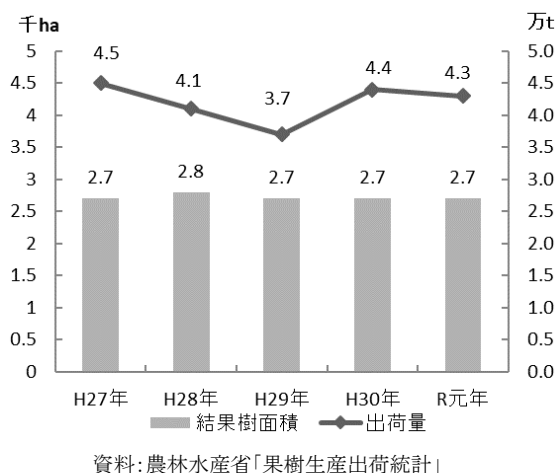
##### —県産果実の結果樹面積、総出荷数量はともに減少—

令和元年産県産果実の結果樹面積は、2,673ha(前年比99.2%)で、総出荷量は4万2,610トン(前年比97.6%)と前年より1,040トン減少しています(図I-4-3)。

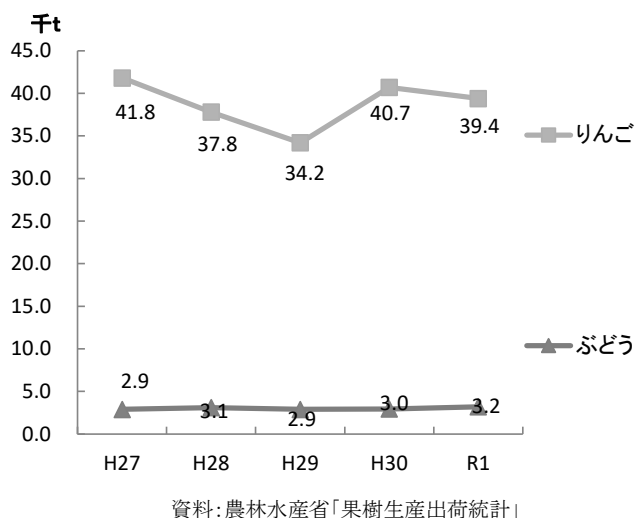
※ 令和元年産においては、日本なし・西洋なし・かき・もも・すもも・おうとう・うめ・くり・キウイフルーツのデータなし。

品目別の出荷量をみると、品目により増減が異なります(図I-4-4)。

図I-4-3 果実の結果樹面積及び出荷量の推移(本県)



図I-4-4 主要果実の出荷量の推移(本県)



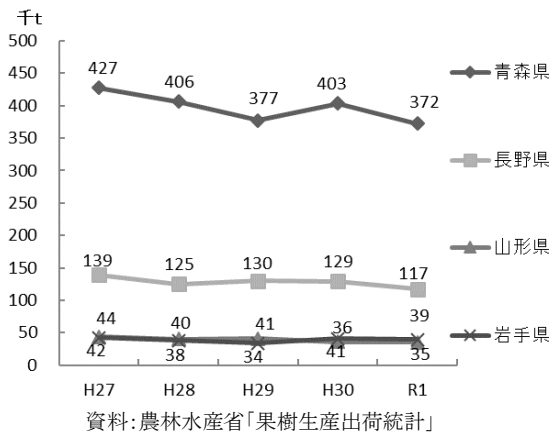
## (2) りんごの出荷動向

### ア 出荷量の推移・県別出荷割合

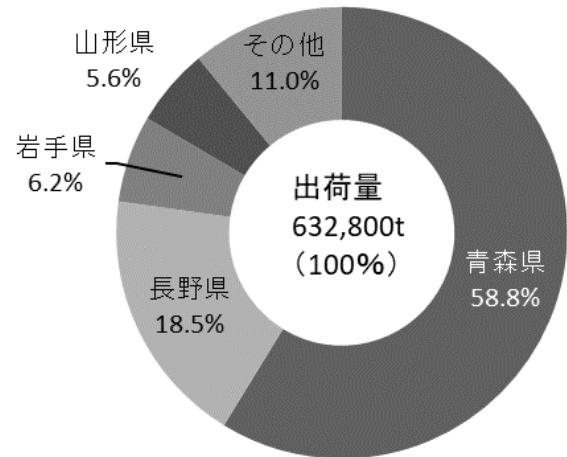
#### 一本県の出荷量は、全国で第3位

令和元年産りんごにおいて、本県の出荷量は全国で第3位となっています（図I-4-5）。都道府県別の出荷割合をみると、6.2%（対前年値+0.2ポイント）を占めています（図I-4-6）。

図I-4-5 りんごの出荷量の推移  
(主産県)



図I-4-6 りんごの都道府県別出荷割合(令和元年産)



### イ 品種別出荷割合の推移

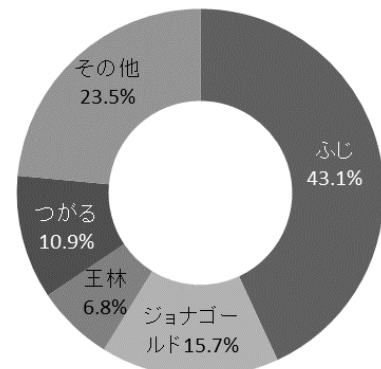
本県における品種別の出荷割合をみると、ふじの割合が高く、全国と比較すると、ジョナゴールドの割合が高いのが特徴となっています（表I-4-7、図I-4-8）。

表I-4-7 りんごの品種別出荷割合の推移

品種		H27	H28	H29	H30	R1
ふじ	全国	53.2	52.7	51.3	51.4	51.1
	岩手	45.5	45.5	44.7	41.6	43.1
ジョナゴールド	全国	7.0	7.2	7.1	6.9	6.8
	岩手	17.5	17.5	17.5	15.3	15.7
王林	全国	7.5	7.3	7.8	7.7	7.6
	岩手	7.1	6.7	7.0	6.6	6.8
つがる	全国	10.9	10.2	11.2	12.5	12.5
	岩手	10.3	10.2	10.5	10.5	10.9

資料:農林水産省「果樹生産出荷統計」

図I-4-8 本県の品種別出荷割合(令和元年産)

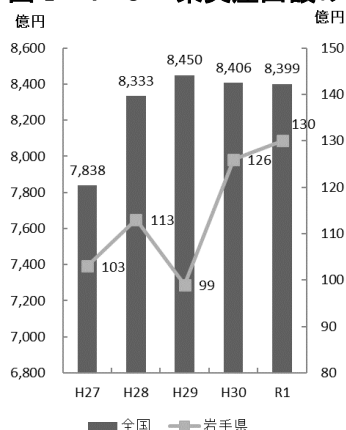


## (3) 果実の生産額

令和元年度の全国の果実産出額は、8,399億円（前年比99.9%）で、うち本県は130億円（前年比103.2%）となっています（図I-4-9）。

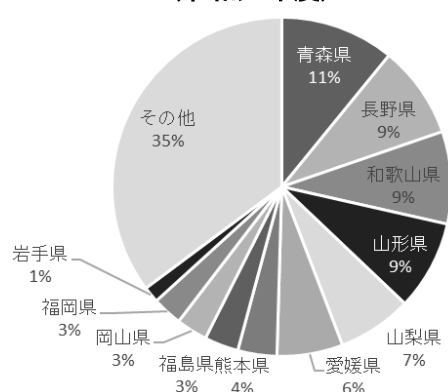
都道府県別の産出額割合をみると、本県は1.5%（対前年値+0.3ポイント）を占めています（図I-4-10）。

図 I-4-9 果実産出額の推移



資料:農林水産省「生産農業所得統計」

図 I-4-10 果実産出額の構成割合 (令和元年度)



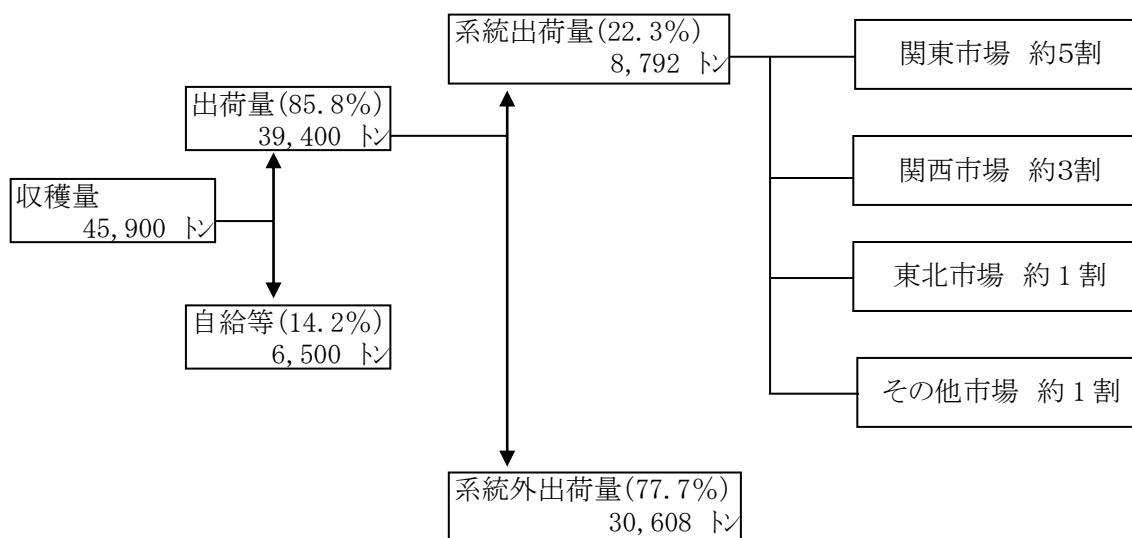
資料:農林水産省「生産農業所得統計」

#### (4) 県産りんごの流通状況

##### —出荷量の約3割が系統出荷—

令和元年度に県内で生産されたりんごのうち 85.8%の 39,400 トンが出荷されており、そのうち 24.9%が系統出荷となっています。(図 I-4-10)。

図 I-4-10 県産りんごの流通状況 (令和元年度)



資料:「果樹生産出荷統計」、JA 全農いわて聞き取り

## (5) 東京都中央卸売市場におけるりんごの取扱状況

### ア 入荷動向

東京都中央卸売市場における本県の令和2年産のりんごの取扱数量は、2,573 トン（前年比108.2%）で、前年に比べて194 トン増加しています。

全国に占める本県産の割合をみると、りんご類では4.2%で、前年に比べて0.3ポイント上昇しています（表I-4-2）。

表I-4-2 東京都中央卸売市場における主要果実の取扱数量

単位：トン

	28年		29年		30年		令和元年		令和2年	
	全国	県産	全国	県産	全国	県産	全国	県産	全国	県産
■りんご類	64,870	2,252 (3.5%)	66,387	2,187 (3.3%)	59,540	2,734 (4.6%)	61,485	2,379 (3.9%)	61,576	2,573 (4.2%)
つがる	5,870	240 (4.1%)	5,958	219 (3.8%)	5,254	281 (5.3%)	5,228	256 (4.9%)	5,190	170 (3.3%)
ジョナゴールド	2,730	447 (16.4%)	3,039	493 (16.2%)	2,588	424 (16.4%)	2,180	394 (18.1%)	1,979	397 (20.0%)
ふじ	38,672	904 (2.3%)	40,086	815 (2.0%)	35,605	1,109 (3.1%)	37,792	903 (2.4%)	35,353	1,072 (3.0%)
王林	3,688	77 (2.1%)	3,590	96 (2.7%)	2,796	79 (2.8%)	2,622	65 (2.5%)	2,938	72 (2.4%)
■ぶどう類	14,986	0 (0.00%)	14,427	0 (0.00%)	14,163	1 (0.01%)	14,072	0 (0.00%)	13,417	0.3 (0.0%)
■西洋なし類	3,343	17 (0.5%)	2,958	20 (0.7%)	2,614	9 (0.3%)	2,955	18 (0.6%)	2,626	5 (0.2%)
主要果実計	441,962	2,276 (0.5%)	430,686	2,212 (0.5%)	415,778	2,752 (0.7%)	413,053	2,401 (0.6%)	395,915	2,588 (0.7%)

資料：東京都中央卸売市場統計情報

### イ 令和2年産りんごの品種別状況

#### ① りんご類

本県の出荷量は、2,573 トンと全国第4位で、出荷割合は4.2%となっています。

最も出荷量の多い月は12月の751 トンで、本県の年間出荷量の29.2%を占めています。

また、平均単価をみると、10月を除き市場平均を上回っています（表I-4-3）。

表I-4-3 りんご類の出荷量及び単価

単位：トン

	年計				9月		10月		11月		12月	
	県名	数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	青森	47,145	76.6%	345	3,375	332	4,814	294	3,917	277	4,265	337
2位	長野	5,783	9.4%	347	590	370	1,938	336	1,628	321	546	270
3位	山形	4,593	7.5%	253	429	270	1,176	270	1,525	249	808	185
4位	岩手	2,573	4.2%	335	367	333	461	291	693	298	751	391
5位	秋田	704	1.1%	247	12	251	112	245	116	289	170	241
	市場計	61,576	100%	336	4,806	331	8,629	299	8,125	281	6,624	315

注：単価はkg当たりの卸売平均価格 資料：東京都中央卸売市場統計情報

#### ② つがる

本県の出荷量は、170 トンと全国第4位で、出荷割合は3.3%となっています。

最も出荷量の多い月は9月の294 トンで、本県の年間出荷量の93%を占めています。

また、平均単価をみると、全国市場平均を下回っています（表I-4-4）。

表I-4-4 つがるの出荷量及び単価

単位：トン

	年計				8月		9月		10月	
	県名	数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	青森	3,441	66.3%	328	128	488	2,566	338	745	266
2位	長野	955	18.4%	414	586	452	364	353	3	284
3位	山形	538	10.4%	288	241	340	294	248	3	121
4位	岩手	170	3.3%	312	0	-	294	314	15	296
5位	山梨	35	0.7%	476	35	476	0	-	0	-
	市場計	5,190	100%	340	1,006	429	3,412	330	767	266

注：単価はkg当たりの卸売平均価格 資料：東京都中央卸売市場統計情報

### ③ ジョナゴールド

本県の出荷量は、397 トンと全国第2位で、出荷割合は20.1%となっています。

最も出荷量の多い月は10月の247トンで、本県の年間出荷量の62.2%を占めています。

また、平均単価をみると、出荷の多い10月は、全国市場平均を上回っています(表I-4-5)。

表I-4-5 ジョナゴールドの出荷量及び単価

単位：トン

	年計				9月		10月		11月		12月	
	県名	数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	青森	1,573	79.5%	393	0	-	13	265	102	282	140	347
2位	岩手	397	20.1%	267	0	-	247	272	150	258	0	-
3位	山形	5	0.3%	175	0	-	3.7	185	1.4	148	0	-
	市場計	1,979		367	0	-	267	265	253	282	141	347

注：単価はkg当たりの卸売平均価格 資料：東京都中央卸売市場統計情報

### ④ ふじ

本県の出荷量は、1,072 トンと全国第4位で、出荷割合は3.0%となっています。

最も出荷量の多い月は12月の600トンで、本県の年間出荷量の56%を占めています。

また、平均単価をみると、11月から12月までは全国市場平均を上回っているものの、1月からは全国市場平均を下回っています(表I-4-6)。

表I-4-6 ふじの出荷量及び単価

単位：トン

	年計				9月		10月		11月		12月		1月		2月	
	県名	数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	青森	29,030,768	82.1%	358	8,272	450	96,218	316	951,204	333	3,193,487	332	4,477,545	301	5,672,787	273
2位	山形	2,606,442	7.4%	235	2,356	354	77,416	301	1,377,076	250	779,193	181	120,443	228	84,106	257
3位	長野	1,871,859	5.3%	305	0	-	252	311	1,199,324	331	494,375	270	77,509	226	42,938	215
4位	岩手	1,072,182	3.0%	315	0	-	0	-	343,271	334	600,409	316	113,792	274	14,710	195
5位	秋田	438,252	1.2%	237	0	-	1,110	157	50,365	256	125,640	238	142,852	249	95,425	213
	市場計	35,353,177	100.0%	342	11,548	424	182,111	308	4,134,727	299	5,273,264	298	4,944,671	296	5,922,063	271

注：単価はkg当たりの卸売平均価格 資料：東京都中央卸売市場統計情報

## 5 花き

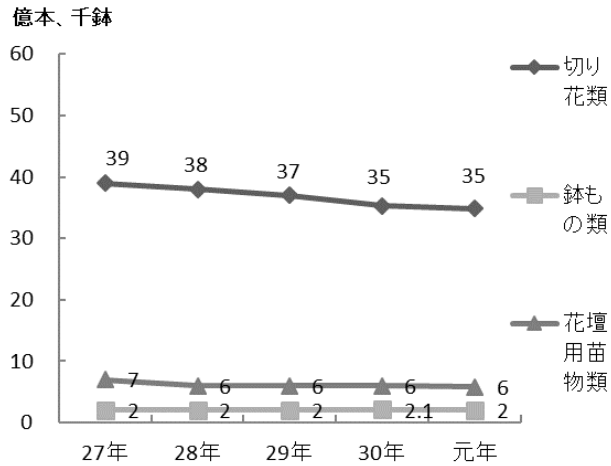
### (1) 出荷動向（令和元年実績）

#### ア 全国

##### －出荷量は、減少傾向で推移－

令和元年産国産花きの出荷量は、切り花類 34 億 8,200 万本 35 億 3,400 万本(前年比 98.5%)、鉢ものの類 2 億 500 万鉢(前年比 99.1%)、花壇用苗もの類 5 億 7,900 万本(前年比 113.6%)で、生産者の高齢化に伴う規模縮小等により、近年、減少傾向で推移しています（図 I-5-1）。

図 I-5-1 全国の出荷量の推移（全国）



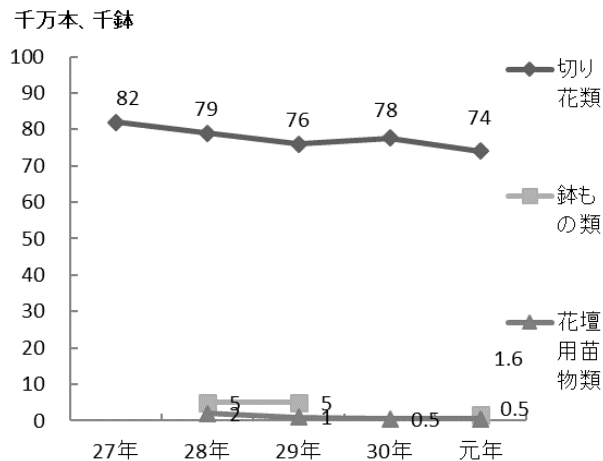
資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

#### イ 県内

##### －切り花類の出荷量は、伸び悩みの傾向－

令和元年産県産花きの出荷量は、切り花類 7,410 万本(前年比 95.5%)で、近年、減少傾向で推移しています（図 I-5-2）。

図 I-5-2 本県の出荷量の推移（本県）



資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

※「花壇用苗物類」、「鉢ものの類」のうち、H27・30 は本県調査対象外につきデータなし



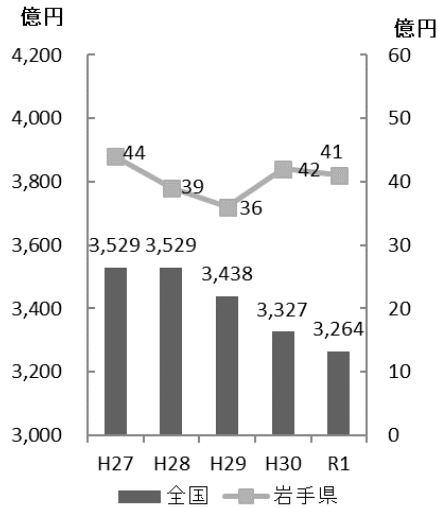
## (2) 花き産出額

### －花きの産出額は減少－

令和元年度の全国の花き産出額は、3,264 億円（前年比 98.1%）、うち本県は 41 億円（前年比 97.6%）となっています（図 I-5-3）。

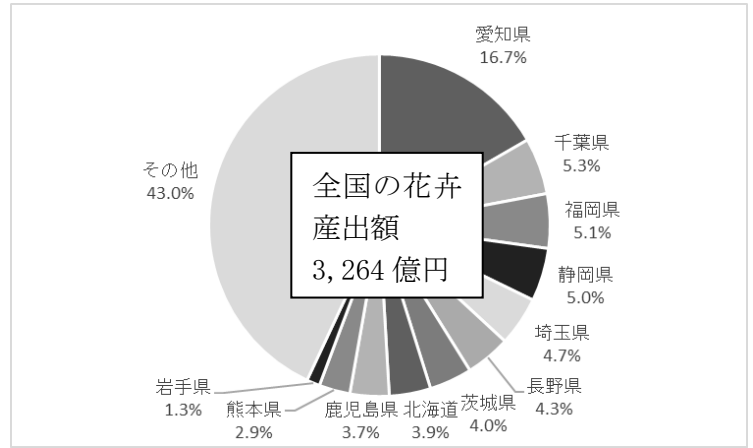
都道府県別の産出額をみると、本県は 1.3%を占めています（図 I-5-4）。

図 I-5-3 花き産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

図 I-5-4 都道府県別の花き産出額の割合



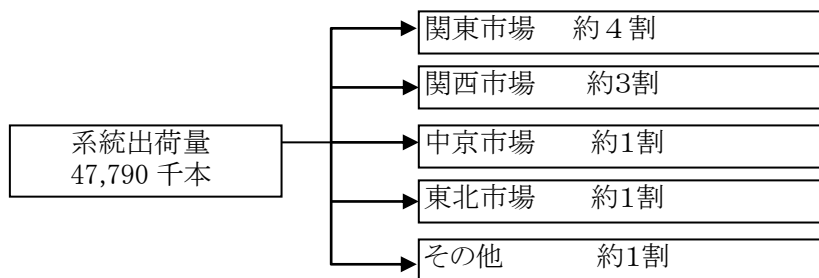
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

## (3) 県産りんどうの流通状況

### －関東市場への出荷割合は約 4 割－

令和元年産りんどうの流通状況をみると、系統出荷量のうち関東市場に最も多い約 4 割、次いで関西市場約 3 割となっています（図 I-5-5）。

図 I-5-5 県産りんどうの流通状況（令和元年産）



資料：農林水産省「花き生産出荷統計」、JA全農いわて聞き取り

## (4) 東京都中央卸売市場における取扱状況等

### ア 入荷動向

#### －花きの出荷は、減少傾向で推移－

東京都中央卸売市場における花きの取扱数量をみると、全国的に減少傾向にあります。

全国に占める本県産花きの割合をみると、切り花は平成 25 年度以降、概ね増加傾向にあったものの、平成 28 年度からは減少しています（表 I-5-1）。

表 I-5-1 東京都中央卸売市場における主要花きの取扱数量

単位:千本、千鉢、千箱

	28年		29年		30年		令和元年		令和2年	
	全国	県産	全国	県産	全国	県産	全国	県産	全国	県産
■切り花計	886,201	24,612 (2.8%)	864,474	21,249 (2.5%)	846,078	20,330 (2.4%)	826,185	20,424 (2.4%)	754,207	20,185 (2.7%)
りんどう	24,281	16,124 (66.4%)	21,833	13,873 (63.5%)	22,722	14,376 (63.3%)	22,663	14,883 (65.7%)	21,448	15,016 (70.0%)
小ぎく	64,976	5,120 (7.9%)	66,157	4,672 (7.0%)	59,980	3,696 (6.2%)	60,709	3,192 (5.3%)	56,551	2,905 (5.1%)
ゆり類	27,919	338 (1.2%)	26,575	271 (1.0%)	26,279	338 (1.3%)	25,517	436 (1.7%)	24,006	534 (2.2%)
トルコキョウ類	26,281	195 (0.7%)	25,935	173 (0.7%)	26,746	158 (0.6%)	25,813	173 (0.7%)	22,030	167 (0.8%)
スターチス類	29,154	223 (0.8%)	29,805	186 (0.6%)	30,505	86 (0.3%)	31,718	76 (0.2%)	33,899	73 (0.2%)
ストック類	9,473	68 (0.7%)	10,339	49 (0.5%)	9,816	51 (0.5%)	9,126	32 (0.4%)	8,556	19 (0.2%)
■鉢花類	16,633	246 (1.5%)	15,846	243 (1.5%)	13,935	221 (1.6%)	12,498	192 (1.5%)	11,748	180 (1.5%)
鉢物りんどう	122	84 (68.8%)	103	60 (57.9%)	84	59 (70.2%)	68	51 (75.0%)	73	53 (72.9%)
■花壇苗類	2,799	11 (0.4%)	2,763	10 (0.4%)	2,504	10 (0.4%)	2,578	12 (0.5%)	2,361	11 (0.4%)
パンジー	415	3 (0.7%)	425	2 (0.5%)	383	2 (0.5%)	350	2 (0.5%)	368	2 (0.6%)

資料：東京都中央卸売市場統計情報

イ 令和2年産品目別の状況

① りんどう

本県の出荷量は、1,501万6,000本と全国第1位で、出荷割合は70.0%となっています。

最も出荷量の多い月は9月の531万1,000本で、8月から9月にかけて本県の年間出荷量の69.8%を占めています。

また、出荷割合が全体の約7割を占めることから、単価の面では本県がプライスリーダーになっていると考えられます(表I-5-2)。

表 I-5-2 りんどうの出荷量及び単価

単位:千本(円/本)

	年計				5月		6月		7月		8月		9月	
	県名	数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	岩手	15,016	70.0%	49	1	106	99	73	2,324	40	5,170	50	5,311	53
2位	秋田	2,575	12.0%	49	0	-	31	71	805	35	843	51	590	61
3位	山形	2,229	10.4%	54	0	-	2	68	363	34	721	52	616	67
4位	栃木	599	2.8%	64	18	87	294	67	237	58	14	53	11	77
5位	福島	452	2.1%	46	0	-	21	52	148	35	157	47	99	54
	市場計	21,448	100.0%	51	20	88	485	68	3,932	40	7,139	50	6,800	56

資料：東京都中央卸売市場統計情報

② 小ぎく

本県の出荷量は、290万5,000本と全国第4位で、出荷割合は5.1%となっています。

最も出荷量の多い月は9月の111万2,000本で、8月から9月にかけて本県の年間出荷量の71.6%を占めています。

また、単価をみると、年間を通して概ね市場平均価格を上回っています(表I-5-3)。

表 I-5-3 小ぎくの出荷量及び単価

単位:千本(円/本)

	年計				6月		7月		8月		9月		10月	
	県名	数量	割合	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1位	沖縄	26,818	47.4%	34	993	34	136	38	151	25	72	43	42	38
2位	茨城	10,896	19.3%	41	1,234	43	2,625	38	2,700	43	2,638	42	1,139	39
3位	福島	5,174	9.1%	47	75	49	1,077	41	1,312	50	2,051	50	430	44
4位	岩手	2,905	5.1%	47	8	57	535	37	979	49	1,102	48	223	50
5位	秋田	2,795	4.9%	47	1	61	471	37	1,171	49	765	51	335	46
	市場計	56,551	100.0%	39	3,331	39	6,467	39	7,657	46	7,950	47	2,812	43

資料：東京都中央卸売市場統計情報

## 6 畜産物

### (1) 肉用牛・牛肉

#### ア 肉用牛の飼養頭数

##### ー県内の肉用牛の飼養頭数は前年比 103.9%ー

令和2年の全国の肉用牛の飼養頭数は、2,555,000頭で、前年比102.1%となっています。  
また、本県の飼養頭数は91,100頭で、前年比103.9%の増となりました（表I-6-1）。

表I-6-1 肉用牛の飼養動向

（単位：頭）

区分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全国	飼養頭数	2,479,000	2,499,000	2,514,000	2,503,000	2,555,000
	前年比	99.6%	100.8%	100.6%	99.6%	102.1%
岩手県	飼養頭数	89,600	91,800	90,700	87,700	91,100
	前年比	101.2%	102.5%	98.8%	97.0%	103.9%

資料：畜産統計（農林水産省）

#### イ 和牛の東京都中央卸売市場への出荷頭数

##### ー東京都中央卸売市場への県産和牛の出荷頭数は前年比 94.8%ー

令和2年度の東京都中央卸売市場への和牛（乳用種、交雑種を除く肉牛）の出荷頭数は、全体で66,261頭、前年比105.5%となっています。

また、本県からの出荷頭数は4,564頭で、前年比94.8%となっています（表I-6-2）。

表I-6-2 東京都中央卸売市場への和牛の出荷動向

（単位：頭）

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市場合計	出荷頭数	64,334	61,728	62,178	62,836	66,261
	前年比	92.0%	95.9%	100.7%	101.0%	105.5%
岩手県	出荷頭数	5,483	4,968	4,874	4,813	4,564
	前年比	93.3%	90.6%	98.1%	98.7%	94.8%

資料：東京都中央卸売市場市場統計情報

#### ウ 肉牛（和牛、乳用種、交雑種）の出荷・と畜頭数

##### ー県内と畜割合 38%、県外と畜割合 62%ー

令和2年度における本県の肉牛（和牛、乳用種、交雑種）の出荷・処理状況を見ると、県内から出荷された肉牛29,345頭のうち11,151頭（38%）と、県外から入荷した4,073頭の計15,224頭が、**（株）いわちく**で処理されています。また、県内から出荷された肉牛のうち、残りの18,194頭（62%）が県外のと畜場に運ばれ、処理されています（図I-6-1）。

図I-6-1 肉牛（黒毛、短角、乳用牛、交雑種等）の出荷・処理状況（令和2年）



資料：牛肉の放射線物質検査実績（流通課調べ）、**（株）いわちく**総会資料より

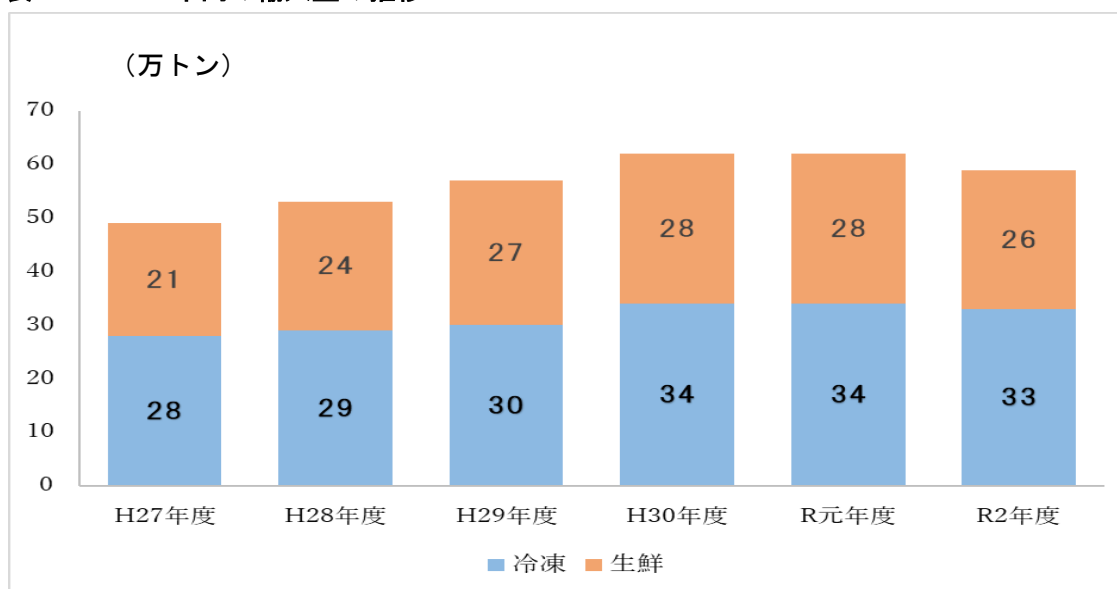
## エ 牛肉の輸入量の推移

### －牛肉の輸入量は59万トン（令和2年度）－

冷蔵品は米国産と豪州産が9割を占めていて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う北米の現地工場の操業停止などによる生産量の減少、豪州産の干ばつ後の牛群再構築による生産量減少に伴う現地価格の高騰などから輸入量が前年度を下回りました。

冷凍品は、冷蔵品と同様の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要の減少などにより、前年度をやや下回りました（表I-6-3）。

表 I-6-3 牛肉の輸入量の推移



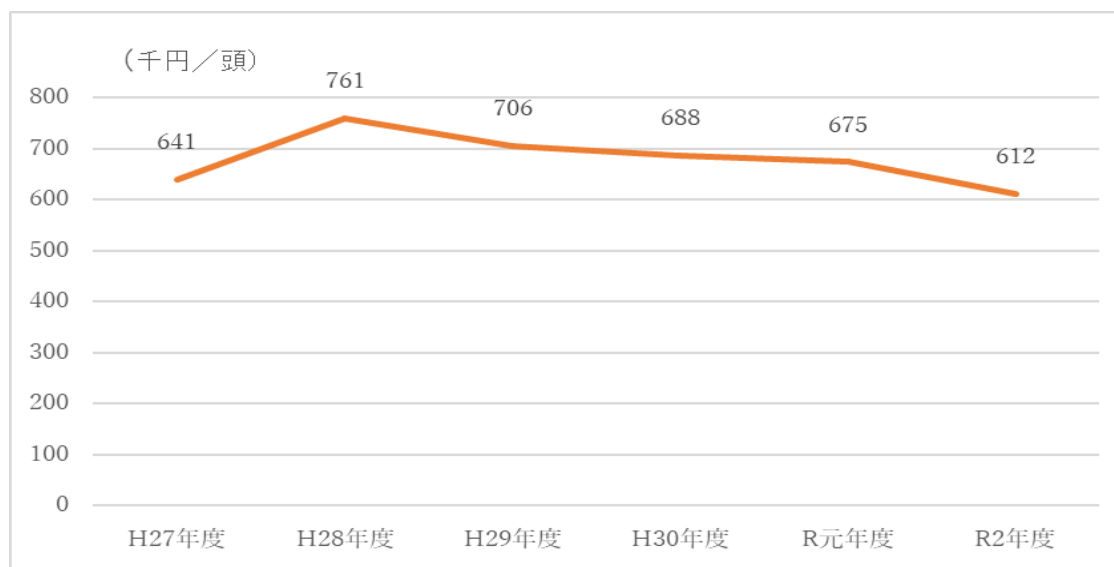
資料：国内統計資料（農畜産業振興機構）

## エ 肉用子牛価格の推移

### －黒毛和種子牛平均価格は高値で推移－

子牛の市場上場頭数は令和2年度の平均価格（税抜）は612千円で、前年度比91%となりました（図I-6-2）。

図 I-6-2 黒毛和種子牛価格（県内市場）の推移（税抜）



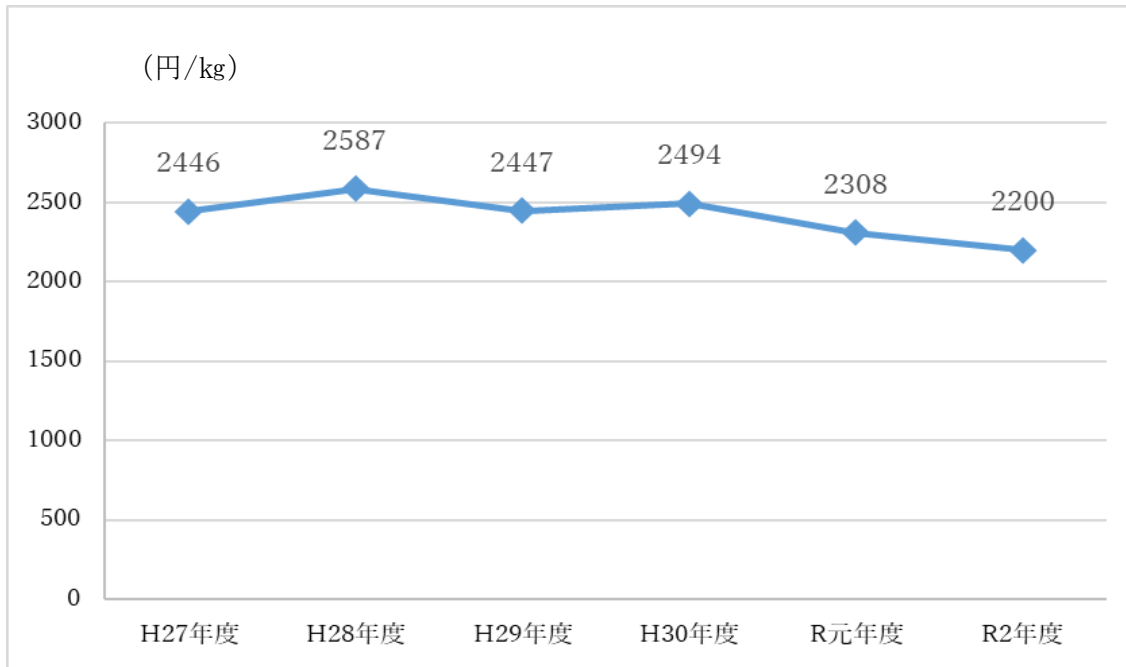
資料：畜産流通関係データ（畜産課）

## オ 牛枝肉価格の推移

### —令和2年2月以降価格が下落—

出荷制限などの放射性物質の影響により下落した相場は、平成25年度以降は生産量の減少等により、高値で推移してきました。R2年はコロナウイルス感染症の影響による外食需要の減退などにより、価格が大幅に落ち込みました（図I-6-3）。

図I-6-3 牛枝肉価格（東京食肉市場黒毛和種去勢A4）の推移（税込）



資料：国内統計資料（農畜産業振興機構）

## (2) 生乳生産量

### ア 乳用牛の飼養頭数

#### —県内の乳用牛の飼養頭数は前年比99.0%—

令和2年の全国の乳用牛の飼養頭数は、1,352,000頭で、前年比101.5%となっています。また、本県の飼養頭数は41,600頭で、前年比99.0%となりました（表I-6-4）。

表I-6-4 乳用牛の飼養動向

（単位：頭）

区分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全国	飼養頭数	1,345,000	1,323,000	1,328,000	1,332,000	1,352,000
	前年比	98.1%	98.4%	100.4%	100.3%	101.5%
岩手県	飼養頭数	43,600	42,500	41,900	42,000	41,600
	前年比	98.4%	97.5%	98.6%	100.2%	99.0%

資料：畜産統計（農林水産省）

### イ 本県の生乳生産量

#### —本県の生乳生産量は、全国第4位（令和元年）—

令和元年の全国の生乳生産量は7,313,530トンで、前年比100.3%となっています。また、本県の生乳生産量は211,951トンで、前年比98.7%となっております（表I-6-5）。

表 I-6-5 生乳生産量の推移

(単位：トン)

区分	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	
全国	生産量	7,379,234	7,393,717	7,276,523	7,289,227	7,313,530
	前年比	100.6%	100.2%	98.4%	100.1%	100.3%
岩手県	生産量	216,036	215,551	218,192	214,776	211,951
	前年比	99.1%	99.8%	101.2%	98.4%	98.7%

資料：牛乳乳製品統計（農林水産省）生乳生産量及び用途別処理量

生乳生産の主要道県の状況を見ると、本県の生乳生産量は全国第4位となっております。

また、処理された生乳のうち乳製品向けは、北海道が 2,939,035 トンと最も多く、次いで熊本県の 57,890 トン、岩手県は 36,258 トンとなっています（表 I-6-6）。

表 I-6-6 生乳生産の主要道県の状況（令和元年）

(単位：トン)

区分	生産量	移出量	移入量	処理量	処理量の内訳	
					牛乳等向け	乳製品向け
北海道	4,048,197	529,547	-	3,518,650	556,498	2,939,035
栃木県	330,598	179,591	8,151	159,158	156,902	706
熊本県	252,941	92,297	17,630	178,274	119,669	57,890
<b>岩手県</b>	<b>211,951</b>	<b>93,720</b>	<b>17,747</b>	<b>135,978</b>	<b>98,573</b>	<b>36,258</b>
群馬県	207,902	99,777	94,514	202,639	186,627	15,033
千葉県	192,495	79,757	66,017	178,755	176,807	721
茨城県	172,438	32,853	129,675	269,260	222,849	43,150

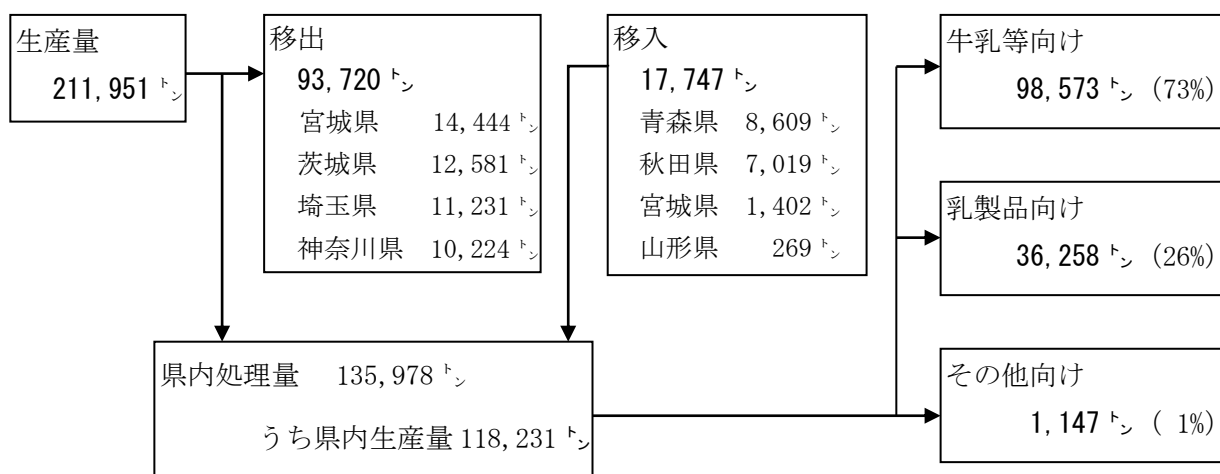
資料：牛乳乳製品統計（農林水産省）

## ウ 生乳の流通

### 一 生乳の移出先は宮城県、移入先は青森県が最も多い

令和元年の県内生乳生産量 211,951 トンのうち、93,720 トンが県外に移出されており、最も多い移出先は宮城県で 14,444 トン、一方移入元は青森県が最も多く、8,609 トンとなっています（図 I-6-4）。

図 I-6-4 生乳の流通



資料：牛乳乳製品統計（農林水産省）

### (3) 豚

#### ア 豚の飼養頭数

##### ー県内の豚の飼養頭数は平成 30 年比 95.6%ー

平成 30 年の全国の豚の飼養頭数は、9,156,000 頭で、平成 30 年比 99.0%となっています。また、本県の飼養頭数は 402,400 頭で、平成 30 年比 95.6%となりました（表 I-6-7）。

表 I-6-7 豚の飼養動向 (単位：頭)

区 分		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年度	令和元年度
全国	飼養頭数	9,313,000	9,346,000	9,189,000	9,156,000
	前年比	97.7%※	100.4%	98.3%	99.6%
岩手県	飼養頭数	432,100	437,000	420,700	402,400
	前年比	96.0%※	101.1%	96.3%	95.6%

資料：畜産統計（農林水産省）

※ センサス調査年のため、平成 27 年、令和 2 年は調査無し。

#### イ 肉豚の出荷・と畜頭数

##### ー県内と畜頭数は 30 万頭で推移ー

令和元年度における本県の肉豚のと畜頭数は 309,259 頭で、近年概ね 30 万頭で推移しています（表 I-6-8）。

表 I-6-8 肉豚のと畜状況 (単位：頭)

区分	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
全国	16,104,466	16,391,958	16,336,984	16,430,088	16,319,598
岩手県	300,426	300,452	303,860	298,048	309,259

資料：畜産物流通調査（農林水産省）

### (4) 鶏肉・鶏卵

#### ア ブロイラーの飼養羽数

##### ー県内のブロイラーの飼養羽数は平成 30 年比 96.4%ー

平成 30 年の全国のブロイラーの飼養羽数は 138,228 千羽で、前年比 99.6%となっています。また、本県の飼養羽数は 21,647 千羽で、前年比 96.4%となっています（表 I-6-9）。

表 I-6-9 ブロイラーの飼養動向 (単位：千羽)

区 分		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
全国	飼養羽数	134,395	134,923	138,776	138,228
	前年比	99.0%※	100.4%	102.9%	99.6%
岩手県	飼養羽数	21,792	22,002	22,442	21,647
	前年比	100.0%※	100.9%	102.0%	96.4%

資料：畜産統計（農林水産省）

※ センサス調査年のため、平成 27 年、令和 2 年は調査無し。

#### イ ブロイラーの出荷羽数

##### ー本県のブロイラーの出荷羽数は、全国第 3 位（令和元年）ー

令和元年の全国のブロイラーの出荷羽数は 695,335 千羽で、平成 30 年比 100.8%となっています。また、本県の出荷羽数は 110,797 千羽で、平成 30 年比 98.7%となっています（表 I-6-9）。

**表 I-6-10 ブロイラーの出荷動向** (単位：千羽)

区 分		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
全国	出荷羽数	667,438	677,713	689,280	695,335
	前年比	102.3%※	101.5%	101.7%	100.8%
岩手県	出荷羽数	<b>107,594</b>	<b>110,014</b>	<b>112,214</b>	<b>110,797</b>
	前年比	<b>101.8%※</b>	<b>102.2%</b>	<b>102.0%</b>	<b>98.7%</b>

資料：畜産統計（農林水産省）

※ センサス調査年のため、平成 27 年、令和 2 年は調査無し。

ブロイラーの都道府県別出荷羽数は、鹿児島県が全国の 20.1%を占め、第 1 位となっています。本県は第 3 位で、全国の 15.9%のシェアを占めています（表 I-6-10）。

**表 I-6-11 ブロイラーの出荷の主要道県の状況（令和元年）**

区分	出荷羽数（千羽）	全国比率
鹿児島県	139,785	20.1%
宮崎県	136,597	19.6%
<b>岩手県</b>	<b>110,797</b>	<b>15.9%</b>
青森県	41,612	5.9%
北海道	37,750	5.4%
(全国)	695,335	100.0%

資料：畜産統計（農林水産省）

※ センサス調査年のため、平成 27 年、令和 2 年は調査無し。

## ウ 鶏卵の生産量

### —本県の鶏卵生産量は、全国第 15 位（令和元年）—

令和元年の全国の鶏卵生産量は 2,639,733 トンで、前年比 100.5%となっています。

令和元年の本県の鶏卵生産量は 79,882 トンで、前年比 95.1%となっています（表 I-6-11）。

**表 I-6-12 鶏卵の生産動向** (単位：トン)

区 分		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
全国	生産量	2,520,873	2,562,243	2,601,173	2,627,764	2,639,733
	前年比	100.8%	101.6%	101.5%	101.0%	100.5%
岩手県	生産量	<b>79,522</b>	<b>82,033</b>	<b>87,652</b>	<b>83,997</b>	<b>79,882</b>
	前年比	<b>100.9%</b>	<b>103.2%</b>	<b>106.8%</b>	<b>95.8%</b>	<b>95.1%</b>

資料：畜産物流通調査（農林水産省）

鶏卵の都道府県別生産量では、茨城県が全国の 8.9%を占め、第 1 位となっています。

第 2 位は 鹿児島県で全国の 7.1%を占め、本県は第 15 位で、全国の 3.0%のシェアとなっています（表 I-6-13）。

**表 I-6-13 鶏卵生産の主要県の状況（令和元年）**

区分	出荷量（トン）	全国比率
茨城県	234,209	8.9%
鹿児島県	187,797	7.1%
千葉県	166,471	6.3%
岡山県	136,443	5.2%
広島県	135,443	5.1%
岩手県	<b>79,882</b>	<b>3.0%</b>
(全国)	2,639,733	100.0%

資料：畜産物流通調査（農林水産省）



## 7 水産物

### (1) 漁業生産量の推移

令和元年の全国の海面漁業及び海面養殖業は、総生産量が4,144千トン、総生産額が1兆3,484億円となっています。

遠洋漁業の撤退や後継者不足による漁獲能力の低下、さらには適正な資源管理等の取組等により生産量は減少傾向に推移しており、平成23年と比べ総生産量が88%、総生産額が102%となっています（表I-7-1、表I-7-2）。

令和元年の本県は、生産量は海面漁業が93千トン、海面養殖業が30千トンで、合計が123千トン、生産額は海面漁業が257億円、海面養殖業が89億円で、合計が346億円となり、平成23年次と比べ、生産量が143%、生産額が152%と震災以降増加傾向で推移しています（表I-7-1、表I-7-2）。

また、全国の水産業において、本県の漁業世帯数が第5位（シェア4%）、生産量が第9位（同3%）生産額が第12位（同3%）に位置付けられています（表I-7-3）。

表I-7-1 年次別漁業生産量の推移

単位：千トン

区分\年次		H23	H27	H28	H29	H30	R1	R1/H30	R1/H23
全国	海面漁業	3,824	3,550	3,264	3,258	3,359	3,228	96%	84%
	海面養殖業	869	1,069	1,033	986	1,005	915	91%	105%
	計	4,693	4,619	4,297	4,244	4,364	4,144	95%	88%
岩手	海面漁業	80	109	85	76	90	93	103%	116%
	海面養殖業	6	43	35	37	37	30	81%	500%
	計	86	152	120	113	127	123	97%	143%

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部） ※ラウンドの関係で計が一致しない場合がある。

表I-7-2 年次別漁業生産額の推移

単位：億円

区分\年次		H23	H27	H28	H29	H30	R1	R1/H30	R1/H23
全国	海面漁業	9,399	10,008	9,619	9,627	9,619	8,684	90%	92%
	海面養殖業	3,874	4,869	5,097	4,979	4,888	4,802	98%	124%
	計	13,273	14,877	14,716	14,606	14,506	13,486	93%	102%
岩手	海面漁業	217	306	272	298	272	257	94%	118%
	海面養殖業	11	78	88	95	88	89	101%	809%
	計	228	384	360	393	360	346	96%	152%

資料：漁業産出額（農林水産省統計部） ※ラウンドの関係で計が一致しない場合がある

表I-7-3 全国の水産業に占める本県の位置

区分		全国	岩手	順位	シェア	
漁業世帯数（H30）		（世帯）	79,067	3,406	5	4%
漁業就業者数（H30）		（人）	151,701	6,327	4	4%
生産量（H30）	海面漁業	（千トン）	3,359	90	11	3%
	海面養殖業	（千トン）	1,005	37	11	4%
	計	（千トン）	4,364	127	10	3%
生産額（H30）	海面漁業	（億円）	9,377	287	6	3%
	海面養殖業	（億円）	4,861	92	17	2%
	計	（億円）	14,238	379	12	3%

資料：2018年漁業センサス（※）、海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

- 「つくり育てる漁業」の代表格であるアワビ、ワカメ、サケ、ウニの生産量は全国1、2位-

県はこれまで、「つくり育てる漁業」（サケ、アワビ、ウニなどの栽培漁業、ワカメ、コンブ、カキ、ホタテガイなどの養殖業）の推進により、定置網漁業、沿岸いか釣り漁業、船びき網漁業などの沿岸漁業や、海面養殖業が本県水産業の主力となっています。

特に、生産量で見ると、アワビ類は全国第1位、養殖わかめ類とウニ類は全国第2位となっており、全国でも主要な産地の一つとなっています（表I-7-4）。

表I-7-4 主要水産物の生産順位

品目	全国生産量	全国順位					シェア
		1位	2位	3位	4位	5位	
アワビ類(R1) (トン)	829	岩手 145	千葉 86	三重 62	宮城 55	福岡 55	17%
養殖ワカメ類(R1) (百トン)	451	宮城 183	岩手 126	徳島 60	兵庫 33	長崎 10	28%
サケ類(R1) (百トン)	564	北海道 512	青森 22	岩手 19	宮城 6	新潟 2	3%
ウニ類(R1) (百トン)	79	北海道 46	岩手 9	青森 6.5	宮城 4.7	山口 2.4	11%

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

(2) 秋サケ漁獲量等の推移

令和2年度の本県の漁獲量は1,734トン（対前年比76%）、漁獲金額は約13億円（同86%）と、漁獲量は減少しました。

また、平均単価は、前年に比べ123%と上がっています（表I-7-5）。

このような状況において、漁獲から市場、加工まで一貫した衛生管理下で製造される本県のイクラは、取引単価が主要産地の中で高く、令和2年度は6,527円/kgとなっています（表I-7-6）。

表I-7-5 本県の秋サケ漁獲量等の推移

区分\年度	H24	H28	H29	H30	R1	R2	R2/R1	R2/H24
漁獲量（トン）	7,557	8,745	7,289	10,269	2,288	1,734	76%	30%
漁獲金額（百万円）	4,385	6,210	6,395	5,615	1,495	1,286	86%	29%
平均単価（円/kg）	580	788	1,027	631	820	1,007	123%	174%

資料：秋さけ漁獲速報（県水産振興課）

表I-7-6 東京都中央卸売市場でのイクラ平均単価の推移

単位：円/kg

区分\年次	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2/R1	R2/H27
岩手県	4,811	5,628	7,726	8,102	6,692	6,527	98%	136%
北海道	4,884	5,483	6,942	6,149	4,447	5,442	122%	111%
青森県	4,681	3,905	4,236	5,591	4,478	4,359	97%	93%
宮城県	3,892	4,206	6,116	6,301	5,020	6,195	123%	159%
全産地計	4,571	4,923	6,343	6,316	4,728	5,215	110%	114%

資料：東京都中央卸売市場年報

### (3) アワビ漁獲量等の推移

令和元年の全国のアワビ漁獲量は829トン(前年比91%)、本県は漁獲量が145トン(同86%)でした。令和元年の本県の平均単価は、13,938円/kg(同108%)と前年より上回り、生産額は前年対比93%の約20億円と減少しました(表I-7-7)。

近年は、需要開拓や地域振興を目的として、アワビの蓄養販売などに取組む事業者も見られます。

表I-7-7 本県のアワビ漁獲量等の推移

区分\年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1/H30	R1/H26
漁獲量 (トン)	304	344	286	181	168	145	86%	48%
生産額 (百万円)	2,841	3,587	2,225	1,763	2,173	2,021	93%	71%
平均単価 (円/kg)	9,345	10,427	7,780	9,740	12,934	13,938	108%	149%

資料：海面漁業生産統計調査、漁業産出額(農林水産省統計部)

### (4) 養殖ワカメ生産量等の推移

令和元年の全国の養殖ワカメ生産量は、約4万5千トン(前年比89%)、本県は、約1万3千トン(同69%)となり、前年を下回りました(表I-7-8)。

岩手県沿岸全域で養殖されるワカメは、肉厚で歯ごたえがあり、色が濃く熱に強いことが特徴で、原料や食塩含有率、管理体制などの認証制度によって、その品質を維持しています。

表I-7-8 本県の養殖ワカメ生産量等の推移

区分\年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1/H30	R1/H26
漁獲量 (トン)	15,731	18,972	17,681	18,908	18,222	12,647	69%	80%
生産額 (百万円)	1,856	2,783	3,946	4,200	3,874	3,882	100%	209%
平均単価 (円/kg)	118	147	223	222	213	307	144%	260%

資料：海面漁業生産統計調査、漁業産出額(農林水産省統計部)

### -水産物の輸出入状況-

令和2年の全国の水産物輸入は、数量が約225.4万トン(前年比91%)となり、前年を下回りました。

品目別で見ると、さけ・ますが約25万トン(前年比104%)と前年より増加し、いかが約10.2万トン(前年比96%)、さばは、約52.8万トン(前年比80%)、さんまは約0.3万トン(前年比53%)、わかめが2.5万トン(前年比95%)などとなっています。

また、輸出は、さばが約17.2万トン(前年比101%)、さけ・ますが約1万トン(同101%)、すけそうだが約1.1万トン(同78%)などとなりました(表I-7-9)。

表 I-7-9 本県に係る水産物の輸出入状況（全国）

単位：千トン

品目\年次	H23	H28	H29	H30	R1	R2	R2/R1	
輸入	さけ・ます	258.4	230.1	226.5	235.1	240.9	250.8	104%
	さば	60.0	74.3	63.4	69.0	66.2	52.8	80%
	さんま	5.3	6.8	5	4.8	6.4	3.4	53%
	いか	89.9	99.2	125.1	102.5	105.8	102.0	96%
	あわび	2.0	2.2	2.3	2.3	2.6	2.1	81%
	ホタテ貝	0.7	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	100%
	うに	13.1	11.0	11	11	11	11.2	102%
	さけ科のもの卵くらい	2.8	2.6	2.1	1.7	1.6	1.1	69%
	わかめ	42.7	25.0	23.2	23.7	26.5	25.1	95%
	計	2,693.8	2,380.7	2,478.7	2,383.69	2,467.72	2,253.80	91%
輸出	さば	97.8	210.7	232.1	249.5	169.5	171.7	101%
	さんま	13.1	4.6	7.6	8.5	7.5	2.8	37%
	さけ・ます	22.4	18.3	12	10.2	10.2	10.3	101%
	すけそうだら	40.0	15.5	9.8	8.8	14.1	11.0	78%
	計	423.7	471.8	524.2	635.3	534.5	529.8	99%

資料：農林水産物輸出入概況（農林水産省）

※輸入及び輸出の計は、水産物全体の計であり上記品目以外も含む

## (5) 水産加工品の生産量

平成30年の本県の水産加工品生産量は、約9万トンで前年を下回りました。

本県は、再加工用の原料向けである生鮮冷凍水産物の製造割合が高いことが特徴です（表 I-7-10）。

I-7-10 本県の水産加工品生産量の推移

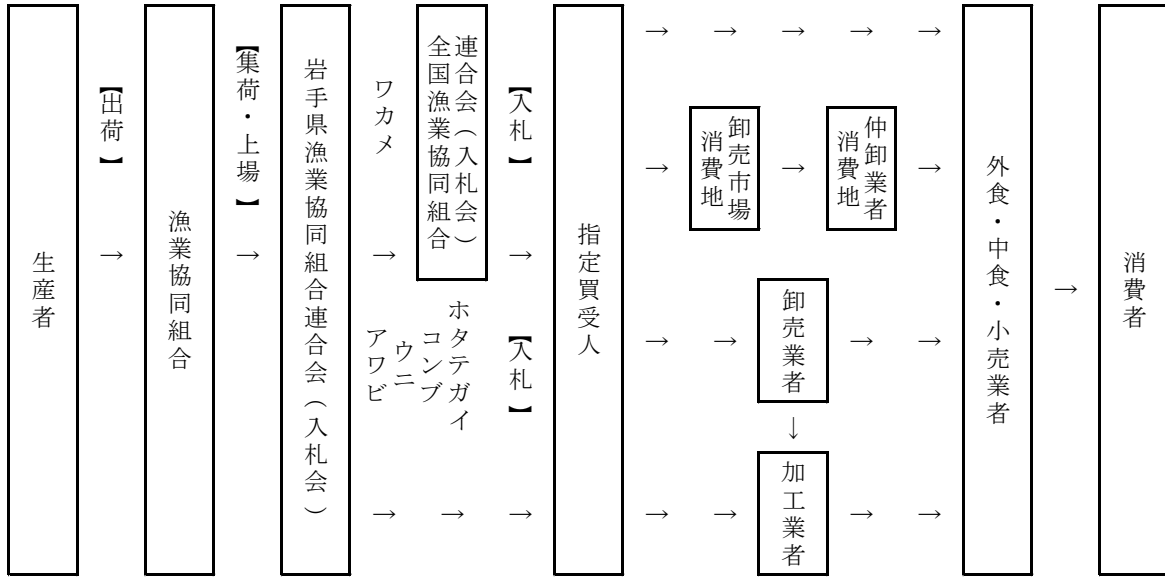
単位：トン

品目\年次	H23	H26	H27	H28	H29	H30	H30/H29	
高次	ねり製品	—	—	—	13	—	5	皆減
	冷凍食品	2,908	10,720	12,240	11,353	11,112	10,508	95%
	素干し品	98	316	366	313	198	14	7%
	塩干品	462	1,109	949	960	950	672	71%
	煮干し品	98	138	138	108	92	102	111%
	塩蔵品	718	1,323	947	726	692	747	108%
	くん製品	—	—	—	—	—	—	—
	節製品	—	4	—	7	3	2	67%
	その他（塩辛類等）	1,224	4,728	5,257	6,111	5,259	4,558	87%
	小計	5,508	18,338	19,897	19,591	18,306	16,608	91%
低次	生鮮冷凍水産物	36,066	94,086	79,552	74,330	71,529	72,829	102%
合計	41,574	106,061	112,424	99,449	93,921	89,437	95%	

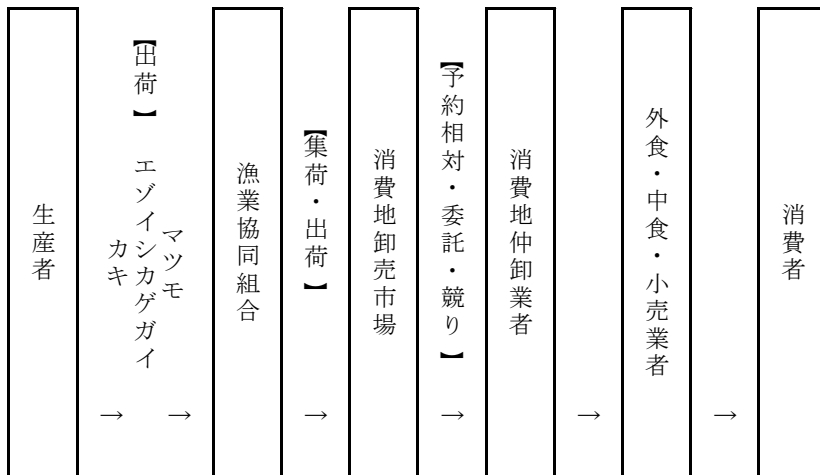
資料：岩手農林水産統計年報（東北農政局岩手県拠点）

【参考】 県産水産物の主な流通経路

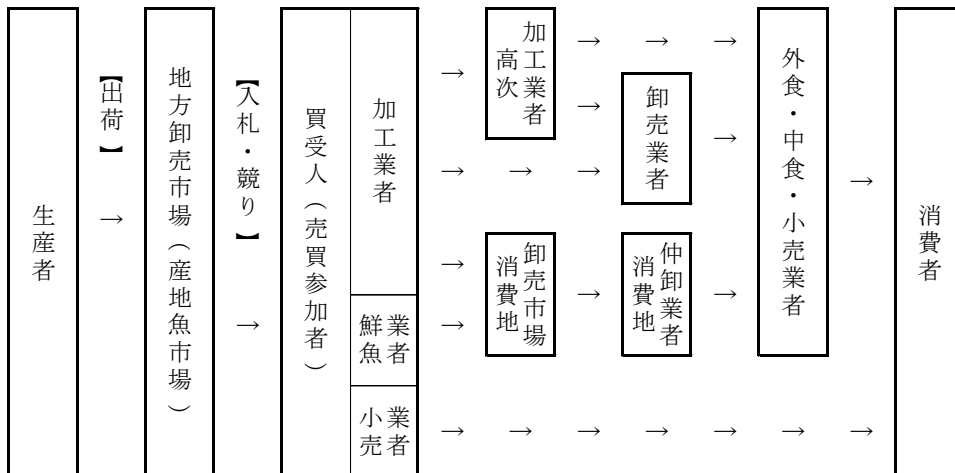
1 漁協系統販売① 漁連共販（共販指定の養殖・天然品目）



2 漁協系統販売② 漁協集出荷（養殖品目）



3 市場流通 生鮮魚介類（漁船漁業品目）



## 8 林産物

### －国産きのこ類の生産量は、前年より減少－

令和元年の国産きのこ類総生産量（生換算）は455,688トンで、前年に比べ約12,000トン減少しました。このうちエノキタケが128,974トン、ブナシメジが118,597トン、生シイタケが71,071トン、マイタケが51,107トン、乾シイタケが2,414トン（生換算トン）となっています（表I-8-1）。

表I-8-1 全国のきのこ類の生産状況

単位:トン

品目	H27	H28	H29	H30	R1
乾シイタケ （生換算値）	2,631 (18,415)	2,734 (19,141)	2,544 (17,808)	2,635 (18,442)	2,414 (16,901)
生シイタケ	68,285	69,707	69,639	69,804	71,071
ナメコ	22,897	22,935	23,504	23,350	23,285
エノキタケ	131,683	133,297	135,745	140,168	128,974
ヒラタケ	3,263	3,449	3,828	4,001	3,862
ブナシメジ	116,152	116,271	117,712	117,966	118,597
マイタケ	48,852	48,523	47,739	49,687	51,107
エリンギ	39,692	40,475	39,088	39,413	37,635
キクラゲ	1,182	1,278	1,710	2,309	2,315
マツタケ	71	69	18	63	14
その他	2,261	2,338	2,114	2,205	1,927
総計	452,753	457,483	458,905	467,408	455,688

資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

県内の生産動向をみると、乾シイタケについては、放射性物質の影響による出荷制限等により、生産量が大幅に減少しています。生産量は生シイタケが最も多く4,254トンで、ナメコ189トン、乾シイタケ111トン（生換算779トン）となっています（表I-8-2）。

表I-8-2 県内のきのこ類の生産状況

単位:トン

品目	H27	H28	H29	H30	R1
乾シイタケ （生換算値）	83 (581)	86 (599)	89 (624)	119 (830)	111 (779)
生シイタケ	4,774	4,827	4,452	4,195	4,254
ナメコ	282	200	230	220	189
エノキタケ	284	60	8	122	72
ヒラタケ	16	27	14	14	9
ブナシメジ	44	17	0	1	0.3
マイタケ	44	85	81	82	88
マツタケ	14	21	9	9	3

資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

本県は、全国的なシイタケの産地であり、令和元年現在、生シイタケが全国第3位、乾シイタケが全国第5位の生産量となっています（表I-8-3、I-8-4）。

表 I-8-3 生シイタケ生産量の全国順位

単位:トン

順位	H27	H28	H29	H30	R1
1	徳島 (8,418)	徳島 (8,289)	徳島 (8,150)	徳島 (8,111)	徳島 (8,209)
2	北海道 (7,214)	北海道 (7,614)	北海道 (7,640)	北海道 (7,240)	北海道 (6,719)
3	<b>岩手 (4,774)</b>	<b>岩手 (4,827)</b>	<b>岩手 (4,452)</b>	<b>岩手 (4,195)</b>	<b>岩手 (4,254)</b>
4	秋田 (3,878)	秋田 (4,224)	秋田 (4,109)	秋田 (3,549)	群馬 (3,967)
5	群馬 (3,780)	群馬 (3,991)	群馬 (4,025)	群馬 (3,989)	秋田 (3,625)

資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

表 I-8-4 乾シイタケ生産量の全国順位

単位:トン

順位	H27	H28	H29	H30	R1
1	大分 (1,115)	大分 (1,144)	大分 (1,044)	大分 (1,038)	大分 (946)
2	宮崎 (487)	宮崎 (523)	宮崎 (417)	宮崎 (477)	宮崎 (417)
3	熊本 (203)	熊本 (205)	熊本 (203)	熊本 (209)	熊本 (182)
4	愛媛 (163)	愛媛 (180)	愛媛 (153)	愛媛 (163)	愛媛 (123)
5	静岡 (104)	静岡 (104)	静岡 (102)	<b>岩手 (119)</b>	<b>岩手 (111)</b>
6	<b>岩手 (83)</b>	<b>岩手 (86)</b>	<b>岩手 (89)</b>	静岡 (102)	静岡 (105)
7	長崎 (82)	長崎 (78)	鹿児島 (73)	鹿児島 (71)	鹿児島 (83)

資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

—乾シイタケの市場価格が大幅に上昇—

きのこ類のなかで最大の生産量となっているシイタケは、乾、生ともに輸入品との競合のため、市場価格が低水準で推移してきました。

乾シイタケは、平成4年ごろから輸入量が急激に増加し、平成6年には輸入量が国内生産量を上回りました。9年から13年まで輸入量が9千トン台で推移していましたが、16年からは減少に転じ、令和元年は4,869トンとなっています。輸入品は国内需要量7,250トンの約6.7割を占めています（表I-8-5）。

表 I-8-5 乾シイタケの需給動向

単位:トン、%

	H27	H28	H29	H30	R1
国内生産量	2,631	2,734	2,544	2,635	2,414
県内生産量	83	86	89	119	111
輸出量	59	30	26	24	33
輸入量	5,029	5,134	5,050	4,998	4,869
中国産	5,025	5,113	5,035	4,989	4,864
シェア	99.9	99.6	99.7	99.8	99.9
国内需要量	7,602	7,838	7,568	7,609	7,250
輸入シェア	66.2	65.5	66.7	65.7	67.2

資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

このような中で、国産の乾シイタケ価格は低下の傾向にあり、平成10年には1kg当たり3,000円を割り込みましたが、輸入農産物の残留農薬問題の影響や国内生産量の減少などから、19年以降は高値基調で取引されてきました。しかし、24年は放射性物質の影響を受けた地域もあったことにより、国内価格は1kg当たり2,000円を割り込み、25年はさらに国内価格が低下しました。その後、27年から上昇に転じたものの、令和元年は1,958円と価格が落ち込みました（表I-8-6）。

**表 I-8-6 乾シイタケの価格の推移**

単位：円/kg

	H27	H28	H29	H30	R1
国内価格	3,521	4,042	3,736	2,948	1,958
輸入価格	1,583	1,224	1,215	1,219	1,192

注：国内価格：東京・静岡の各市場における山成の平均価格、輸入価格：輸入金額÷輸入量  
資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

生シイタケも平成5年から輸入が始まり、平成12年には4万トンを超え国内需要量の39%を占めるまでになりました。令和元年の輸入量は1,835トンとなっています（表I-8-7）。

**表 I-8-7 生シイタケの需給動向**

単位：トン、%

	H27	H28	H29	H30	R1
国内生産量 (菌床) (トン)	68,285 (60,674)	69,707 (62,385)	69,639 (63,246)	69,804 (63,839)	71,071 (65,157)
県内生産量 (菌床) (トン)	4,774 (4,605)	4,827 (4,561)	4,452 (4,291)	4,195 (4,041)	4,254 (4,098)
輸入量(トン)	2,388	2,015	2,108	1,942	1,835
中国産(トン)	2,388	2,015	2,108	1,942	1,835
シェア(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
国内需要量 (トン)	70,673	71,722	71,747	71,746	72,906
輸入シェア (%)	3.4	2.8	2.9	2.7	2.5

資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

生シイタケの市場価格についても、平成4年をピークに低迷しており、近年は900～1,000円/kg程度で推移しています（表I-8-8）。

**表 I-8-8 生シイタケの価格の推移**

単位：円/kg

	H27	H28	H29	H30	R1
国内価格	1,031	1,052	1,048	968	949
輸入価格	384	340	324	329	314

注：国内価格：東京中央卸売市場年平均価格、輸入価格：輸入金額÷輸入量  
資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）



－県産乾シイタケの出荷割合は、全農が30%、県森連が26%－

乾シイタケの集荷割合は、全農が30%、県森連が26%と2者で約6割を占め、系統を通じた出荷がほとんどとなっています（表I-8-9）。

表I-8-9 県産乾シイタケの集荷販売実績 単位：トﾝ(%)

集荷団体	H27	H28	H29	H30	R1
全農	32 (39)	33 (38)	32 (36)	38 (32)	32 (30)
県森連	34 (41)	37 (43)	28 (32)	38 (32)	29 (26)
県椎茸農協	- ( - )	- ( - )	- ( - )	- ( - )	- ( - )
集荷業者等	4 ( 5)	6 ( 7)	7 ( 8)	23 (19)	31 (28)
計	70 (84)	75 (88)	67 (76)	99 (84)	92 (84)
自家用その他	13 (16)	10 (12)	21 (24)	19 (16)	18 (16)
合計	83 (100)	85 (100)	88 (100)	118 (100)	110 (100)

注)： ( ) 内は集荷団体別割合である。

資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

生シイタケは、全農系統を通じた出荷が48%となっており、その他の集荷業者と合わせて、集荷団体による集荷が約9割となっています（表I-8-10）。

表I-8-10 県産生シイタケの集荷販売実績 単位：トﾝ(%)

集荷団体	H27	H28	H29	H30	R1
全農	2,215 (46)	2,782 (58)	2,297 (52)	1,973 (47)	2,026 (48)
県森連	- ( - )	20 ( 0)	- ( - )	- ( - )	- ( - )
集荷業者等	1,494 (31)	1,290 (27)	1,728 (39)	1,775 (42)	1,868 (44)
計	3,709 (78)	4,091 (85)	4,025 (91)	3,748 (89)	3,894 (92)
自家用その他	1,065 (22)	725 (15)	418 ( 9)	446 (11)	359 (8)
合計	4,774 (100)	4,817 (100)	4,442 (100)	4,194 (100)	4,253 (100)

注)： ( ) 内は集荷団体別割合である。

資料：特用林産物生産統計調査（農林水産省）

## II 多様な流通チャネルの展開

### 1 産地直売所の動向

#### 一令和2年4月現在の産直施設数は271一

産地直売所は、農家所得の確保にとどまらず、消費者との交流を通じて、農林水産業や農林水産物に対する理解促進や商品性の高い農林水産物等の生産意欲の向上、さらには組織的な取組による地域活性化などについて期待されています。

この背景には、度重なる輸入食品の残留農薬問題や、食品表示の偽装の発生等を背景とする消費者の食に対する安全・安心への関心の高まりから、地元農林水産物を志向する傾向が顕著であることや生産者が直接販売することによる、消費者と生産者の「顔の見える関係」の構築につながり、産地直売所というマーケットの拡大が進んでいるものと考えられます。

さらに、最近の全国的な傾向として、レストランや加工施設の併設、学校給食等への食材供給など、産地直売所の6次産業化、新たなアグリビジネスへの発展がみられています。

県では、「いわて地産地消推進運動」を展開するにあたって、産地直売所をその拠点として位置づけており、農林水産業者による多様な流通チャネルへの取組の支援として、運営上の課題に対応するため食のプロフェッショナルチームアドバイザーの派遣などを行ってきました。

令和2年4月現在で営業中の有人の直売所は271か所となっています(表Ⅱ-1-1)。

表Ⅱ-1-1 農産物等産地直売所の開設状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
開設	16	20	14	9	2	8	21	11	9	8	6
休業・廃止	9	8	3	6	5	22	10	15	14	9	9
営業中	264	276	287	290	287	273	284	280	275	274	271

県では、令和2年4月現在で営業中の271か所を対象に実態調査を行いました(回収率83.4%)。

#### 一産直施設の運営は約75.7%が任意団体一

直売所の運営組織をみると、もっとも多いのが「任意団体」で171か所(約75.7%)、次いで「株式会社」が25か所(約11.1%)となっています(表Ⅱ-1-2)。

表Ⅱ-1-2 運営組織別開設状況

区分	単位:施設、%					計
	株式会社	有限会社	農事組合法人	農・漁協直営	任意団体・その他	
回答数	25	8	13	9	171	226
構成比	11.1%	3.5%	5.8%	4.0%	75.7%	100.0

営業期間では、「通年営業」がもっとも多く83.6%、「季節営業」が16.4%となっています。

販売方法では、店舗販売以外に多いのが、「宅配サービス」49施設(21.7%)となっています。以下順に、「インショップ」26施設(11.5%)、「配達サービス」18施設(8.0%)、「ネット販売」14施設(6.2%)となっています。

令和元年度の売上状況をみると、最も多いのが「1,000～5,000万円」78施設(34.5%)、以下順に「500万円未満」46施設(20.4%)、「1億円以上」42施設(18.6%)、「500～1,000万円」37施設(16.4%)「5,000万円～1億円」18施設(8.0%)、となっています(表Ⅱ-1-3、図1)。

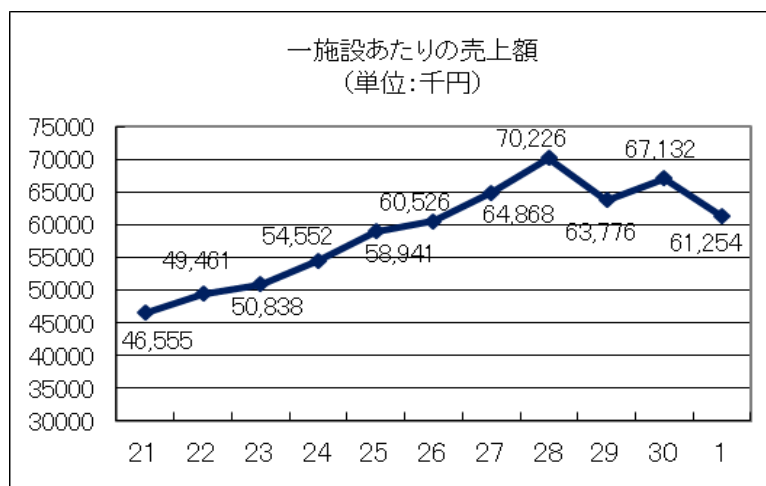
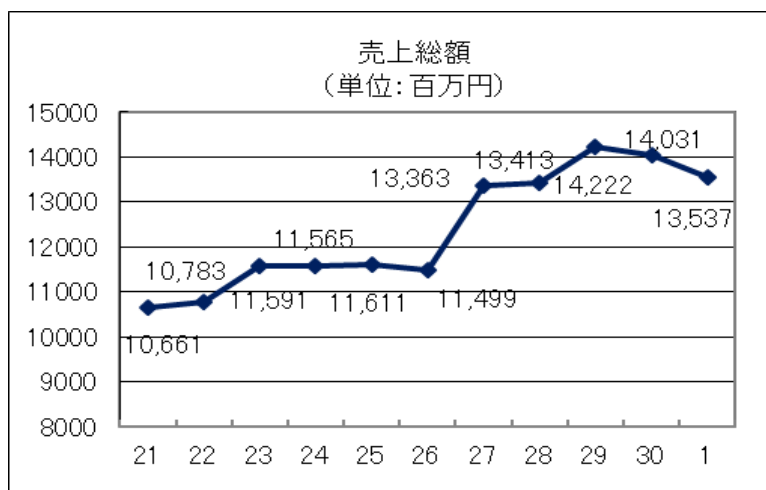
表Ⅱ-1-3 産地直売所の売上状況比較

単位:%

区分	500万未満	500～ 1,000万	1,000 ～5,000万	5,000万 ～1億	1億以上	無記入	回答 数
19年度	32.7 (68)	11.1 (23)	31.7 (66)	12.0 (25)	12.5 (26)	(6)	214
20年度	37.8 (81)	11.7 (26)	26.6 (59)	11.3 (25)	12.6 (28)	(3)	222
21年度	36.7 (84)	10.0 (23)	31.9 (73)	8.3 (19)	13.1 (30)		229
22年度	28.1 (59)	13.8 (29)	33.8 (71)	10.5 (22)	13.8 (29)		218
23年度	26.3 (60)	13.6 (31)	29.4 (67)	11.4 (26)	14.0 (32)	(12)	228
24年度	21.6 (50)	13.7 (29)	31.6 (67)	14.2 (30)	14.2 (30)	(6)	212
25年度	22.3 (44)	10.7 (21)	37.0 (73)	10.7 (21)	16.8 (33)	(5)	197
26年度	23.6 (46)	13.3 (26)	33.3 (65)	10.3 (20)	16.9 (33)	(5)	195
27年度	20.5 (43)	10.0 (21)	37.6 (79)	11.9 (25)	18.1 (38)	(4)	210
28年度	18.0 (36)	12.0 (24)	35.5 (71)	11.0 (22)	19.0 (38)	(9)	200
29年度	23.5 (53)	14.2 (32)	32.3 (73)	10.6 (24)	18.1 (41)	(3)	226
30年度	18.7 (40)	14.5 (31)	35.5 (76)	9.8 (21)	19.2 (41)	(5)	214
令和元 年度	20.4 (46)	16.4 (37)	34.5 (78)	8.0 (18)	18.6 (42)	(5)	226

注. 「構成比」は無記入を除いた割合とした。なお、( )内は、回答数である。

図1 年度別の売上総額と一施設当たりの売上推計額の推移



注 売上額は、回答のあった施設の販売額をもとに推計したもの。

商品構成は、もっとも多いのが「野菜」90.7%、以下、「花き」85.0%、「果物」82.3%、「加工品」77.0%、「苗類」が74.8%、「菌茸・山菜」74.3%となりました（表Ⅱ-1-4）。

表Ⅱ-1-4 商品構成の状況

単位：%

区分	米	野菜	果物	花き	雑穀	菌茸・ 山菜	魚介	加工	苗類	乳製品	工芸	その他
H23年度	73.2 (167)	89.5 (204)	78.5 (179)	82.5 (188)	68.4 (184)	80.7 (184)	13.6 (31)	76.8 (175)	75.4 (172)	32.0 (73)	63.2 (144)	13.2 (30)
H24年度	84.9 (180)	94.3 (200)	85.4 (181)	88.7 (188)	78.3 (166)	85.4 (181)	17.5 (37)	80.7 (171)	78.8 (167)	37.7 (80)	68.4 (145)	15.1 (32)
H25年度	79.7 (157)	91.4 (180)	83.2 (164)	88.3 (174)	74.6 (147)	82.7 (163)	17.8 (35)	78.7 (155)	77.7 (153)	34.5 (68)	71.1 (140)	18.3 (36)
H26年度	77.9 (152)	86.2 (168)	77.9 (152)	82.6 (161)	66.7 (130)	75.9 (148)	21.0 (41)	74.9 (146)	70.8 (138)	32.8 (64)	61.0 (119)	15.4 (30)
H27年度	79.0 (166)	90.5 (190)	83.8 (176)	83.3 (175)	71.9 (151)	76.7 (161)	19.5 (41)	77.6 (163)	73.8 (155)	33.3 (70)	66.2 (139)	12.9 (27)
H28年度	83.0 (166)	93.5 (187)	86.0 (172)	88.0 (176)	77.0 (154)	81.5 (163)	24.5 (49)	83.5 (167)	80.5 (161)	38.0 (76)	66.5 (133)	13.5 (27)
H29年度	73.9 (167)	90.3 (204)	79.6 (180)	84.5 (191)	65.5 (148)	76.5 (173)	23.5 (53)	81.4 (184)	74.8 (169)	35.4 (80)	62.4 (141)	14.2 (32)
H30年度	74.8 (160)	89.3 (191)	83.2 (178)	83.6 (179)	66.8 (143)	75.7 (162)	24.3 (52)	78.5 (168)	73.4 (157)	36.9 (79)	61.2 (131)	9.3 (20)
R元年度	73.0 (165)	90.7 (205)	82.3 (186)	85.0 (192)	64.2 (145)	74.3 (168)	26.1 (59)	77.0 (174)	74.8 (169)	36.7 (83)	63.3 (143)	9.3 (21)

注：（ ）内は回答施設数の内数

直売所の関連事業では、農産物等の直売のみの施設は95か所(42.0%)でした。

また、レストラン併設は82か所(36.3%)、加工施設併設は46か所(20.4%)、道の駅併設は32か所(14.2%)、体験・交流施設併設は22か所(9.7%)でした。併設施設を設置している直売所もあり、産地直売所事業の多角化が進んでいます（表Ⅱ-1-5）。

表Ⅱ-1-5 運営組織別関連事業の取組状況(R元年度)

単位：施設、%

	施設数	直売のみ	レストラン	交流施設	道の駅	加工施設	その他
株式会社	25	9	14	4	5	5	2
	11.1%	4.0%	6.2%	1.8%	2.2%	2.2%	0.9%
有限会社	8	4	3	1	0	1	0
	3.5%	1.8%	1.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%
農事組合法人	13	3	6	3	4	4	0
	5.8%	1.3%	2.7%	1.3%	1.8%	1.8%	0.0%
農漁協直営	9	3	4	0	0	1	4
	4.0%	1.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.4%	1.8%
任意団体・その他	171	76	55	14	23	35	29
	75.7%	33.6%	24.3%	6.2%	10.2%	15.5%	12.8%
計	226	95	82	22	32	46	35
	100.0%	42.0%	36.3%	9.7%	14.2%	20.4%	15.5%

地産地消推進の取組状況を調査したところ、

地域との関わりでは、

「イベント等の開催」154 施設(68.1%)、「同一地域内産地直売所との交流・連携」98 施設(43.4%)、「地域内配食サービスの実施」32 施設(14.2%)となっています。

学校や観光産業との関わりでは、

「学校・保育所・病院給食等への食材提供」76 施設(33.6%)、「ホテル等の観光施設への食材提供」35 施設(15.5%)となっています。

産地直売所運営上の課題を調査したところ、

商品上の課題として

もっとも多くの施設が商品の課題としているのが、「商品の品揃えの確保」183 施設(81.0%)で、以下順に、「商品の品質向上」129 施設(57.1%)、「鮮度の保持・管理」104 施設(46.0%)、「新商品の開発」75 施設(33.2%)となっています。

運営上の課題として

もっとも多くの施設が運営上の課題としているのが、「参加農家の確保」149 施設(65.9%)、以下順に、「商品の補充体制の改善」108 施設(47.8%)、「購入者の確保」103 施設(45.6%)、「陳列棚等売り場の改善」80 施設(35.4%)、「接客等サービスの向上」76 施設(33.6%)、「適正な食品表示」68 施設(30.1%)、「販売員の確保」62 施設(27.4%)となっています。

### Ⅲ データ編

#### 1 農林水産物産地別データ

水稲の市町村別作付面積及び収穫量（令和元年産）

市町村名	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	収穫量 (t)
盛岡市	2,620	580	15,200
宮古市	282	517	1,460
大船渡市	107	512	548
花巻市	7,670	563	43,200
北上市	5,040	557	28,100
久慈市	287	511	1,470
遠野市	1,790	550	9,830
一関市	5,910	526	31,100
陸前高田市	309	525	1,620
釜石市	51	524	267
二戸市	861	540	4,650
八幡平市	2,340	582	13,600
奥州市	10,300	556	57,200
滝沢市	740	574	4,250
雫石町	2,070	569	11,800
葛巻町	42	511	215
岩手町	528	560	2,960
紫波町	2,610	569	14,800
矢巾町	1,570	568	8,930
西和賀町	740	527	3,900
金ヶ崎町	2,410	533	12,800
平泉町	684	520	3,560
住田町	171	538	920
大槌町	83	523	434
山田町	129	505	651
岩泉町	110	508	559
田野畑村	16	490	78
普代村	5	471	24
軽米町	335	533	1,790
野田村	53	483	256
九戸村	235	539	1,270
洋野町	222	495	1,100
一戸町	241	518	1,250
計	50,500	554	279,800

注：数値は四捨五入しており、市町村値の計が都道府県値と一致しないことがある。

資料：作物統計調査（農林水産関係市町村別データ（水稲））（農林水産省）

主要花きの市町村別出荷数量（令和元年 上位5市町村）

順位	りんどう		占有率
	市町村名	出荷数量(千本)	
1	八幡平市	27,262	56.2%
2	西和賀町	5,204	10.7%
3	奥州市	4,169	8.6%
4	一戸町	1,909	3.9%
5	花巻市	1,677	3.5%
	その他	8,309	17.1%
県計		48,530	100.0%

順位	小ぎく		占有率
	市町村名	出荷数量(千本)	
1	一関市	7,280	51.3%
2	北上市	1,845	13.0%
3	奥州市	1,170	8.2%
4	雫石町	656	4.6%
5	岩手町	578	4.1%
	その他	2,672	18.8%
県計		14,201	100.0%

順位	ゆり類		占有率
	市町村名	出荷数量(千本)	
1	雫石町	871	73.6%
2	西和賀町	124	10.5%
3	紫波町	91	7.7%
4	奥州市	66	5.6%
5	金ヶ崎町	18	1.5%
	その他	14	1.2%
県計		1,184	100.0%

順位	鉢物類		占有率
	市町村名	出荷数量(千鉢)	
1	一関市	240	42.7%
2	花巻市	187	33.3%
3	八幡平市	110	19.6%
4	北上市	20	3.6%
5	洋野町	4	0.7%
	奥州市	1	0.2%
県計		562	100.0%

資料:岩手県農林水産部農産園芸課「花きに関する資料」

特用林産物作物別生産量(令和元年)

単位:トン

順位	乾しいたけ		占有率 (%)
	市町村名	数量	
1	久慈市	28.7	25.8
2	洋野町	24.1	21.7
3	宮古市	8.8	7.9
4	岩手町	7.3	6.6
5	野田村	5.6	5.0
6	山田町	4.7	4.2
7	遠野市	4.1	3.7
8	岩泉町	3.8	3.4
9	一関市	3.5	3.1
10	普代村	3.4	3.1
	その他	17.2	15.5
合計		111	100.0

単位:トン

順位	生しいたけ(原木)		占有率 (%)
	市町村名	数量	
1	矢巾町	75.2	48.1
2	紫波町	18.6	11.9
3	岩手町	18.6	11.9
4	八幡平市	14.7	9.4
5	洋野町	5.0	3.2
6	久慈市	4.0	2.6
7	一関市	3.8	2.4
8	葛巻町	2.7	1.7
9	宮古市	2.7	1.7
10	岩泉町	2.6	1.7
	その他	8.3	5.3
合計		156	100.0

単位:トン

順位	生しいたけ(菌床)		占有率 (%)
	市町村名	数量	
1	岩泉町	1,112.4	27.1
2	久慈市	975.2	23.8
3	田野畑村	426.4	10.4
4	遠野市	255.4	6.2
5	一戸町	194.1	4.7
6	奥州市	177.4	4.3
7	岩手町	158.4	3.9
8	洋野町	101.3	2.5
9	北上市	98.2	2.4
10	釜石市	96.2	2.3
	その他	502.7	12.3
合計		4,098	100.0

単位:キロ

順位	まつたけ		占有率 (%)
	市町村名	数量	
1	山田町	2,019	64.9
2	宮古市	779	25.1
3	田野畑村	127	4.1
4	葛巻町	65	2.1
5	岩手町	54	1.7
6	岩泉町	26	0.8
7	洋野町	24	0.8
8	野田村	8	0.3
9	大槌町	7	0.2
合計		3,109	100.0

単位:キロ

順位	うるし		占有率 (%)
	市町村名	数量	
1	二戸市	1,488	100.0
合計		1,488	100.0

単位:トン

順位	木炭		占有率 (%)
	市町村名	数量	
1	洋野町	582.5	24.4
2	久慈市	507.6	21.3
3	九戸村	482.4	20.2
4	軽米町	434.6	18.2
5	二戸市	135.2	5.7
6	葛巻町	94.1	3.9
7	岩泉町	59.5	2.5
8	雫石町	36.1	1.5
9	一関市	17.2	0.7
10	一戸町	11.3	0.5
	その他	24.3	1.0
合計		2,385	100.0

資料: 令和元年特用林産物統計表(林業振興課)



単位:トン

順位	わさび(根)		占有率 (%)
	市町村名	数量	
1	岩泉町	17.5	68.9
2	遠野市	7.3	28.7
3	雫石町	0.5	2.0
4	山田町	0.1	0.4
合計		25	100.0

単位:トン

順位	わさび(葉)		占有率 (%)
	市町村名	数量	
1	岩泉町	266.6	69.0
2	九戸村	49.8	12.9
3	宮古市	36.1	9.3
4	遠野市	32.5	8.4
5	雫石町	0.7	0.2
6	住田町	0.3	0.1
7	久慈市	0.1	0.0
8	山田町	0.0	0.0
9	二戸市	0.0	0.0
10	野田村	0.0	0.0
合計		386	100.0

資料:令和元年特用林産物統計表(林業振興課)

## 2 東京都中央卸売市場の産地別取扱量・金額・平均価格の推移(R2年)

### (1) きゅうり

R2年度産地別取扱量の推移

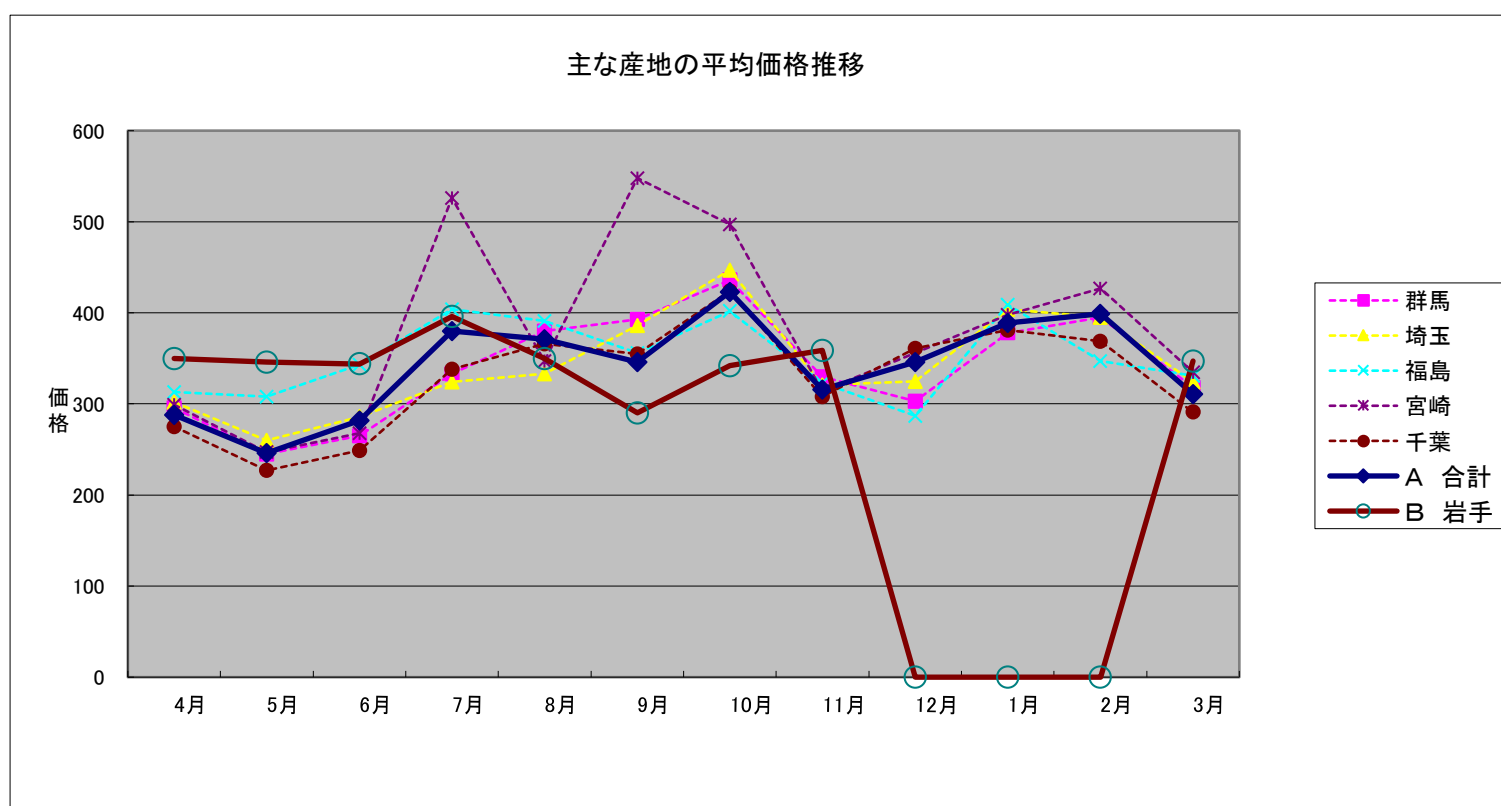
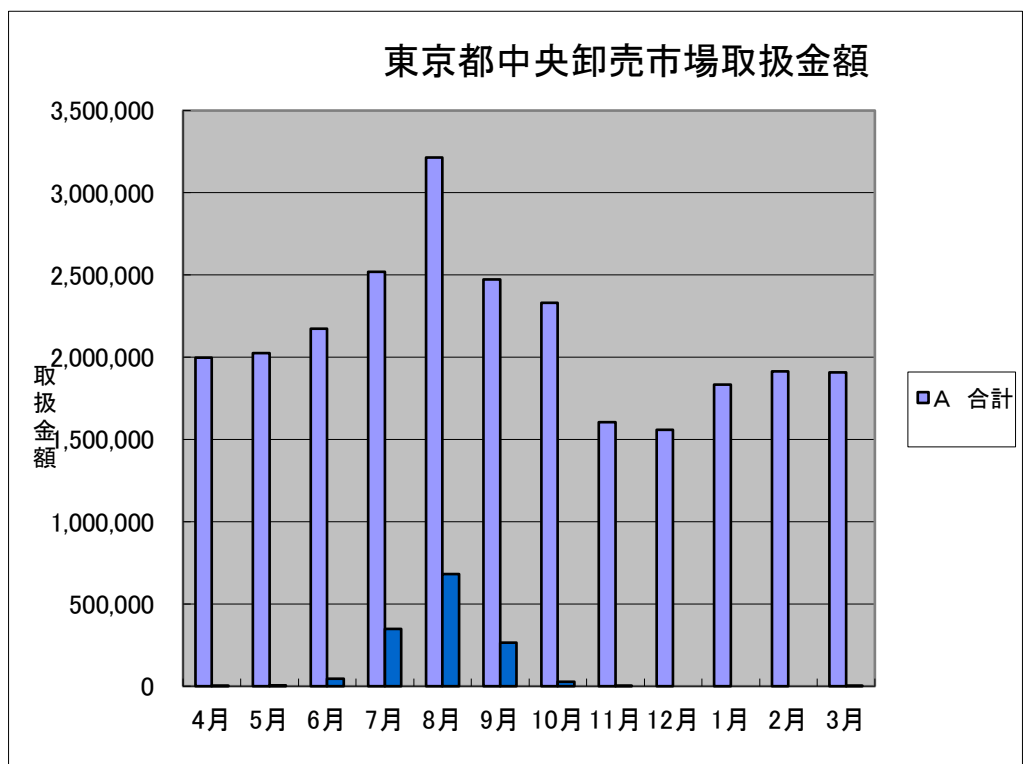
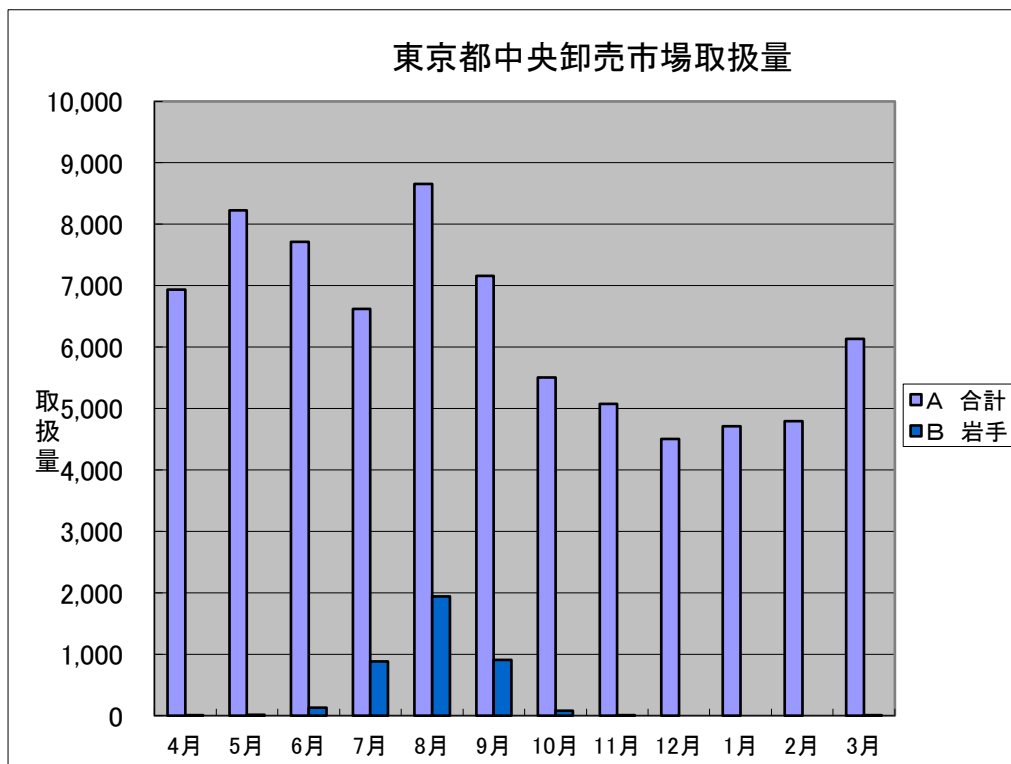
(単位:t)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	76,051	6,932	8,229	7,715	6,625	8,660	7,161	5,505	5,076	4,505	4,711	4,797	6,137
1 群馬	13,609	1,825	2,221	1,814	494	302	1,116	1,633	1,134	370	345	829	1,526
2 埼玉	11,044	1,584	2,152	1,800	274	76	701	1,302	1,288	573	206	201	885
3 福島	10,815	66	210	1,127	2,682	3,677	2,067	725	203	38	8	1	10
4 宮崎	9,918	979	864	192	8	0	1	155	1,045	1,877	2,050	1,545	1,201
5 千葉	6,936	880	861	612	312	245	148	167	376	633	727	917	1,058
6 茨城	5,582	767	848	615	202	194	561	539	259	69	306	500	722
7 岩手	3,965	1	12	130	883	1,943	911	82	3	0	0	0	1
8 高知	3,647	418	311	61	0	0	0	33	343	624	828	573	457
9 秋田	2,341	0	12	171	645	898	499	106	11	0	0	0	0
10 宮城	2,290	86	336	525	267	308	439	268	60	1	0	0	0
11 栃木	1,819	206	246	351	167	45	162	179	113	32	40	99	176
本県の市場シェア	5.2%	0.0%	0.1%	1.7%	13.3%	22.4%	12.7%	1.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

R2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	25,552,074	1,996,205	2,026,590	2,173,553	2,520,707	3,214,012	2,474,547	2,329,811	1,605,225	1,557,773	1,833,008	1,913,035	1,907,609
1 群馬	4,423,306	540,189	543,340	480,855	164,399	114,767	438,730	712,283	373,987	112,166	130,470	327,185	484,935
2 福島	4,105,583	20,799	64,609	386,507	1,084,104	1,438,604	736,207	291,375	65,487	10,980	3,259	217	3,436
3 埼玉	3,567,073	477,905	559,243	514,718	88,901	25,450	270,294	581,788	413,482	185,883	83,223	79,415	286,771
4 宮崎	3,514,242	292,448	213,711	51,426	3,973	104	649	77,025	328,573	668,055	816,987	659,289	402,002
5 千葉	2,175,601	241,588	195,713	152,249	105,432	89,657	52,513	70,779	115,982	228,386	276,868	338,772	307,662
6 茨城	1,640,403	195,097	184,588	146,347	62,190	63,320	179,222	208,366	77,709	21,379	115,460	185,374	201,350
7 岩手	1,371,918	402	4,116	44,664	349,346	680,315	263,809	27,997	1,062	0	0	0	207
8 高知	1,246,959	110,307	72,406	13,334	15	0	92	16,965	107,276	231,343	321,228	235,026	138,967
9 秋田	823,352	0	4,087	56,325	250,122	323,982	148,078	37,345	3,413	0	0	0	0
10 宮城	746,012	25,325	88,944	149,546	93,797	109,709	150,119	108,020	20,177	219	0	0	157
11 栃木	542,796	58,640	56,921	85,853	45,204	14,906	54,466	72,749	34,870	11,482	15,195	39,585	52,927
12 山形	532,023	4,892	13,044	57,032	154,345	161,514	94,464	40,301	6,182	249	0	0	0
本県の市場シェア	5.4%	0.0%	0.2%	2.1%	13.9%	21.2%	10.7%	1.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



本県きゅうりのR2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、3,965t(市場シェア7位:5.2%)、出荷額は、約13億7千万円(市場シェア8位:5.4%)であった。出荷時期は夏場に集中しており、最盛期の8月においては、全国シェアの22.4%(重量ベース)を占めている。平均価格については、年間では全国平均をやや上回る状況にある。

平均価格の推移(R2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	336	288	246	282	380	371	346	423	316	346	389	399	311
B 岩手	346	350	346	344	396	350	290	342	359	-	-	-	347
価格差	10	62	100	62	16	△ 21	△ 56	△ 81	43	-	-	-	-
1 群馬	325	296	245	265	333	380	393	436	330	303	378	395	318
2 埼玉	323	302	260	286	324	333	386	447	321	325	404	395	324
3 福島	380	313	308	343	404	391	356	402	323	287	409	347	331
4 宮崎	354	299	247	268	526	347	548	497	314	356	398	427	335
5 千葉	314	275	227	249	338	366	355	424	308	361	381	369	291

(主要産地上位5産地の平均価格)

(2)ほうれんそう

R2年度産地別取扱量の推移

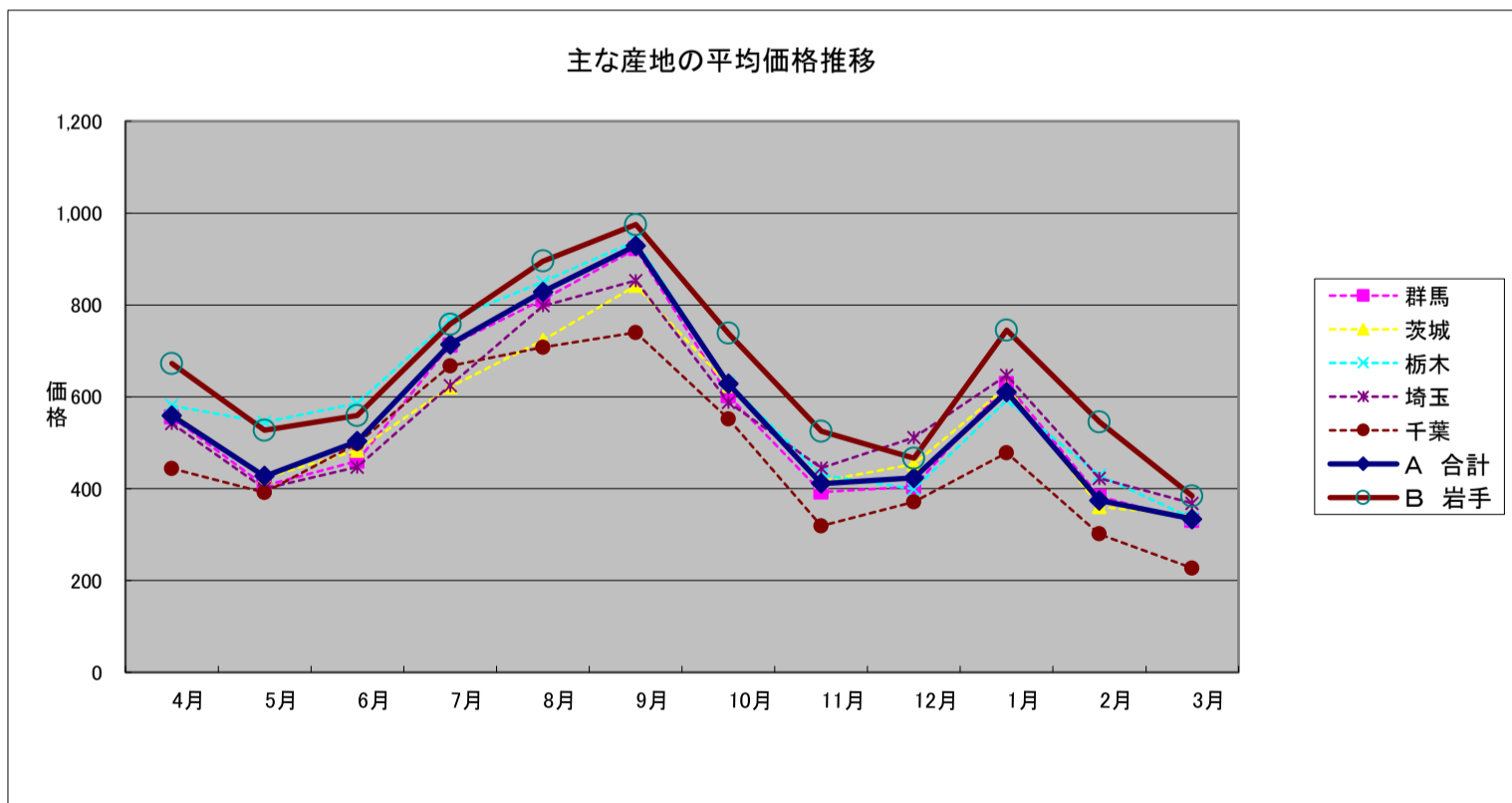
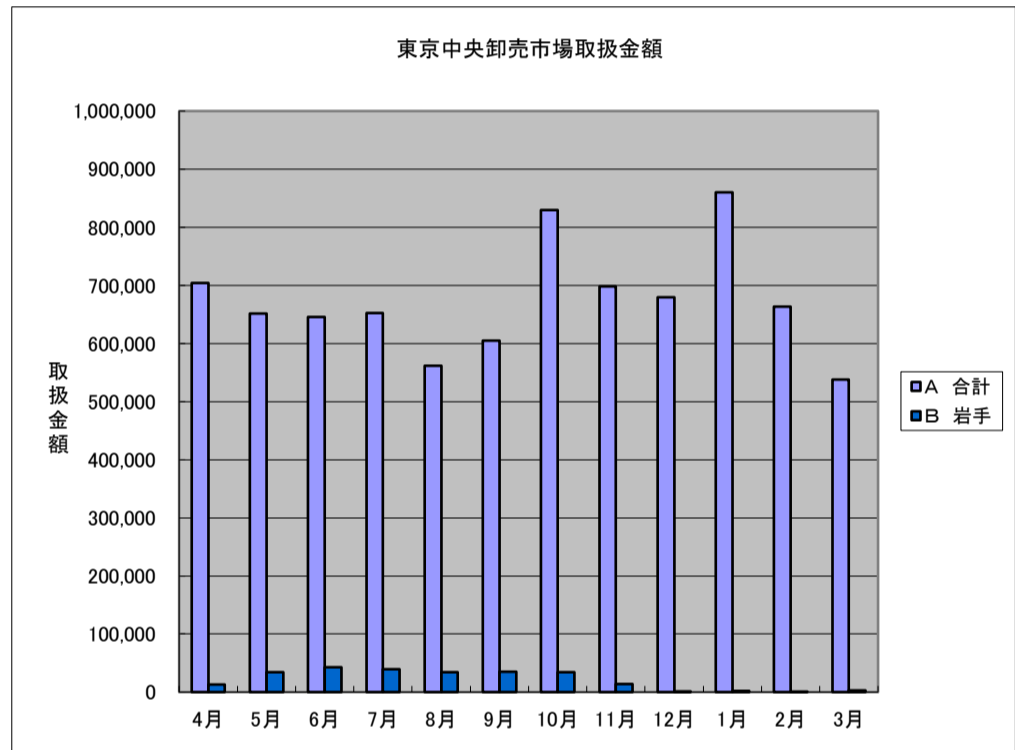
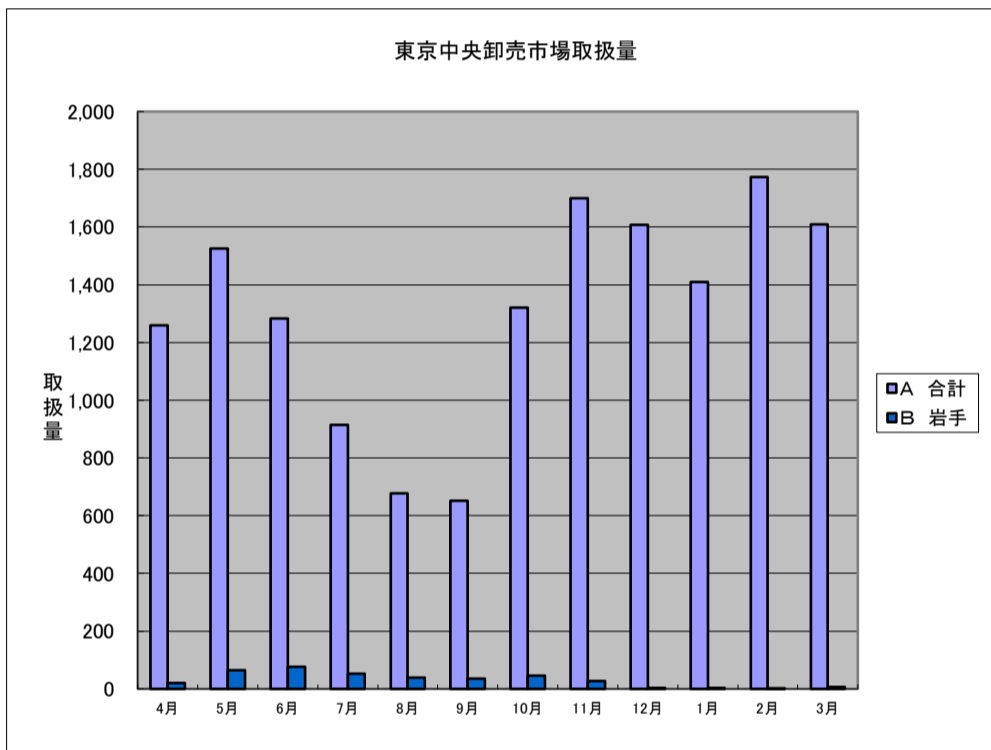
(単位:t)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	15,731	1,260	1,526	1,283	914	678	651	1,322	1,699	1,607	1,409	1,773	1,609
1 群馬	5,779	450	583	448	287	212	263	590	699	718	521	568	441
2 茨城	4,991	546	580	402	248	121	91	278	447	408	456	660	753
3 栃木	1,593	18	32	208	206	197	164	183	171	124	96	104	90
4 埼玉	1,081	111	118	42	14	4	7	46	94	141	153	187	164
5 千葉	775	40	15	7	15	9	15	46	107	141	134	167	79
6 岐阜	376	10	65	56	49	55	44	53	37	4	0	1	1
7 岩手	374	19	65	76	52	38	36	46	27	3	3	1	7
8 福岡	211	16	23	2	0	0	0	6	21	28	24	52	38
9 東京	114	9	13	7	4	2	2	7	12	13	11	19	17
10 長野	99	0	1	5	4	2	1	22	56	7	0	0	1
本県の市場シェア	2.4%	1.5%	4.3%	6.0%	5.7%	5.7%	5.5%	3.5%	1.6%	0.2%	0.2%	0.1%	0.4%

R2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	8,089,393	704,242	651,576	645,882	652,454	561,306	605,033	830,024	697,959	679,681	859,763	663,282	538,193
1 群馬	2,919,686	250,126	236,500	205,785	204,420	172,103	242,207	354,878	273,772	289,898	326,650	217,694	145,653
2 茨城	2,388,793	308,409	246,056	193,835	154,311	87,674	76,611	173,358	185,944	185,209	283,000	237,705	256,681
3 栃木	999,241	10,673	17,659	121,894	158,077	167,639	153,757	115,149	73,474	49,428	56,871	44,507	30,113
4 埼玉	523,458	60,133	47,219	18,597	8,574	3,312	6,247	27,297	42,038	71,926	98,742	78,882	60,493
5 千葉	298,603	17,561	5,699	3,555	9,823	6,029	11,244	25,540	34,217	52,494	64,203	50,243	17,994
6 岐阜	278,776	6,814	34,446	33,777	41,387	49,156	44,954	42,474	22,135	1,820	461	674	678
7 岩手	253,840	12,955	34,241	42,738	39,347	34,426	35,241	33,941	14,269	1,268	2,132	661	2,622
8 北海道	91,369	863	2,685	8,058	17,797	24,731	21,623	15,380	163	0	0	69	0
9 福岡	87,417	8,742	8,230	1,050	0	0	0	4,007	7,735	10,891	15,176	20,071	11,515
10 秋田	56,401	2,316	3,347	7,460	8,396	9,097	7,418	12,442	3,069	527	43	0	2,286
本県の市場シェア	3.1%	1.8%	5.3%	6.6%	6.0%	6.1%	5.8%	4.1%	2.0%	0.2%	0.2%	0.1%	0.5%



本県ほうれんそうのR2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、374t(市場シェア7位:2.4%)、出荷額は、約2億5千万円(市場シェア7位:3.1%)であった。年間を通じて出荷されているが、特に5~10月にかけて多く出荷されており、6月においては、全国シェアの約6.0%(重量ベース)を占めている。価格は、全国平均の価格を165円/kg上回っているが、年間を通して常に平均価格が高いことによる。

平均価格の推移(R2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	514	559	427	503	714	828	929	628	411	423	610	374	334
B 岩手	679	672	527	559	758	895	975	738	525	466	745	545	384
価格差	165	113	100	56	44	67	46	110	114	43	135	171	50
1 群馬	505	556	406	460	712	811	922	602	392	404	628	383	330
2 茨城	479	565	424	483	621	723	842	624	416	453	621	360	341
3 栃木	627	581	544	586	768	850	939	630	430	399	592	429	335
4 埼玉	484	542	400	447	624	798	853	588	445	511	647	422	368
5 千葉	385	444	391	498	667	708	740	552	319	371	478	301	227

(主要産地上位5産地の平均価格)

(3)ピーマン

R2年度産地別取扱量の推移

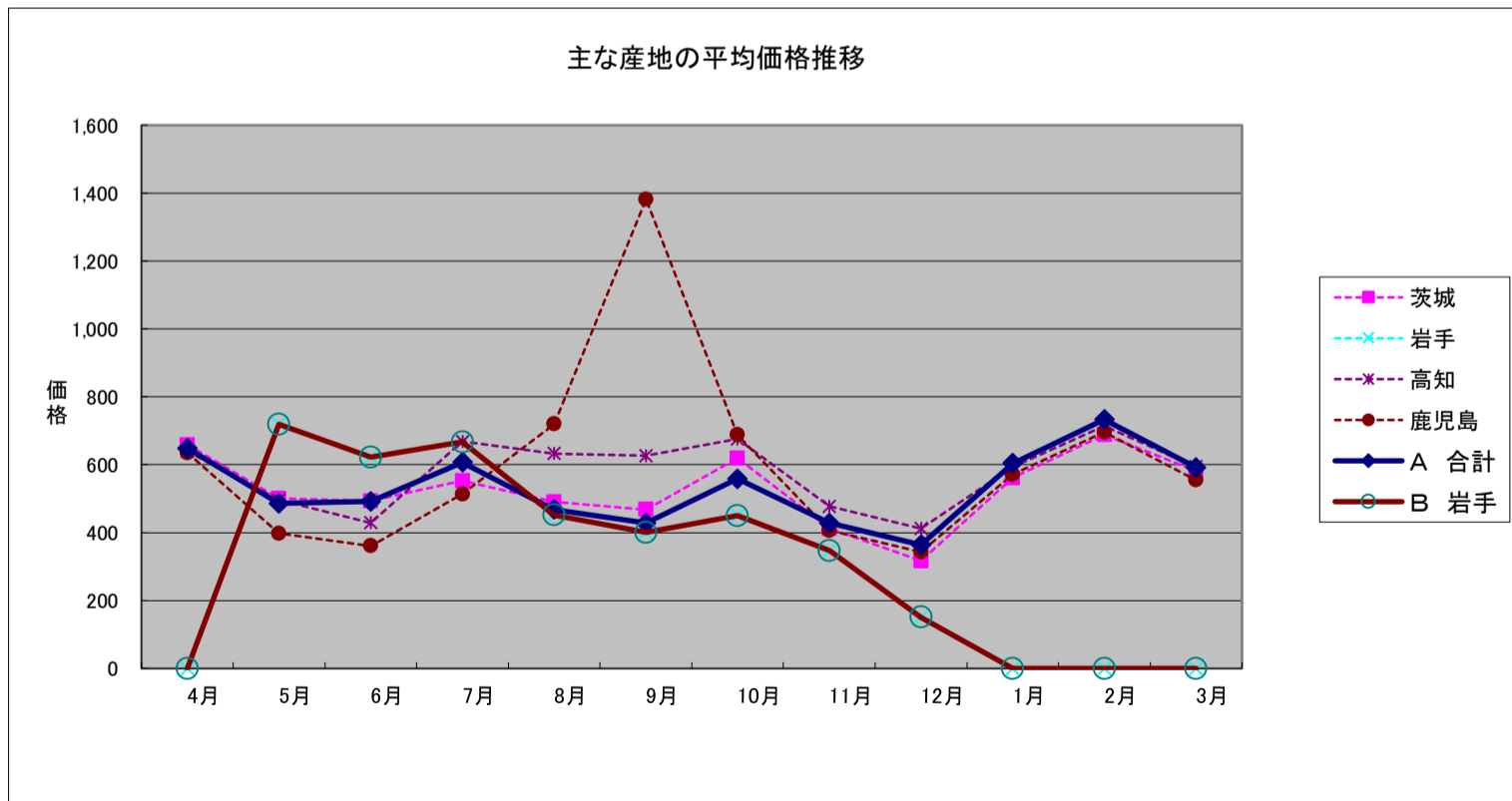
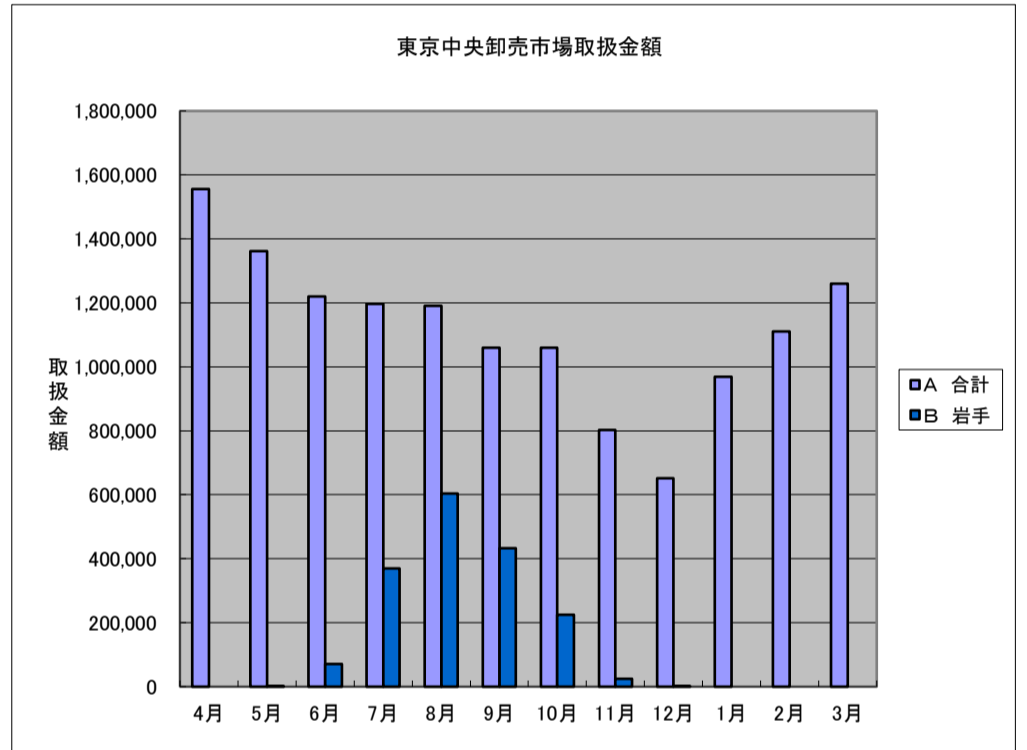
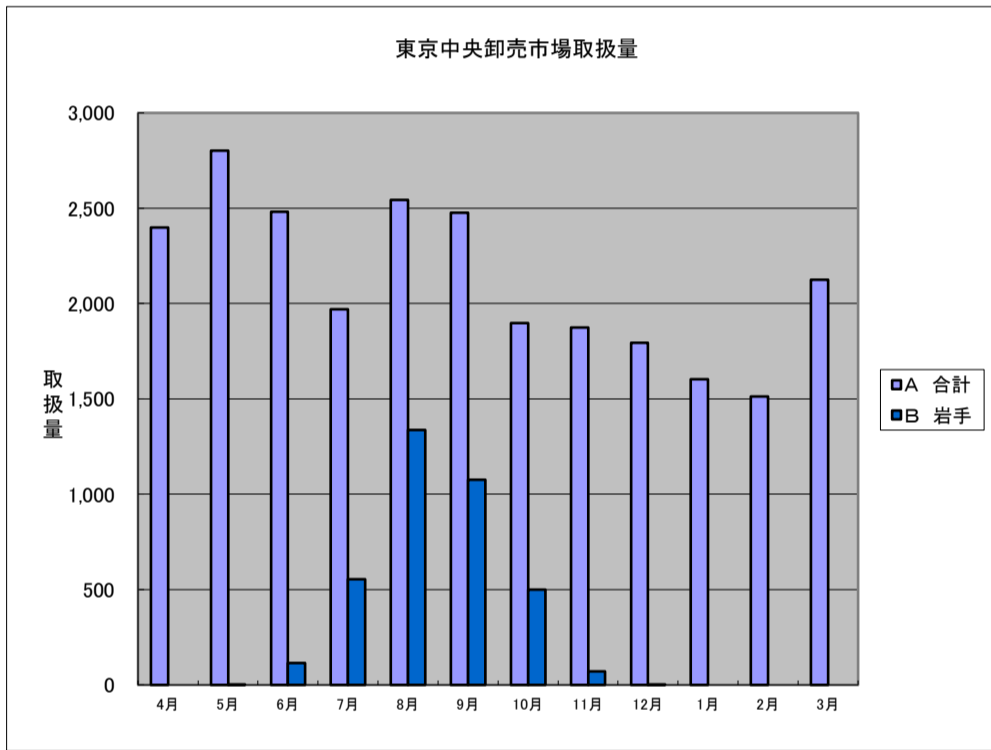
(単位:t)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	25,480	2,399	2,802	2,482	1,970	2,543	2,476	1,898	1,876	1,793	1,603	1,513	2,126
1 茨城	10,983	1,199	1,736	1,956	1,047	509	888	988	942	494	170	259	795
2 宮崎	5,097	635	533	164	73	32	3	79	447	733	873	737	787
3 岩手	3,653	0	0	115	554	1,337	1,077	499	71	0	0	0	0
4 高知	2,500	355	344	178	22	18	13	73	245	320	325	291	317
5 鹿児島	1,346	178	154	9	1	0	0	14	134	230	221	203	202
6 福島	963	0	0	8	126	380	306	131	12	0	0	0	0
7 青森	553	0	0	1	67	225	163	90	5	0	0	0	0
8 千葉	130	3	11	25	30	17	13	9	10	6	3	1	2
9 沖縄	58	18	5	3	1	0	0	0	1	2	2	12	14
10 和歌山	58	7	15	11	1	0	0	0	1	3	5	8	7
本県の市場シェア	14.3%	0.0%	0.0%	4.6%	28.1%	52.6%	43.5%	26.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

R2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	13,438,629	1,555,535	1,361,176	1,220,578	1,196,389	1,191,401	1,060,500	1,059,983	803,256	652,117	968,509	1,109,910	1,259,275
1 茨城	5,760,079	788,273	869,965	964,054	578,672	249,891	415,942	611,936	388,249	156,529	95,194	178,141	463,233
2 宮崎	2,938,350	407,334	240,484	76,214	59,359	25,198	2,293	55,036	203,349	276,386	544,822	565,451	482,423
3 岩手	1,726,431	0	340	71,317	369,333	604,117	432,182	224,521	24,604	18	0	0	0
4 高知	1,394,873	227,202	170,250	76,498	14,487	11,663	7,966	49,320	116,550	131,981	193,078	207,402	188,476
5 鹿児島	700,413	113,114	61,220	3,166	285	334	7	9,665	54,463	78,709	126,132	141,199	112,120
6 福島	469,239	0	0	4,127	82,727	185,410	132,508	60,892	3,569	5	0	0	0
7 青森	226,747	107	0	430	41,371	91,169	56,501	35,299	1,480	122	0	11	257
8 千葉	63,254	2,003	4,673	10,866	14,023	8,496	5,174	4,844	5,839	2,802	1,854	1,189	1,491
9 大分	37,553	0	0	4,239	21,730	5,778	1,947	1,840	947	861	152	58	0
10 和歌山	33,752	5,109	7,913	5,317	611	0	0	0	663	1,229	3,318	5,519	4,073
本県の市場シェア	12.8%	0.0%	0.0%	5.8%	30.9%	50.7%	40.8%	21.2%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



本県ピーマンのR2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、3,653 t(市場シェア3位: 14.3%)、出荷額は、約17億3千万円(市場シェア3位: 12.8%)であった。7~10月にかけて出荷が多くなっているが、最盛期の8月においては、全国シェアの52.6%(重量ベース)を占め、夏場の主要な産地となっている。平均価格については、全国平均を54円/kg下回っている。

平均価格の推移(R2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	527	648	486	492	607	468	428	559	428	364	604	733	592
B 岩手	473	-	719	622	667	452	401	450	347	151	-	-	-
価格差	△ 54	-	-	130	60	△ 16	△ 27	△ 109	△ 81	-	-	-	-
1 茨城	524	658	501	493	553	491	468	619	412	317	561	688	582
2 宮崎	577	641	451	465	811	788	806	695	455	377	624	768	613
3 岩手	473	-	719	622	667	452	401	450	347	151	-	-	-
4 高知	558	640	496	429	669	633	627	676	477	412	594	714	594
5 鹿児島	521	635	398	361	514	720	1,382	688	407	343	571	696	555

(主要産地上位5産地の平均価格)

(4) トマト

R2年度産地別取扱量の推移

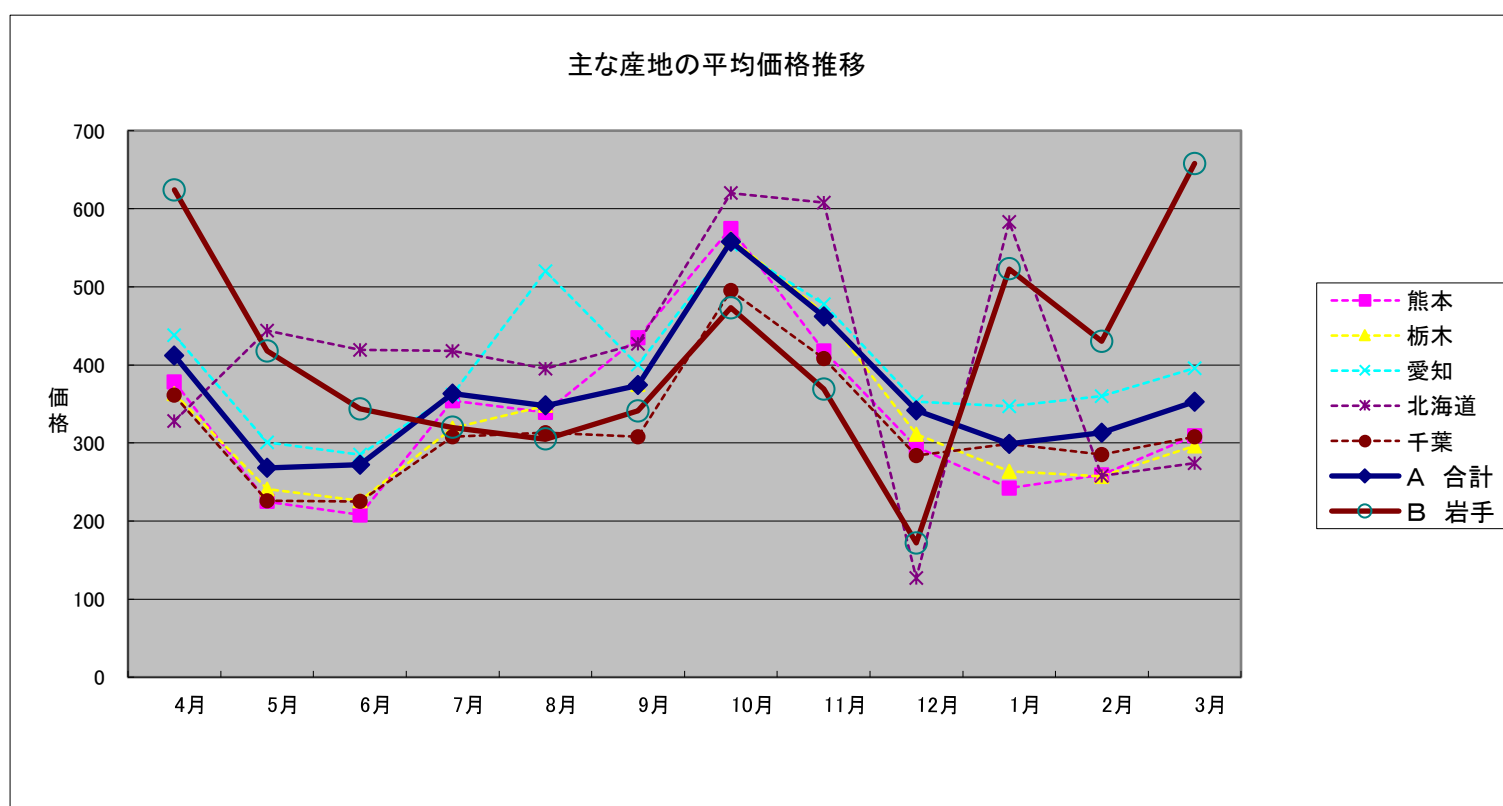
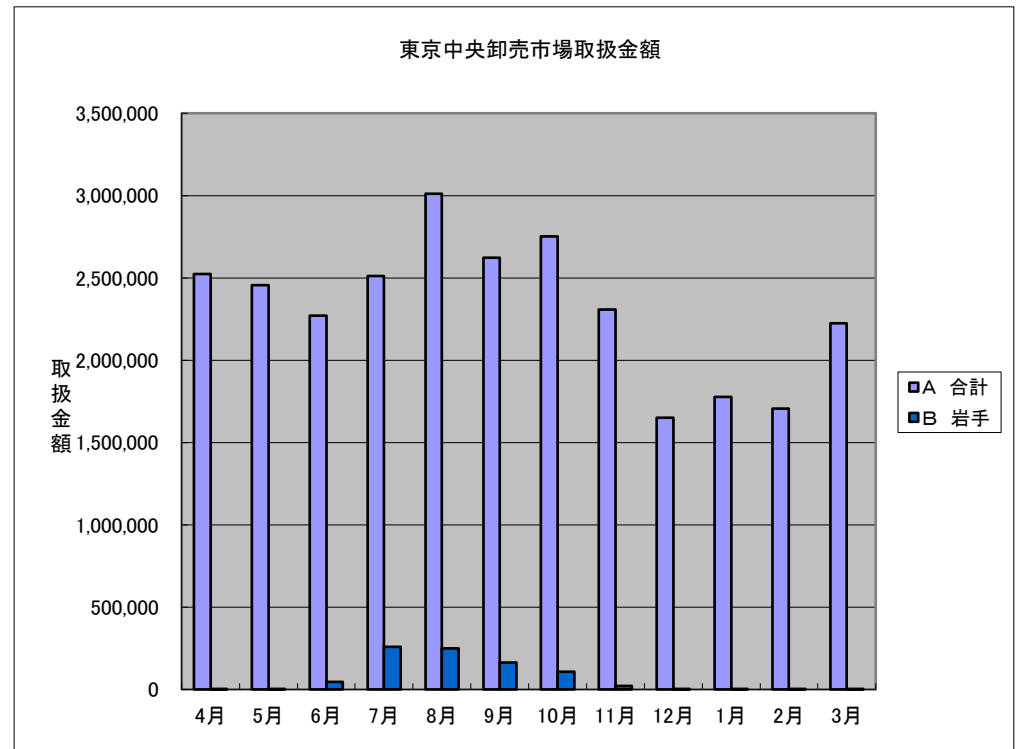
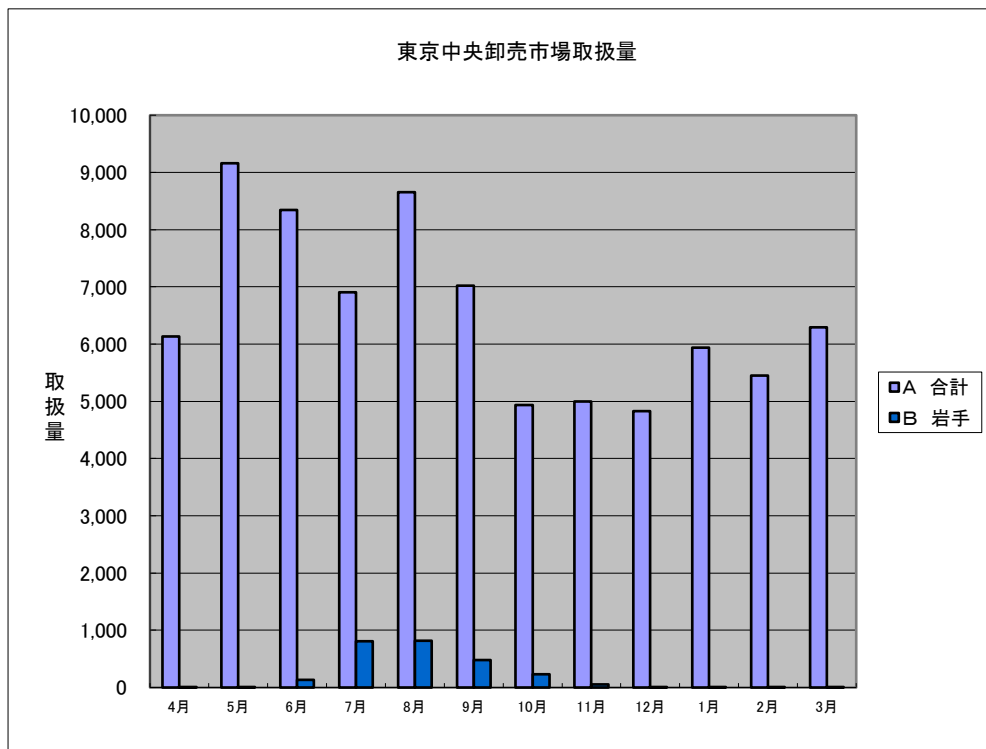
(単位:t)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	78,655	6,132	9,159	8,345	6,910	8,654	7,018	4,933	4,995	4,830	5,937	5,448	6,294
1 熊本	18,883	1,946	2,730	1,576	269	144	83	610	2,259	2,149	2,878	2,038	2,202
2 栃木	11,575	1,599	2,248	2,023	642	131	164	141	392	730	946	1,125	1,434
3 愛知	6,911	719	1,008	855	274	2	33	314	635	850	795	725	702
4 北海道	5,794	0	12	457	1,184	1,833	1,477	772	56	0	0	2	0
5 千葉	5,302	309	620	759	377	253	886	634	578	269	172	176	270
6 福島	4,193	40	94	201	470	1,490	1,023	614	78	61	42	40	39
7 青森	3,956	0	5	103	995	1,481	892	430	49	0	0	0	0
8 茨城	3,945	234	549	675	262	97	598	372	258	135	161	240	365
9 群馬	3,932	239	480	405	420	1,003	529	216	66	57	119	175	222
10 岩手	2,534	1	7	134	807	815	476	229	56	1	5	4	0
11 静岡	2,195	210	306	294	122	47	24	81	171	245	276	216	205
本県の市場シェア	3.2%	0.0%	0.1%	1.6%	11.7%	9.4%	6.8%	4.6%	1.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%

R2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	27,809,476	2,524,419	2,454,917	2,269,423	2,509,987	3,011,173	2,623,500	2,750,906	2,308,433	1,650,524	1,775,724	1,706,331	2,224,139
1 熊本	5,694,303	736,021	615,077	328,141	94,993	48,710	35,875	351,076	943,468	634,079	697,153	528,408	681,302
2 栃木	3,343,174	579,946	540,844	458,166	204,507	45,433	61,463	78,989	182,966	226,981	249,595	289,498	424,785
3 愛知	2,567,805	315,218	302,986	243,505	99,077	1,121	13,123	173,546	303,638	300,260	276,012	261,211	278,108
4 北海道	2,559,043	37	5,305	191,705	494,697	723,614	630,994	478,278	33,855	51	9	457	41
5 千葉	1,700,908	111,527	140,047	170,497	116,072	79,006	273,232	313,911	235,879	76,247	51,381	50,009	83,100
6 福島	1,588,517	16,747	33,076	68,776	170,224	483,614	369,641	336,381	40,865	20,398	14,994	16,327	17,473
7 静岡	1,486,595	147,092	160,269	156,707	98,437	61,621	38,479	93,725	152,111	147,337	161,406	128,590	140,819
8 青森	1,428,647	197	1,407	34,810	336,809	489,874	330,777	213,048	21,655	38	0	0	31
9 茨城	1,400,889	122,803	163,013	182,950	76,360	29,527	176,990	188,457	100,158	42,442	50,665	104,332	163,191
10 群馬	1,252,014	94,740	116,970	96,707	137,296	299,847	187,865	109,160	23,914	18,264	37,076	52,443	77,732
11 岩手	851,914	808	2,845	45,943	258,247	248,811	162,223	108,140	20,581	250	2,421	1,512	134
12 山形	537,588	0	1,571	44,152	127,408	147,245	102,164	85,232	25,959	1,247	385	1,794	430
本県の市場シェア	3.1%	0.0%	0.1%	2.0%	10.3%	8.3%	6.2%	3.9%	0.9%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%



本県トマトのR2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、2,534t(市場シェア10位:3.2%)、出荷額は、約8.5億円(市場シェア11位:3.1%)であった。7~10月にかけて出荷が多くなっているが、最盛期の7月においては、全国シェアの11.7%(重量ベース)を占めている。平均価格については、全国平均を18円/kg下回っている。

平均価格の推移(R2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	354	412	268	272	363	348	374	558	462	342	299	313	353
B 岩手	336	624	418	344	320	305	341	473	369	172	523	430	658
価格差	△ 18	212	150	72	△ 43	△ 43	△ 33	△ 85	△ 93	△ 170	224	117	305
1 熊本	302	378	225	208	354	339	435	575	418	295	242	259	309
2 栃木	289	363	241	226	319	348	375	562	467	311	264	257	296
3 愛知	372	438	301	285	362	520	400	554	478	353	347	360	396
4 北海道	442	328	444	419	418	395	427	620	608	127	583	258	274
5 千葉	321	361	226	225	308	313	308	495	408	284	299	285	308

(主要産地上位5産地の平均価格)

(5)キャベツ

R2年度産地別取扱量の推移

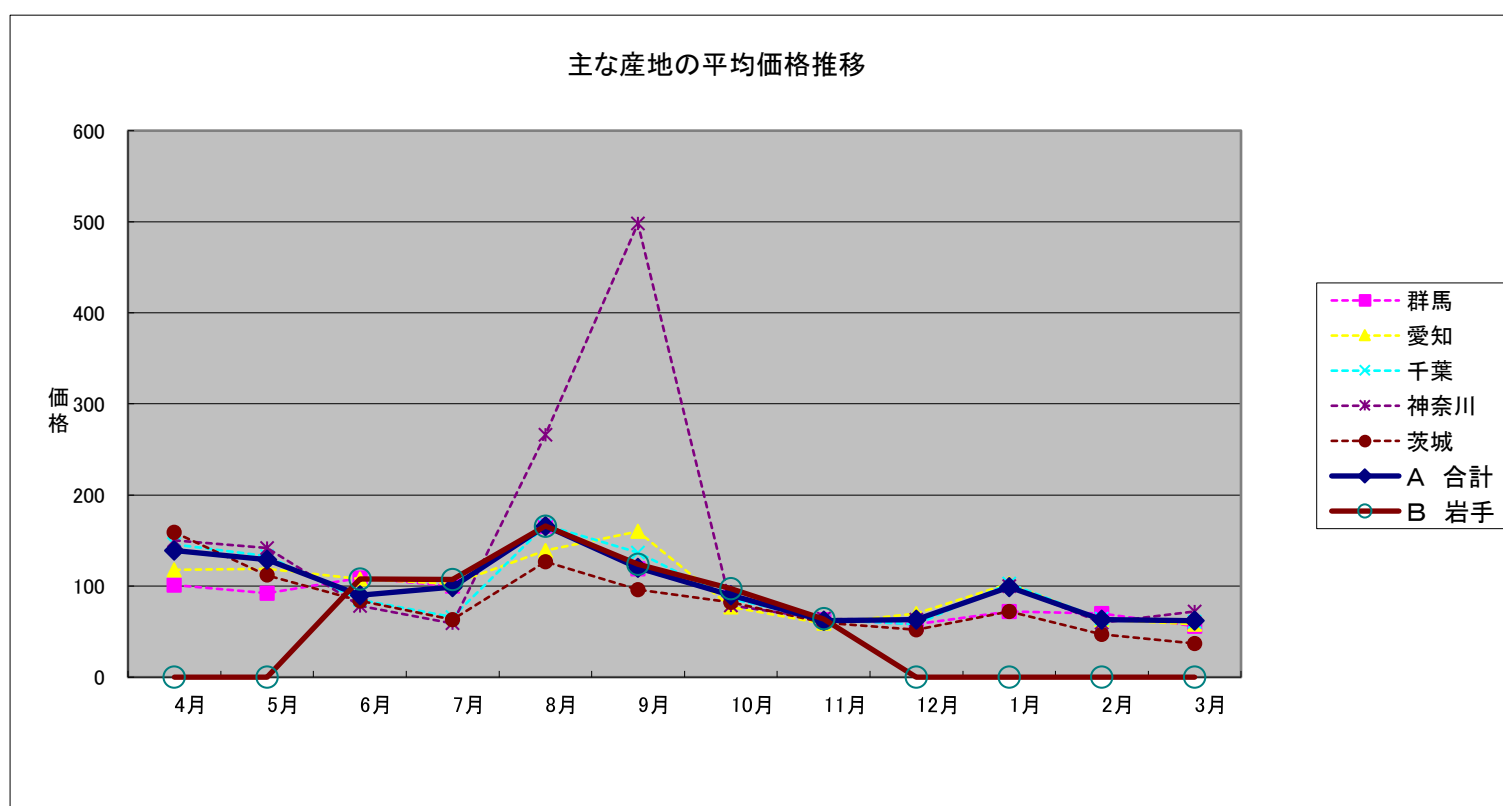
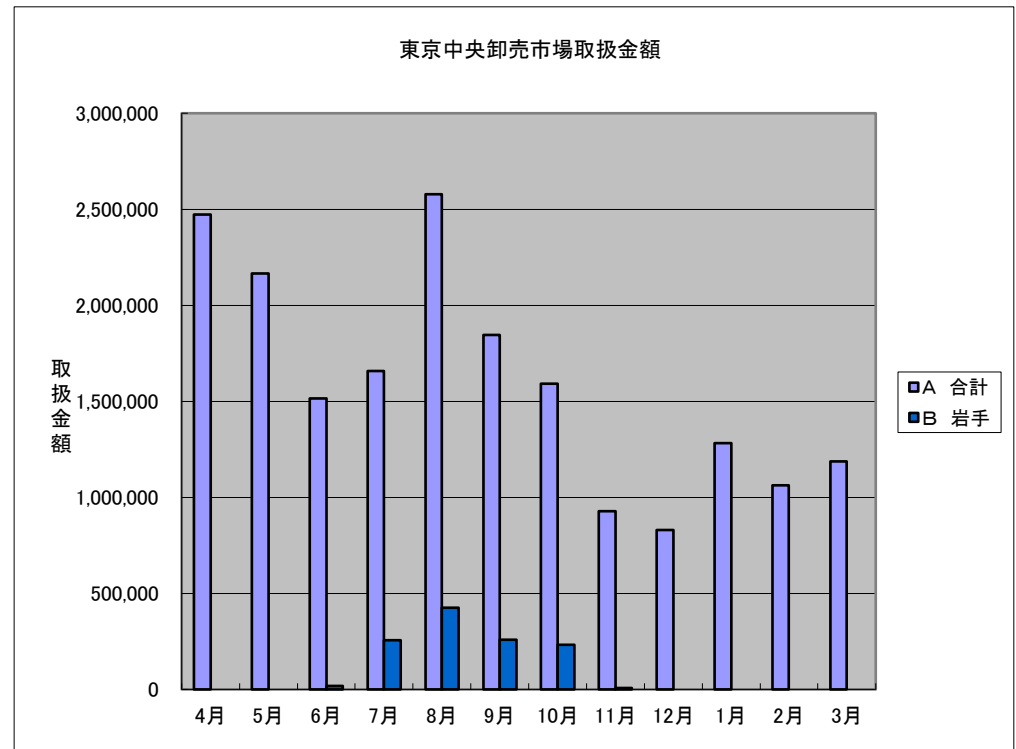
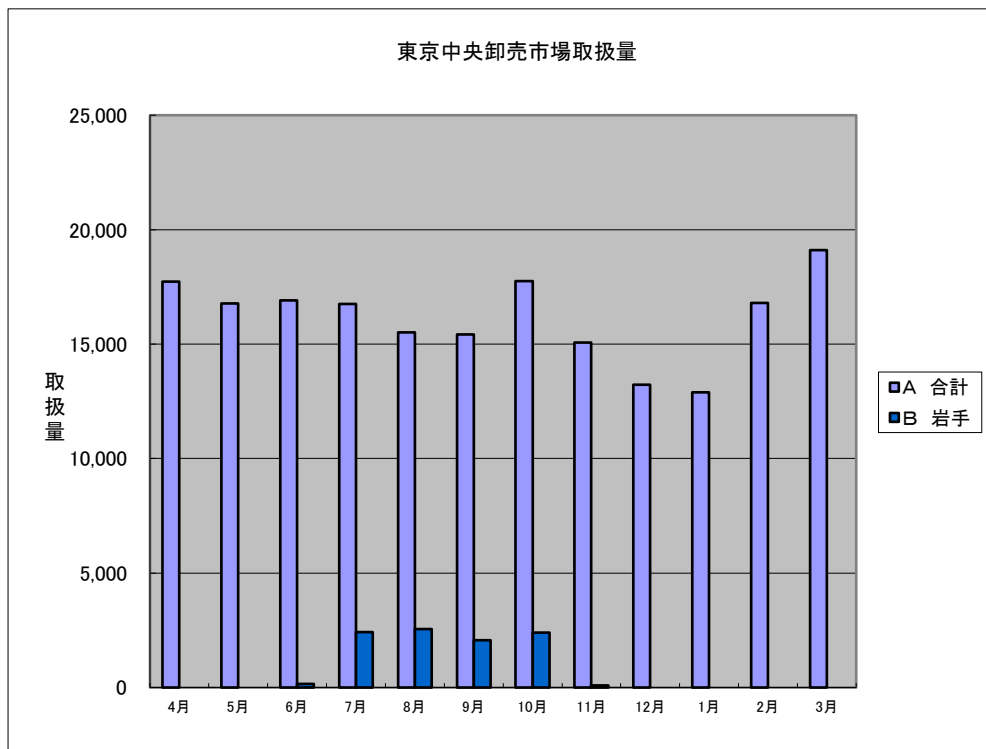
(単位:t)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	193,942	17,728	16,771	16,917	16,749	15,510	15,430	17,755	15,067	13,235	12,887	16,795	19,099
1 群馬	48,589	94	75	2,210	11,405	11,467	11,724	10,539	801	25	63	86	102
2 愛知	44,408	5,202	2,822	719	48	6	1	205	2,773	5,554	7,773	9,762	9,542
3 千葉	43,467	4,038	6,936	8,154	460	84	118	1,587	6,685	4,448	2,334	4,247	4,376
4 神奈川	22,538	7,753	4,266	659	2	0	0	159	938	982	1,197	1,948	4,633
5 茨城	15,551	380	2,329	4,088	857	7	204	1,463	3,028	1,894	1,071	190	40
6 岩手	9,706	0	0	156	2,411	2,562	2,076	2,402	99	0	0	0	0
7 長野	4,151	0	1	182	1,048	768	954	1,027	164	8	0	0	0
8 北海道	1,270	0	0	14	210	481	276	198	84	0	3	4	0
9 東京	765	5	125	293	20	0	0	27	213	77	3	0	0
10 静岡	526	49	46	40	0	0	0	0	5	51	110	120	107
11 青森	485	0	0	53	131	112	60	122	8	0	0	0	0
本県の市場シェア	5.0%	0.0%	0.0%	0.9%	14.4%	16.5%	13.5%	13.5%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

R2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	19,115,136	2,471,446	2,166,783	1,515,141	1,656,767	2,577,987	1,844,382	1,592,637	928,506	830,714	1,281,274	1,061,602	1,187,898
1 群馬	5,706,927	9,480	6,906	239,968	1,144,433	1,902,700	1,393,285	942,223	50,350	1,467	4,530	5,947	5,640
2 千葉	3,857,094	588,587	920,717	694,576	30,500	14,066	16,142	136,804	420,253	257,372	239,341	272,877	265,859
3 愛知	3,580,460	616,395	334,808	77,801	4,906	817	202	15,705	164,953	389,840	801,901	618,475	554,660
4 神奈川	2,525,719	1,166,709	605,185	51,352	123	13	46	12,500	60,396	61,455	120,302	115,921	331,716
5 茨城	1,228,196	60,298	261,606	343,764	54,304	945	19,595	120,401	181,868	97,869	77,131	8,944	1,472
6 岩手	1,196,418	0	0	16,856	257,341	425,310	258,384	232,164	6,364	0	0	0	0
7 長野	503,074	0	75	22,708	115,977	136,344	119,831	97,309	10,312	518	0	0	0
8 北海道	148,895	0	0	1,842	21,560	73,828	27,863	17,211	5,551	0	407	604	31
9 青森	61,092	0	0	4,957	13,272	21,065	7,298	13,919	579	0	2	0	0
10 東京	52,540	485	11,737	22,591	1,267	0	0	2,010	11,007	3,232	176	28	7
11 鹿児島	44,978	14,705	7,659	23	0	0	0	11	431	5,463	9,508	6,557	621
12 秋田	43,836	143	207	33,187	6,022	641	262	1,031	2,343	0	0	0	0
本県の市場シェア	6.3%	0.0%	0.0%	1.1%	15.5%	16.5%	14.0%	14.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



本県キャベツのR2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、9,706 t(市場シェア5位: 5.0%)、出荷額は、約12億円(市場シェア5位: 6.3%)であった。7～10月にかけて出荷が多くなっているが、最盛期の8月においては、全国シェアの約16.5%(重量ベース)を占めている。  
平均価格については、全国平均を24円/kg上回っている。

平均価格の推移(R2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	99	139	129	90	99	166	120	90	62	63	99	63	62
B 岩手	123	-	-	108	107	166	124	97	64	-	-	-	-
価格差	24	-	-	18	8	0	4	7	2	-	-	-	-
1 群馬	117	101	92	109	100	166	119	89	63	58	72	70	56
2 愛知	81	118	119	108	102	139	160	77	59	70	103	63	58
3 千葉	89	146	133	85	66	167	137	86	63	58	103	64	61
4 神奈川	112	150	142	78	59	266	498	79	64	63	100	60	72
5 茨城	79	159	112	84	63	127	96	82	60	52	72	47	37

(主要産地上位5産地の平均価格)

(6)りんご

R2年度産地別取扱量の推移

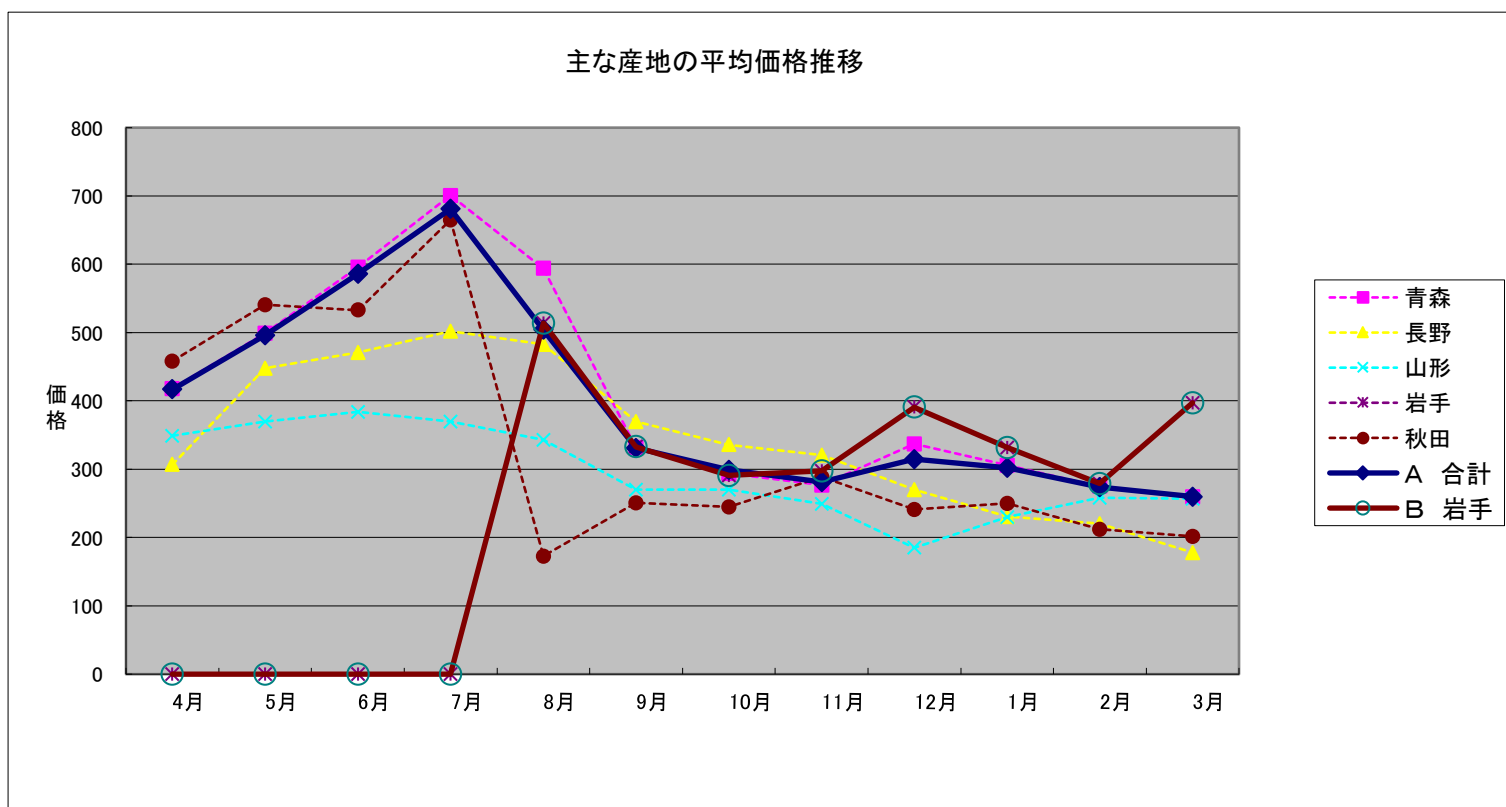
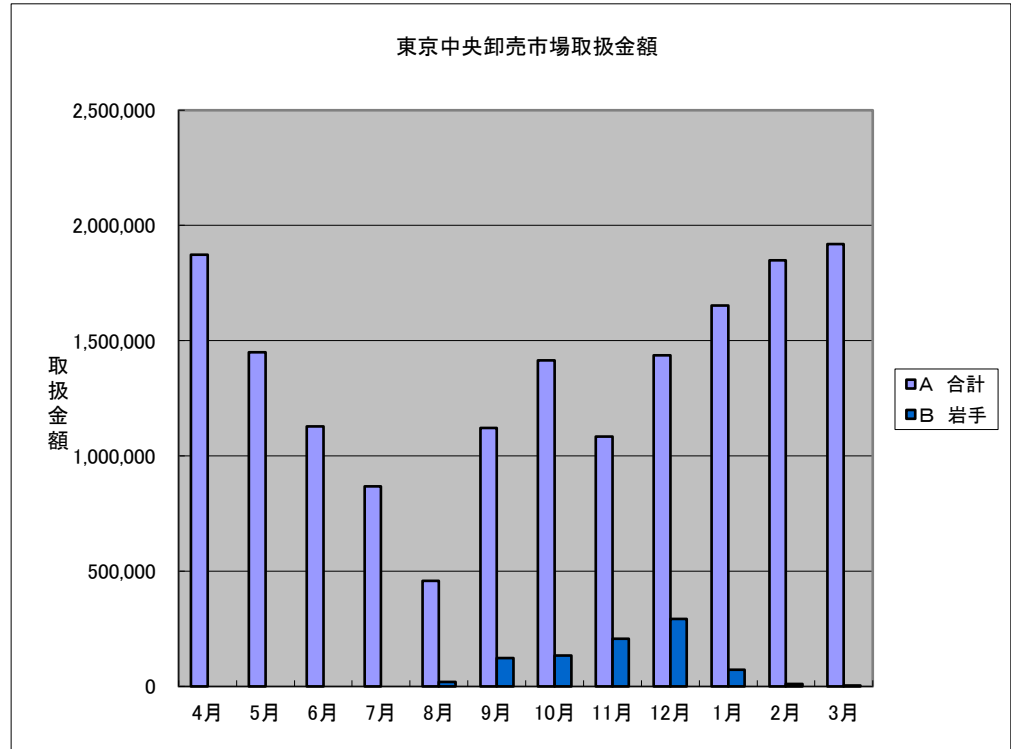
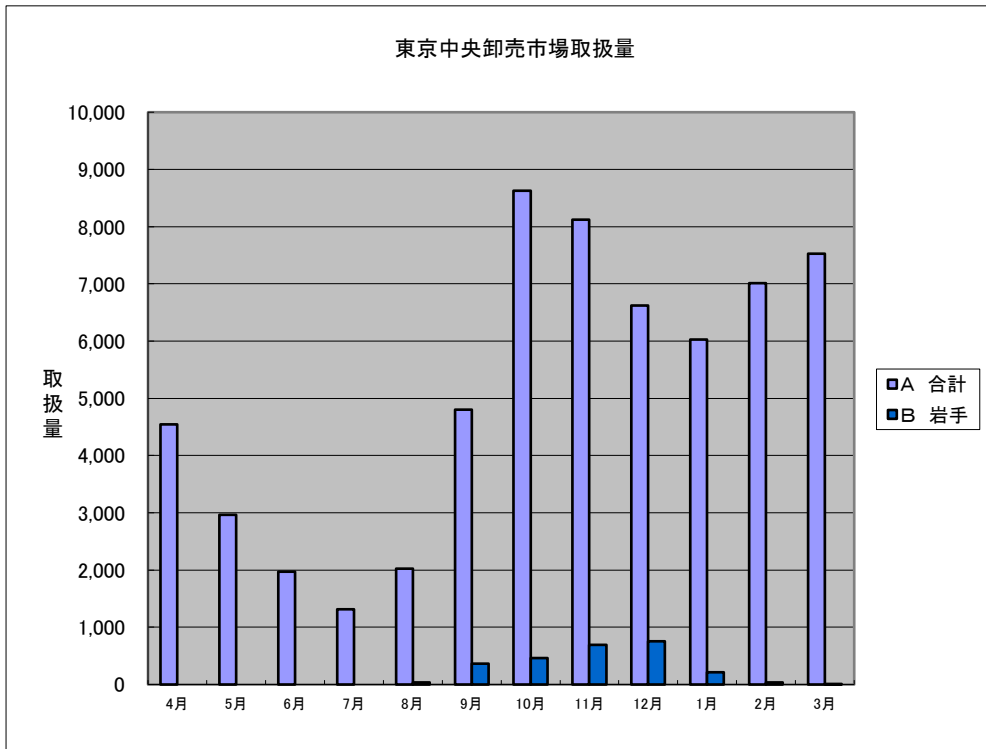
(単位:t)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	61,576	4,549	2,967	1,972	1,316	2,023	4,806	8,629	8,125	6,624	6,026	7,009	7,531
1 青森	47,145	4,479	2,902	1,893	1,238	771	3,375	4,814	3,917	4,265	5,411	6,715	7,366
2 長野	5,783	20	3	1	14	855	590	1,938	1,628	546	95	49	43
3 山形	4,593	37	19	18	14	268	429	1,176	1,525	808	128	89	83
4 岩手	2,573	0	0	0	0	36	367	461	693	751	215	40	9
5 秋田	704	1	0	0	1	1	12	112	116	170	163	103	24
6 福島	498	0	0	0	0	14	24	116	238	79	13	10	2
7 ニュージーランド	183	11	42	59	48	17	4	0	0	0	0	0	0
8 山梨	62	0	0	0	0	57	0	0	5	0	0	0	0
9 群馬	15	0	0	0	0	2	1	5	4	3	0	0	0
10 茨城	7	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0
11 千葉	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
本県の市場シェア	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	7.6%	5.3%	8.5%	11.3%	3.6%	0.6%	0.1%

R2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	20,671,754	1,895,116	1,472,515	1,154,901	895,859	1,019,004	1,590,145	2,577,404	2,284,538	2,085,013	1,820,178	1,919,422	1,957,660
1 青森	16,253,529	1,871,976	1,449,127	1,128,829	867,790	458,033	1,120,863	1,415,454	1,083,654	1,436,467	1,653,406	1,849,308	1,918,621
2 長野	2,008,310	6,223	1,468	366	7,242	413,561	217,970	650,510	522,844	147,594	22,070	10,853	7,609
3 山形	1,160,150	12,750	7,154	7,024	5,086	91,883	115,693	316,947	380,226	149,609	29,370	23,091	21,315
4 岩手	860,997	0	0	0	0	18,771	121,964	134,203	206,260	293,504	71,371	11,277	3,646
5 秋田	173,644	424	246	35	501	108	3,056	27,481	33,504	40,995	40,766	21,694	4,833
6 福島	116,911	0	0	0	135	4,612	6,491	28,755	55,076	15,628	2,891	2,677	646
7 ニュージーランド	59,748	3,519	14,461	18,647	14,897	5,779	2,238	119	6	17	41	24	0
8 山梨	27,199	0	0	0	0	25,513	0	0	1,687	0	0	0	0
9 群馬	4,641	0	0	0	0	744	554	1,701	1,091	552	0	0	0
10 茨城	2,444	0	0	0	0	0	0	2,234	0	0	0	210	0
11 千葉	1,235	97	0	0	0	0	173	0	0	0	0	0	965
12 北海道	709	0	0	0	0	0	216	0	189	278	0	0	26
本県の市場シェア	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	10.9%	9.5%	19.0%	20.4%	4.3%	0.6%	0.2%



本県りんごのR2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、2,573t(市場シェア4位:4.2%)、出荷額は、約8億6千万円(市場シェア4位:5.3%)であった。9~12月にかけて出荷が多くなっており、12月においては、全国シェアの11.3%(重量ベース)を占めている。平均価格については、ほぼ全国平均並みである。

平均価格の推移(R2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	336	417	496	586	681	504	331	299	281	315	302	274	260
B 岩手	335	-	-	-	-	514	333	291	298	391	332	279	397
価格差	△ 1	-	-	-	-	10	2	△ 8	17	76	30	5	137
1 青森	345	418	499	596	701	594	332	294	277	337	306	275	260
2 長野	347	307	448	471	502	483	370	336	321	270	231	220	178
3 山形	253	349	370	384	370	343	270	270	249	185	230	258	257
4 岩手	335	-	-	-	-	514	333	291	298	391	332	279	397
5 秋田	247	458	541	533	665	173	251	245	289	241	250	212	202

(主要産地上位5産地の平均価格)

(7)りんどう

令和2年度産地別取扱量の推移

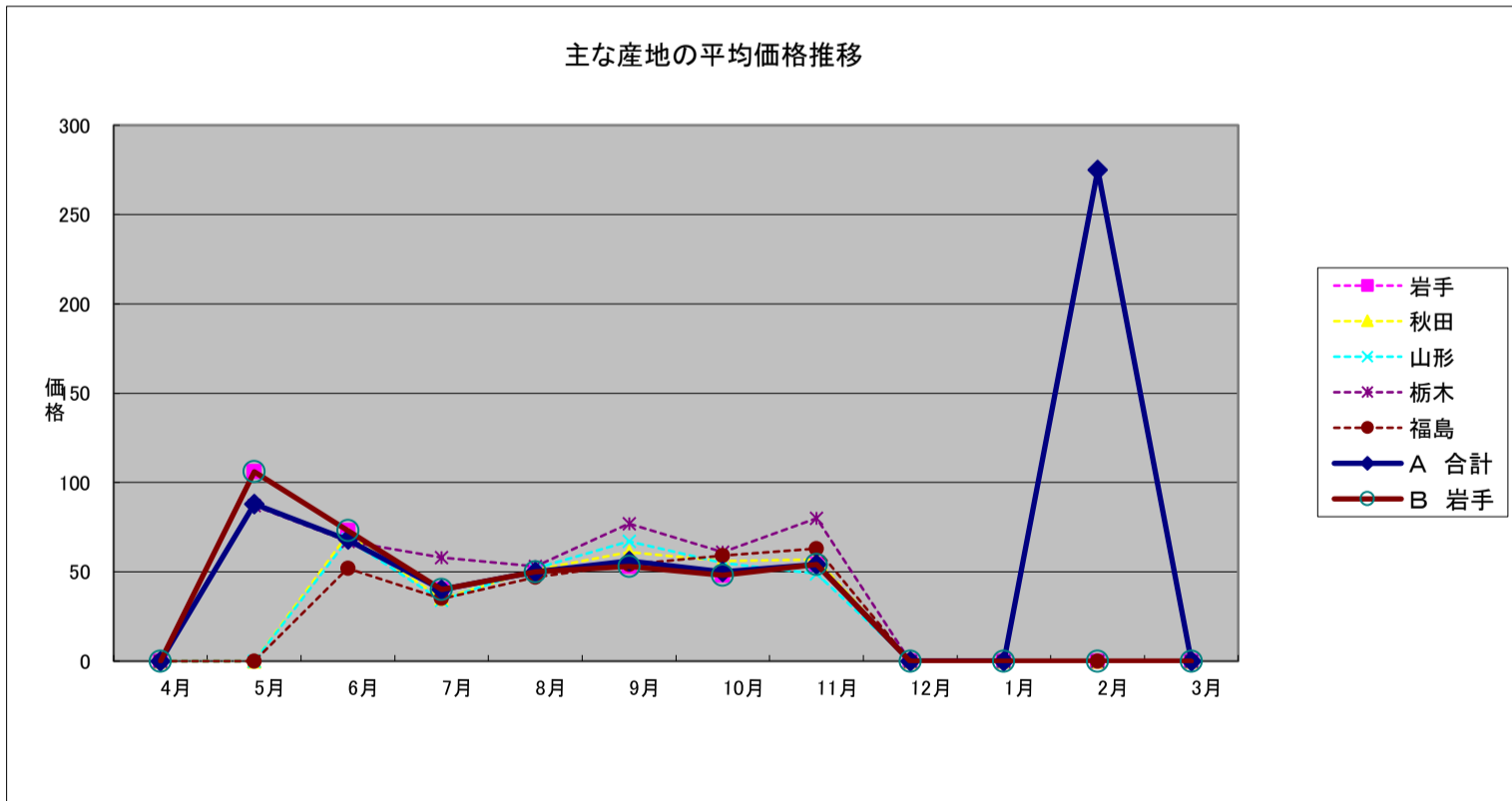
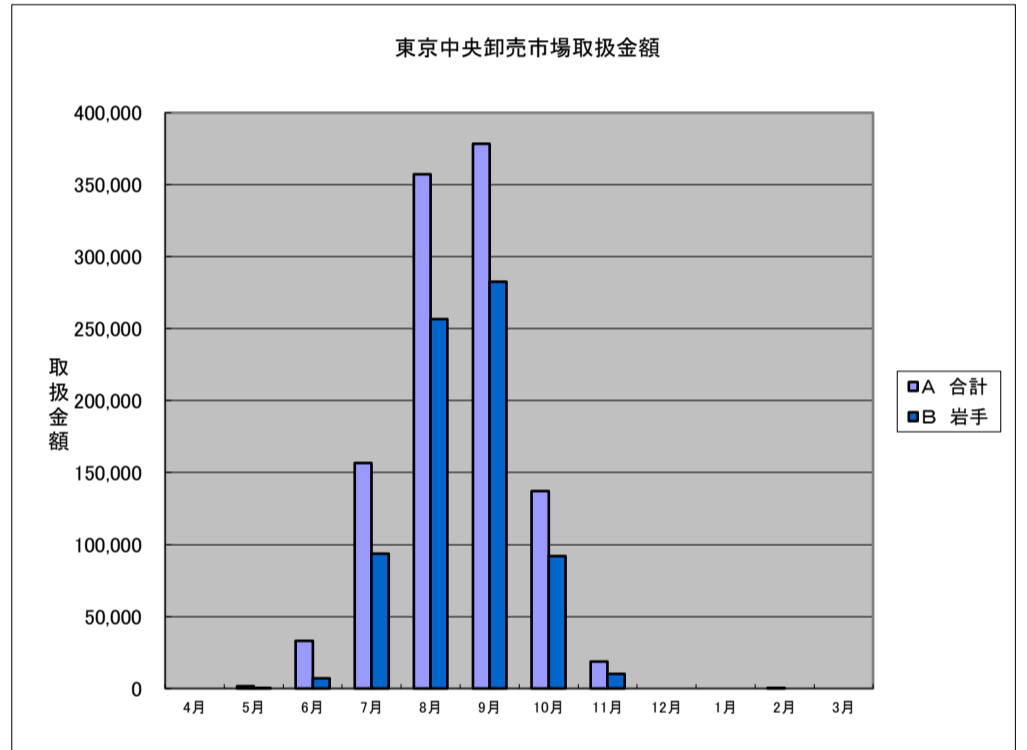
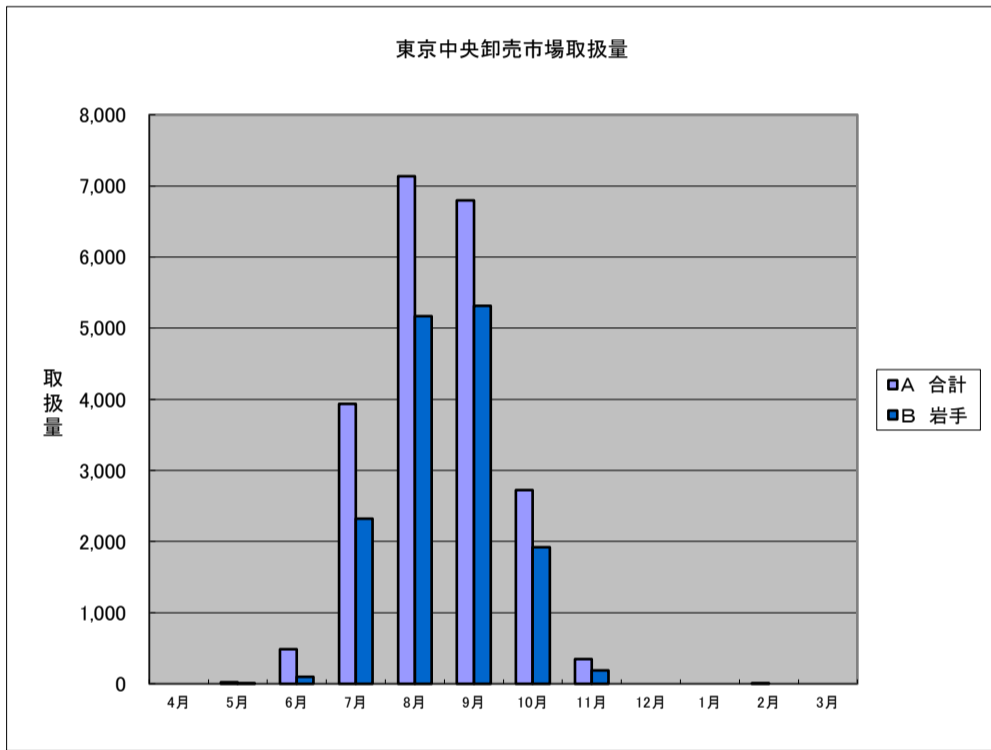
(単位:千本)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	21,448	0	20	485	3,932	7,139	6,800	2,724	349	0	0	0	0
1 岩手	15,016	0	1	99	2,324	5,170	5,311	1,922	188	0	0	0	0
2 秋田	2,575	0	0	31	805	843	590	262	45	0	0	0	0
3 山形	2,229	0	0	2	363	721	616	442	84	0	0	0	0
4 栃木	599	0	18	294	237	14	11	22	2	0	0	0	0
5 福島	452	0	0	21	148	157	99	22	6	0	0	0	0
6 東京	207	0	0	0	12	131	56	7	2	0	0	0	0
7 長野	137	0	0	15	29	15	38	30	11	0	0	0	0
8 青森	97	0	0	0	0	54	43	0	0	0	0	0	0
9 群馬	84	0	0	6	8	23	22	14	11	0	0	0	0
10 千葉	22	0	0	0	4	5	8	4	1	0	0	0	0
本県の市場シェア	70.0%	-	5.5%	20.3%	59.1%	72.4%	78.1%	70.6%	53.7%	#DIV/0!	-	-	-

令和2年度産地別取扱量の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	1,083,348	0	1,711	33,200	156,657	357,191	378,372	137,321	18,868	0	0	28	0
1 岩手	742,391	0	114	7,171	93,744	256,609	282,646	92,033	10,074	0	0	0	0
2 秋田	127,191	0	0	2,166	28,537	42,978	36,190	14,767	2,553	0	0	0	0
3 山形	119,710	0	0	152	12,304	37,175	41,426	24,491	4,163	0	0	0	0
4 栃木	38,349	0	1,596	19,788	13,862	760	865	1,346	133	0	0	0	0
5 福島	20,653	0	0	1,101	5,162	7,434	5,309	1,271	377	0	0	0	0
6 東京	12,862	0	1	41	525	7,799	4,122	313	61	0	0	0	0
7 長野	9,926	0	0	1,171	1,800	1,113	3,274	1,915	653	0	0	0	0
8 群馬	6,395	0	0	644	550	1,408	1,998	1,001	793	0	0	0	0
9 青森	3,028	0	0	0	0	1,353	1,674	0	0	0	0	0	0
10 千葉	1,141	0	0	0	144	278	485	177	58	0	0	0	0
本県の市場シェア	68.5%	-	6.7%	21.6%	59.8%	71.8%	74.7%	67.0%	53.4%	-	-	-	-



本県のりんどうの令和2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、15,016千本(市場シェア1位:70.7%)、出荷額は、約7億4千万円(市場シェア1位:68.5%)であった。5~11月にかけて出荷されているが、最盛期の9月においては、全国シェアの実に78.1%(本数ベース)を占めている。  
平均価格については、全国平均並となっている。

平均価格の推移(令和2年度)

(単位:円/本)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	51	-	88	68	40	50	56	50	54	-	-	275	-
B 岩手	49	-	106	73	40	50	53	48	54	-	-	-	-
価格差	△2	-	-	5	0	0	△3	△2	0	-	-	-	-
1 岩手	49	-	106	73	40	50	53	48	54	-	-	-	-
2 秋田	49	-	-	71	35	51	61	56	57	-	-	-	-
3 山形	54	-	-	68	34	52	67	55	49	-	-	-	-
4 栃木	64	-	87	67	58	53	77	61	80	-	-	-	-
5 福島	46	-	-	52	35	47	54	59	63	-	-	-	-

(主要産地上位5産地の平均価格)



(8)小 菊

R2年度産地別取扱量の推移

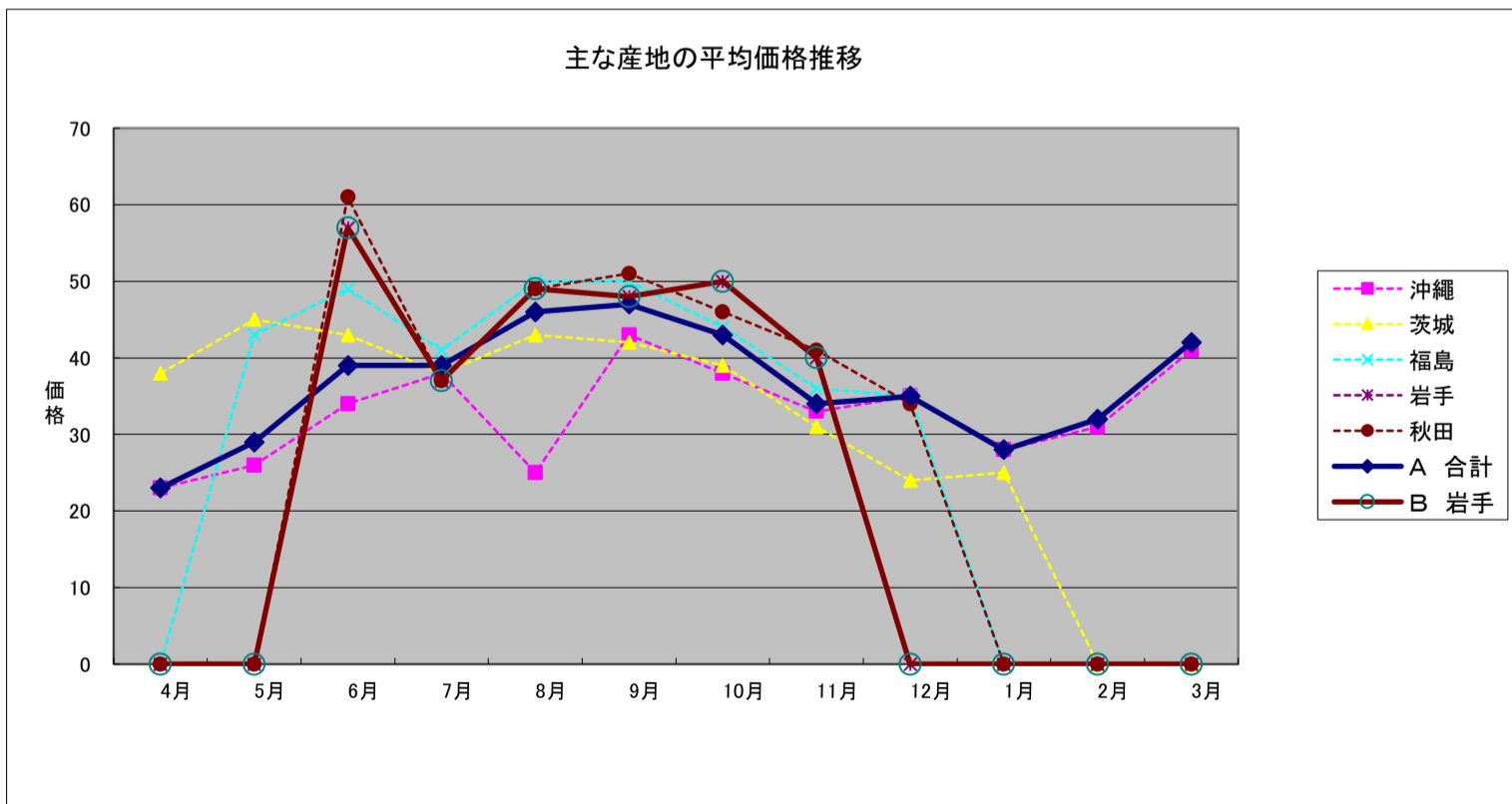
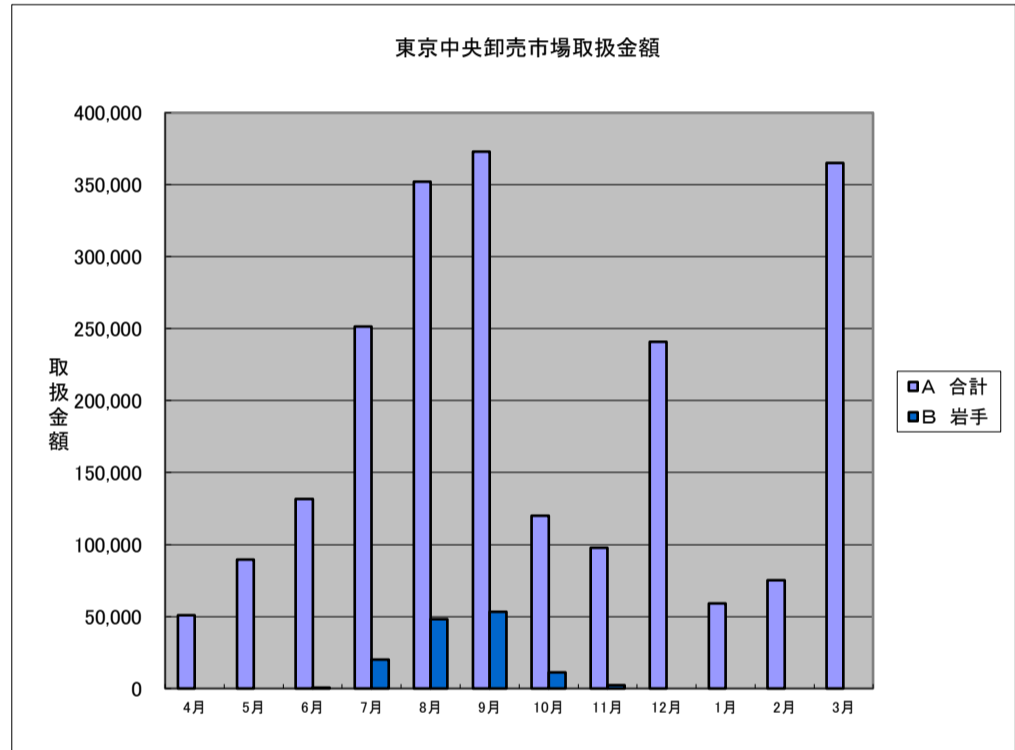
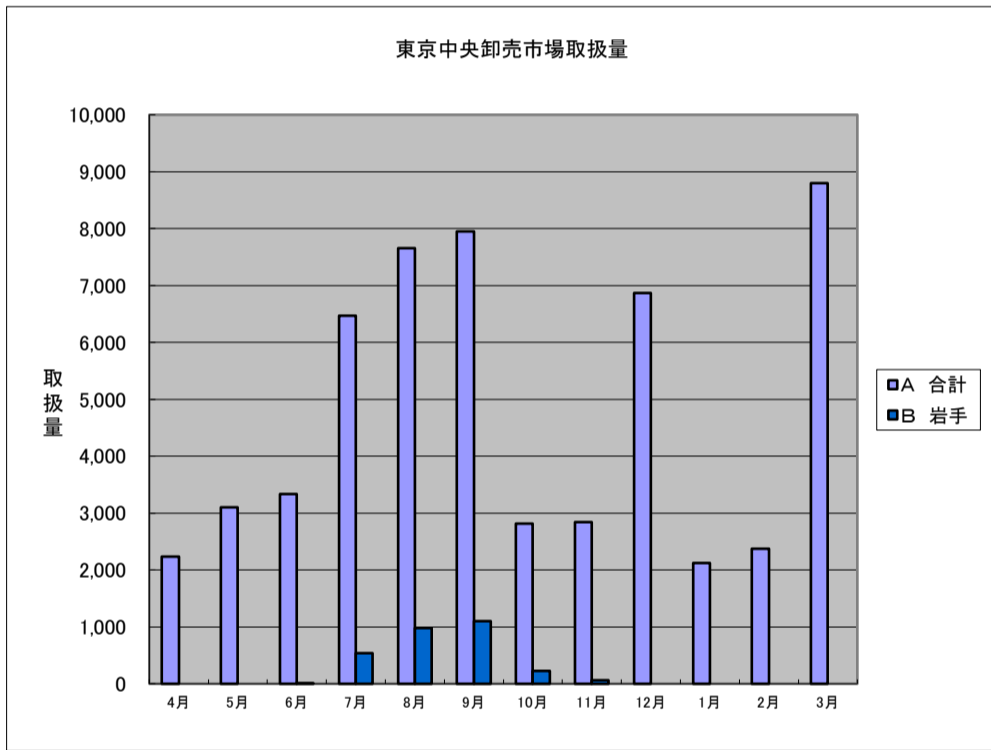
(単位:千本)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	56,551	2,231	3,103	3,331	6,467	7,657	7,950	2,812	2,842	6,864	2,120	2,376	8,799
1 沖縄	26,818	2,175	2,415	993	136	151	72	42	1,477	6,228	2,078	2,338	8,714
2 茨城	10,896	2	114	1,234	2,625	2,700	2,638	1,139	393	50	0	0	0
3 福島	5,174	0	8	75	1,077	1,312	2,051	430	218	4	0	0	0
4 岩手	2,905	0	0	8	535	979	1,102	223	58	0	0	0	0
5 秋田	2,795	0	0	1	471	1,171	765	335	48	3	0	0	0
6 奈良	1,747	0	93	264	503	350	277	159	97	4	0	0	0
7 山形	1,174	0	3	9	122	236	374	44	160	217	8	0	0
8 静岡	1,098	29	141	154	17	12	58	197	229	235	8	16	1
9 埼玉	934	2	201	342	248	31	35	32	38	5	0	0	0
10 群馬	654	0	3	22	225	155	203	33	8	5	0	0	0
本県の市場シェア	5.1%	0.0%	0.0%	0.2%	8.3%	12.8%	13.9%	7.9%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

R2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	2,206,047	50,729	89,404	131,545	251,426	351,966	372,979	119,890	97,641	240,882	59,106	75,304	365,175
1 沖縄	922,713	49,430	63,445	33,672	5,153	3,824	3,057	1,608	49,350	220,194	57,930	73,647	361,403
2 茨城	443,153	82	5,166	53,149	100,086	115,511	112,021	43,889	12,032	1,206	12	0	0
3 福島	244,130	0	329	3,671	43,986	65,635	103,531	19,101	7,732	144	0	0	0
4 岩手	135,501	0	0	440	19,967	48,192	53,344	11,258	2,299	0	0	0	0
5 秋田	130,587	0	0	73	17,272	56,843	38,749	15,574	1,960	116	0	0	0
6 奈良	69,962	0	3,544	9,046	20,144	15,178	12,242	6,556	3,144	107	0	0	0
7 山形	51,839	0	177	441	4,119	11,280	17,831	1,810	7,046	8,772	361	0	0
8 静岡	44,966	713	5,703	7,537	755	657	2,983	10,141	9,067	6,392	159	788	71
9 埼玉	33,083	47	6,721	12,569	9,174	1,080	1,593	817	1,019	57	0	7	0
10 群馬	26,503	0	153	988	8,457	6,727	8,531	1,326	192	130	0	0	0
本県の市場シェア	6.1%	0.0%	0.0%	0.3%	7.9%	13.7%	14.3%	9.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



小菊のR2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、2,905千本(市場シェア4位:5.1%)、出荷額は、約1億4千万円(市場シェア4位:6.1%)であった。6~12月にかけて出荷されているが、最盛期の9月においては、全国シェアの13.9%(本数ベース)を占めている。平均価格については、全国平均よりやや上回っている。

平均価格の推移(R2年度)

(単位:円/本)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	39	23	29	39	39	46	47	43	34	35	28	32	42
B 岩手	47	-	-	57	37	49	48	50	40	-	-	-	-
価格差	8	-	-	18	△2	3	1	7	6	-	-	-	-
1 沖縄	34	23	26	34	38	25	43	38	33	35	28	31	41
2 茨城	41	38	45	43	38	43	42	39	31	24	25	-	-
3 福島	47	-	43	49	41	50	50	44	36	35	-	-	-
4 岩手	47	-	-	57	37	49	48	50	40	-	-	-	-
5 秋田	47	-	-	61	37	49	51	46	41	34	-	-	-

(主要産地上位5産地の平均価格)

(9)和牛・生体枝肉

R2年度産地別取扱量の推移

(単位:t)

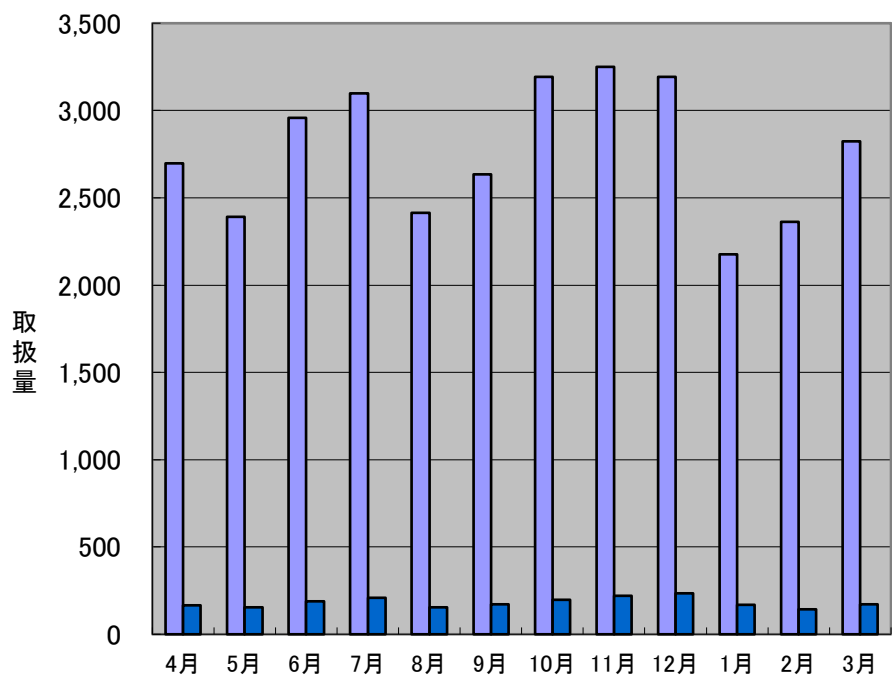
産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	33,190	2,696	2,391	2,958	3,098	2,414	2,633	3,193	3,251	3,193	2,177	2,362	2,825
1 北海道	4,110	395	329	399	332	320	264	398	402	355	267	304	343
2 栃木	3,706	299	268	288	360	248	336	429	319	379	244	270	266
3 宮城	3,319	293	237	331	290	220	275	270	337	337	227	239	263
4 茨城	2,962	229	233	228	285	223	228	296	229	319	180	212	299
5 福島	2,433	241	173	226	258	172	194	223	202	208	174	163	199
6 岩手	2,186	166	156	189	209	153	173	198	221	235	168	143	173
7 群馬	2,857	218	188	228	296	200	231	303	274	264	185	205	264
8 埼玉	1,540	122	97	107	133	103	125	131	160	136	119	135	171
9 鹿児島	1,576	117	121	139	154	130	167	124	135	141	116	101	132
10 三重	1,873	128	108	192	177	153	138	161	247	189	91	119	169
本県の市場シェア	6.6%	6.1%	6.5%	6.4%	6.8%	6.3%	6.6%	6.2%	6.8%	7.4%	7.7%	6.1%	6.1%

R2年度産地別取扱金額の推移

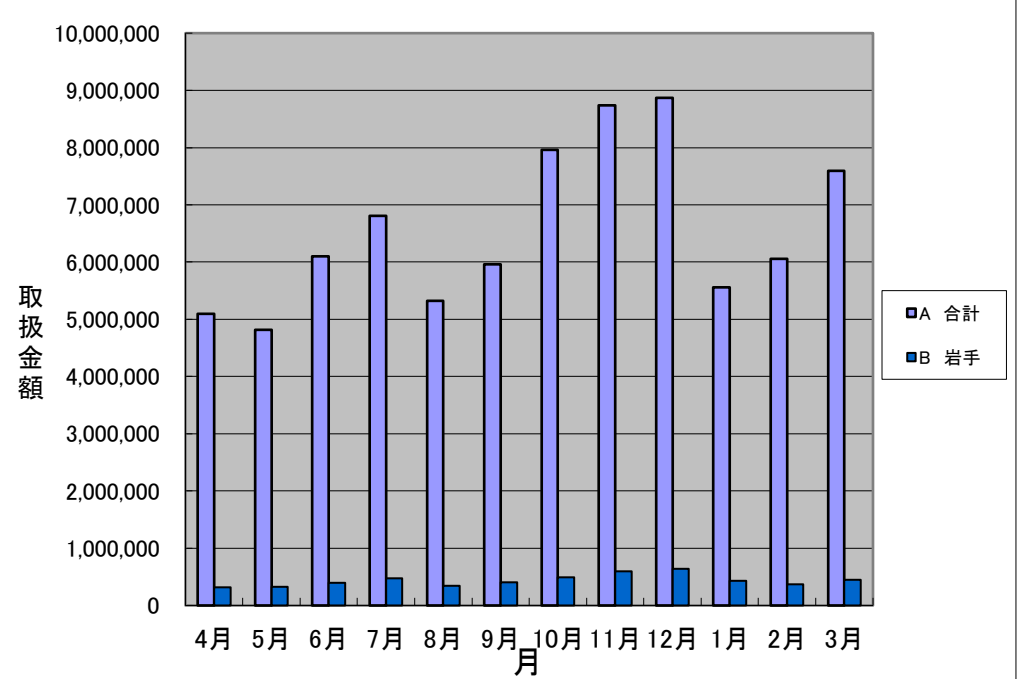
(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	78,891,580	5,096,104	4,816,749	6,101,123	6,808,572	5,324,419	5,963,001	7,961,729	8,739,049	8,872,426	5,558,099	6,052,329	7,597,981
1 北海道	9,264,852	695,001	619,982	769,180	692,326	687,795	572,148	944,564	1,022,551	954,871	655,320	755,719	895,397
2 栃木	8,537,778	539,471	516,216	569,435	773,230	525,985	732,949	1,039,414	815,971	1,018,561	623,773	675,043	707,730
3 宮城	8,116,496	583,474	497,681	721,203	674,930	500,316	647,608	702,858	910,867	949,600	596,256	619,121	712,583
4 茨城	6,903,136	423,111	460,669	455,038	617,788	475,832	504,499	727,281	590,715	862,212	450,101	537,841	798,050
5 群馬	6,646,912	398,995	375,773	459,913	634,392	431,411	505,249	728,847	716,469	714,018	465,899	514,097	701,848
6 三重	5,549,031	337,521	287,903	505,620	469,496	407,272	382,187	501,819	843,833	656,739	272,764	360,748	523,130
7 岩手	5,245,539	314,276	323,792	394,366	473,839	347,695	401,231	491,683	600,198	644,477	434,369	368,601	451,013
8 福島	5,067,507	383,802	293,205	392,480	498,729	322,447	385,578	501,727	487,070	517,426	403,832	382,275	498,937
9 鹿児島	3,875,876	243,231	258,861	298,422	352,145	296,482	388,997	315,341	368,233	405,875	311,052	274,009	363,229
10 埼玉	3,425,764	203,165	176,282	191,136	262,807	207,580	257,539	308,516	405,019	352,118	291,035	329,922	440,645
本県の市場シェア	6.6%	6.2%	6.7%	6.5%	7.0%	6.5%	6.7%	6.2%	6.9%	7.3%	7.8%	6.1%	5.9%

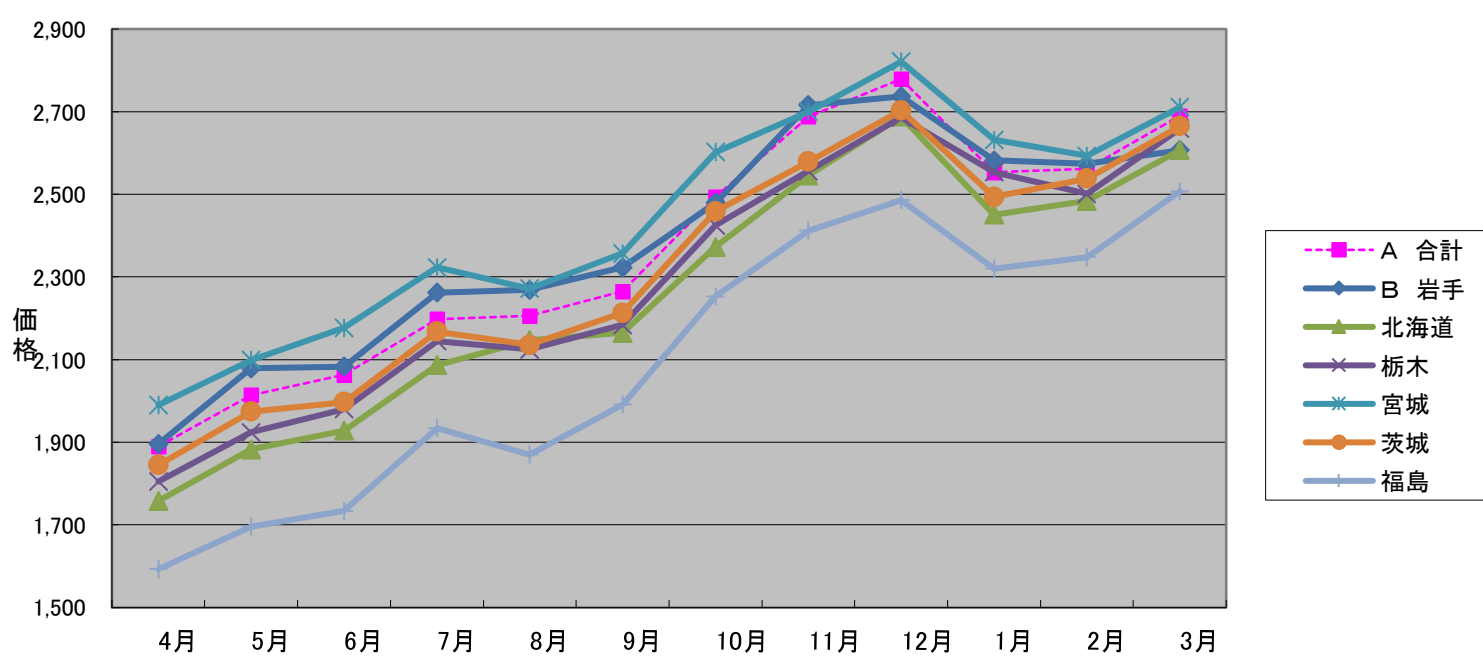
東京都中央卸売市場取扱量



東京都中央卸売市場取扱金額



主な産地の平均価格推移(上位5県)



本県産和牛のR2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、2,186t(市場シェア6位:6.6%)、出荷額は、約52億5千万円(市場シェア7位:6.6%)であった。年間を通じて出荷されている。

平均価格については、全国平均を上回っており、これは、和牛の主要産地として質・量ともに市場から評価されていることによる。

平均価格の推移(R2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	2,377	1,890	2,014	2,063	2,198	2,206	2,265	2,494	2,688	2,779	2,553	2,562	2,690
B 岩手	2,400	1,896	2,079	2,083	2,262	2,269	2,323	2,480	2,716	2,737	2,582	2,574	2,607
価格差	23	6	65	20	64	63	58	△ 14	28	△ 42	29	12	△ 83
1 北海道	2,254	1,758	1,883	1,928	2,087	2,147	2,165	2,373	2,546	2,688	2,451	2,484	2,607
2 栃木	2,304	1,805	1,924	1,980	2,145	2,125	2,184	2,425	2,557	2,686	2,554	2,501	2,659
3 宮城	2,445	1,990	2,099	2,177	2,323	2,272	2,357	2,602	2,700	2,821	2,632	2,593	2,711
4 茨城	2,331	1,845	1,974	1,997	2,168	2,136	2,213	2,459	2,579	2,703	2,494	2,538	2,665
5 福島	2,083	1,593	1,696	1,734	1,934	1,870	1,991	2,253	2,412	2,486	2,320	2,348	2,507

(主要産地上位5産地の平均価格)

(10)かき

令和2年度産地別取扱量の推移

(単位:t)

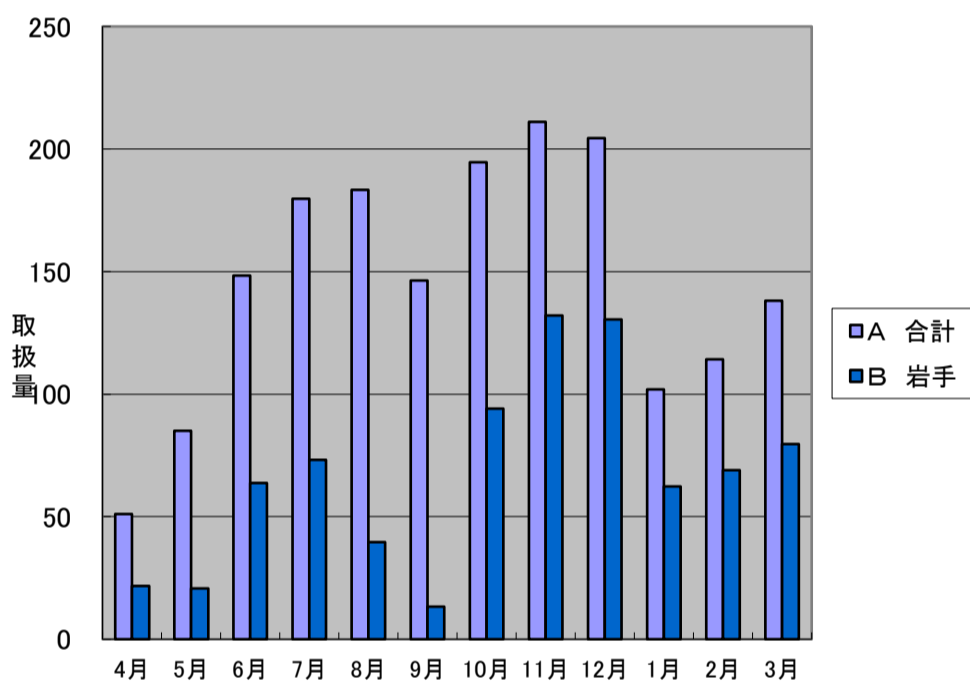
産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	1,758	51	85	148	180	183	146	195	211	205	102	114	138
1 岩手	800	22	21	64	73	40	13	94	132	130	62	69	80
2 宮城	296	9	16	21	35	47	38	22	29	37	15	15	11
3 北海道	257	1	7	5	9	24	62	69	31	24	10	7	8
4 兵庫	97	9	13	5	4	2	1	3	15	7	9	12	18
5 徳島	71	0	13	16	9	24	7	0	0	0	0	0	0
6 長崎	53	1	1	10	18	14	5	1	0	0	0	1	3
7 東京	43	2	2	5	2	2	4	2	2	3	3	7	10
8 三重	31	1	5	9	5	4	0	0	1	1	1	1	2
9 千葉	20	0	0	3	4	8	3	0	0	0	0	0	0
10 京都	20	0	2	7	6	4	1	0	0	0	0	0	0
本県の市場シェア	45.5%	42.8%	24.3%	43.0%	40.7%	21.6%	9.0%	48.3%	62.6%	63.8%	61.2%	60.5%	57.6%

令和2年度産地別取扱金額の推移

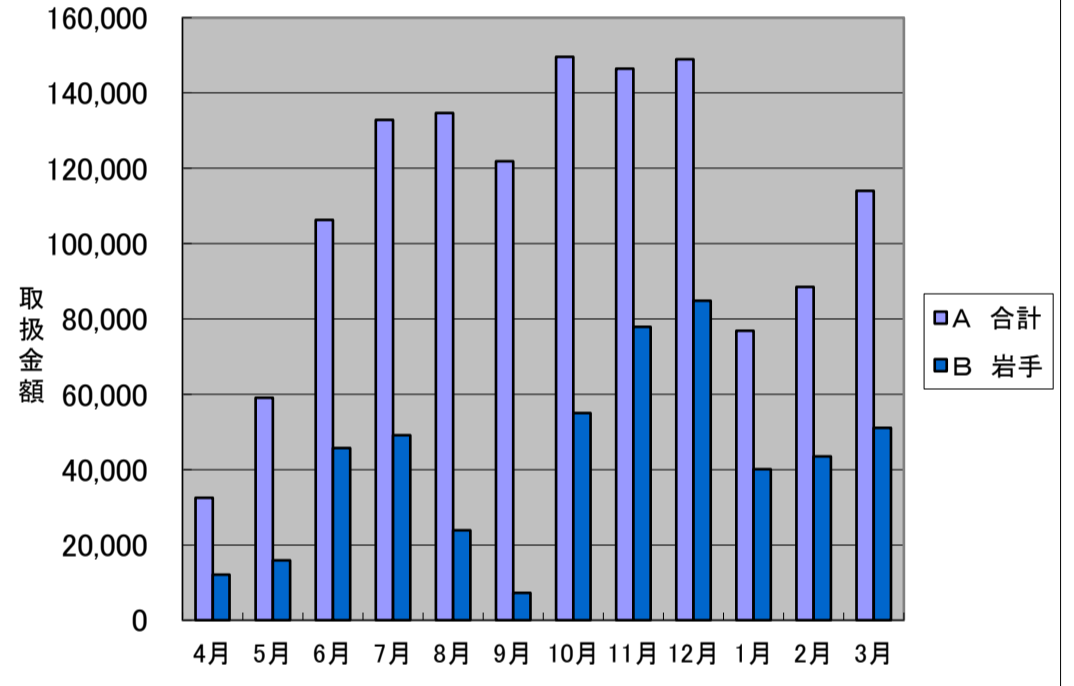
(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	1,311,714	32,550	59,012	106,297	132,825	134,668	121,880	149,615	146,512	148,938	76,848	88,552	114,017
1 岩手	506,434	12,121	15,888	45,684	49,132	23,924	7,280	55,025	77,849	84,784	40,080	43,541	51,126
2 北海道	283,542	1,760	8,628	6,171	9,157	27,704	64,596	70,165	35,960	27,902	12,807	9,496	9,197
3 宮城	172,438	5,406	8,278	12,169	19,377	24,605	20,084	14,056	18,813	23,032	8,926	9,947	7,744
4 兵庫	73,097	5,034	7,631	4,304	5,411	2,877	1,354	3,976	11,394	5,519	6,611	7,771	11,214
5 東京	63,023	2,295	692	2,154	3,738	2,253	3,307	1,533	1,393	2,844	5,845	13,512	23,457
6 徳島	55,349	0	8,438	11,331	7,562	18,884	7,653	474	128	438	165	140	136
7 長崎	54,646	461	1,392	9,847	17,071	13,673	6,501	1,477	2	0	0	745	3,476
8 三重	25,055	796	2,962	5,451	4,811	3,712	289	0	584	1,825	1,047	1,286	2,292
9 千葉	11,579	0	56	1,360	2,291	4,718	1,949	91	82	419	134	178	302
10 茨城	11,036	0	0	894	4,046	3,689	1,895	409	95	8	0	0	0
本県の市場シェア	38.6%	37.2%	26.9%	43.0%	37.0%	17.8%	6.0%	36.8%	53.1%	56.9%	52.2%	49.2%	44.8%

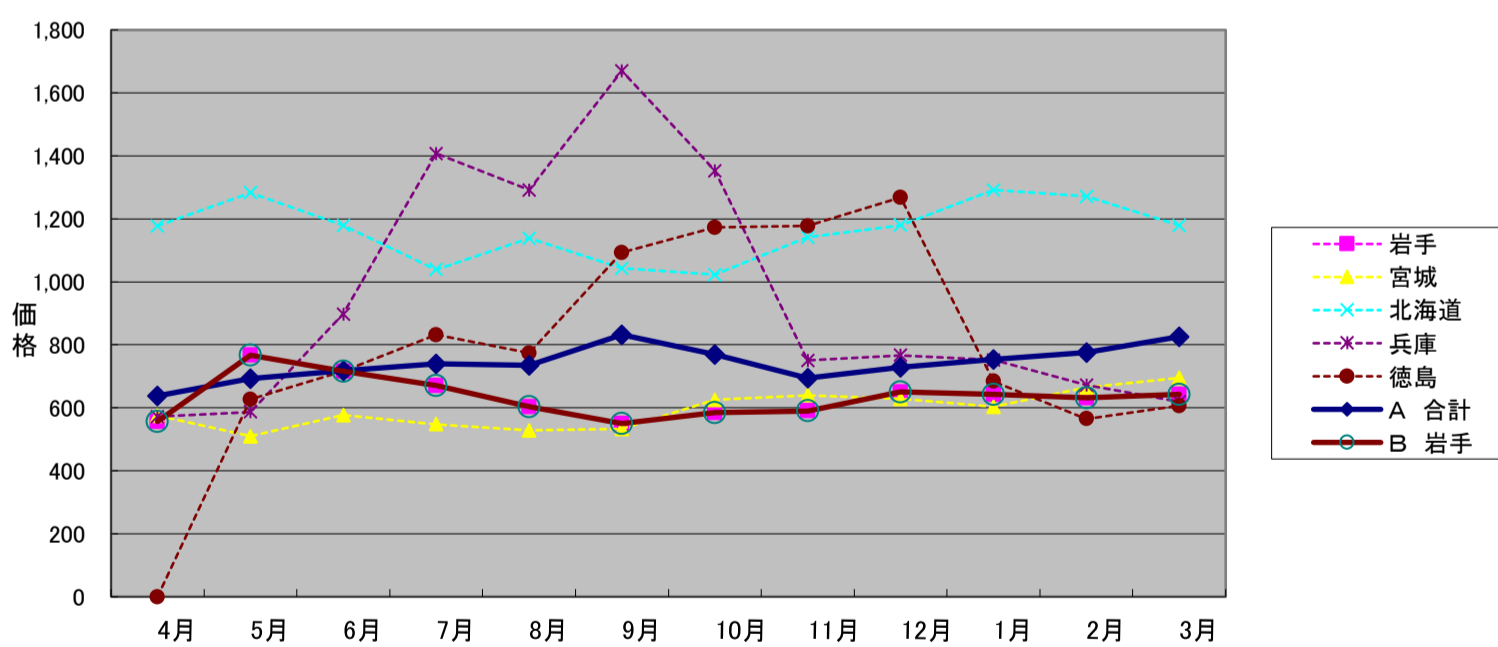
東京都中央卸売市場取扱量



東京都中央卸売市場取扱金額



主な産地の平均価格推移(上位5県)



かきの令和2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、800t(市場シェア1位:45.5%)、出荷額は約5億円(市場シェア1位:38.6%)であった。

価格については、全国平均を113円/kg下回っているが、これは年間を通して価格が全体よりも大きく下回っていることによる。

平均価格の推移(令和2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	746	638	693	717	739	735	832	769	694	728	754	776	825
B 岩手	633	556	767	716	671	603	550	585	590	650	642	631	642
価格差	△ 113	△ 82	74	△ 1	△ 68	△ 132	△ 282	△ 184	△ 104	△ 78	△ 112	△ 145	△ 183
1 岩手	633	556	767	716	671	603	550	585	590	650	642	631	642
2 宮城	583	575	510	577	548	528	533	625	640	628	603	664	695
3 北海道	1,101	1,177	1,283	1,179	1,039	1,138	1,043	1,023	1,142	1,180	1,292	1,271	1,179
4 兵庫	752	572	587	897	1,407	1,292	1,670	1,353	751	767	752	672	619
5 徳島	776	-	627	716	832	774	1,093	1,173	1,177	1,268	684	565	607

(主要産地上位5産地の平均価格)

(11)しろさけ

令和2年度産地別取扱量の推移

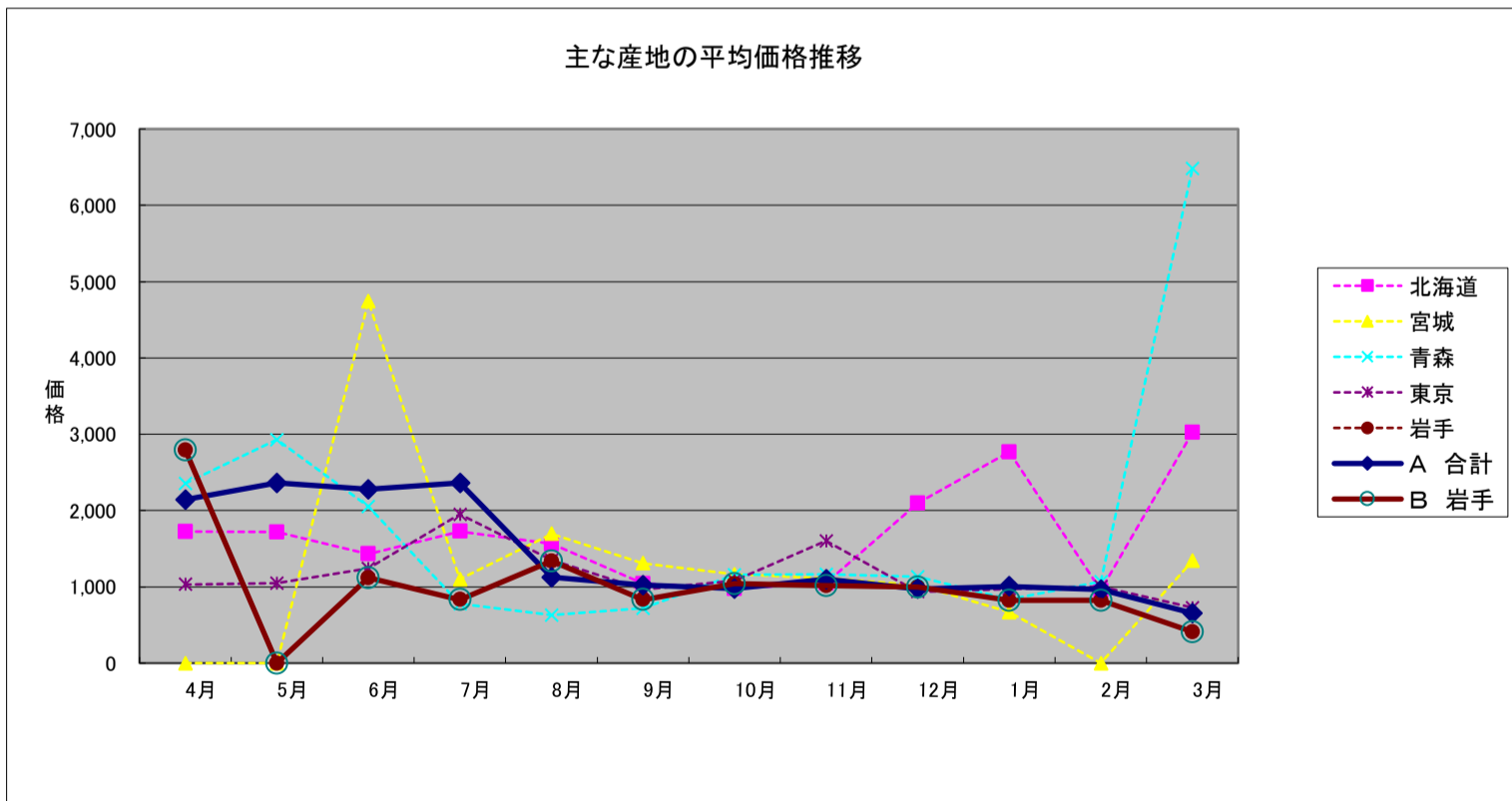
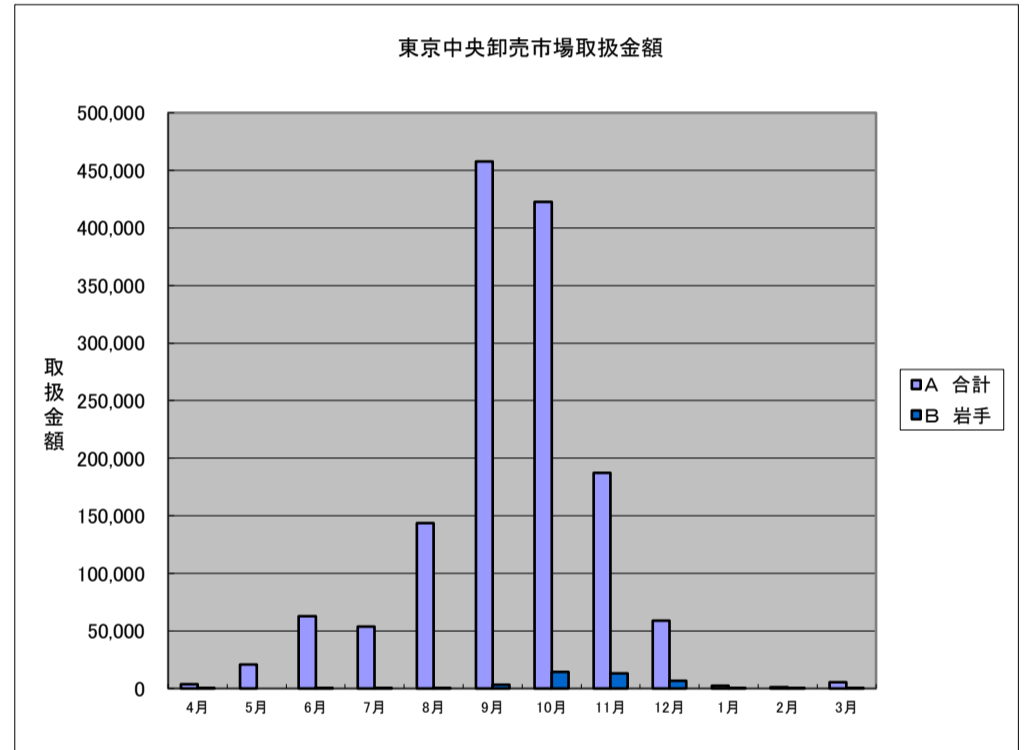
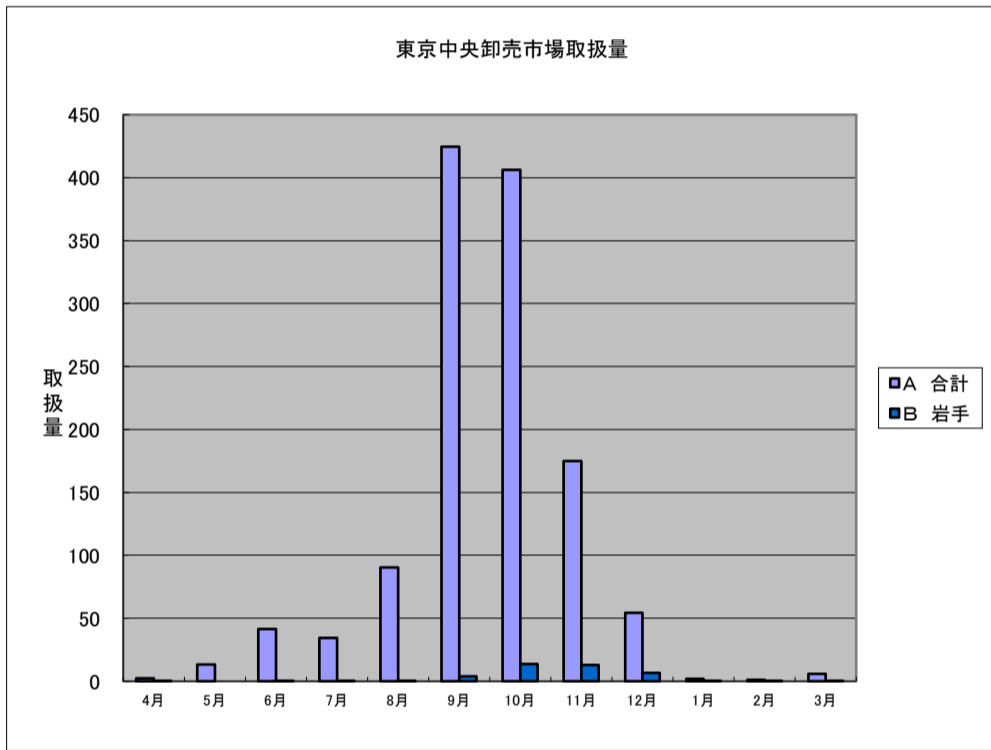
(単位:t)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	1,251	2	13	42	35	90	425	406	175	54	2	1	6
1 北海道	759	1	10	38	22	62	334	244	44	2	0	0	0
2 宮城	301	0	0	1	10	25	65	116	74	9	0	0	0
3 青森	73	0	0	0	0	0	0	18	28	27	0	0	0
4 東京	52	1	2	2	2	2	21	7	1	7	1	1	5
5 岩手	38	0	0	0	0	0	4	14	13	7	0	0	0
6 新潟	23	0	0	0	0	0	0	7	14	3	0	0	0
7 茨城	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 石川	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9 千葉	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本県の市場シェア	3.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.9%	3.4%	7.4%	12.2%	18.4%	0.4%	0.1%

令和2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	1,419,645	3,662	20,702	62,794	53,853	143,831	457,603	422,661	187,088	58,992	2,213	952	5,293
1 北海道	848,146	1,334	17,394	54,469	38,503	97,256	348,319	238,040	46,402	4,518	354	422	1,133
2 宮城	371,332	0	0	4,935	11,104	43,161	85,476	135,340	82,136	9,066	13	0	101
3 青森	84,424	589	176	21	2	2	182	20,681	32,428	30,249	58	11	26
4 東京	53,232	922	2,321	2,457	3,433	2,903	19,774	7,351	1,746	6,358	1,452	515	4,000
5 岩手	37,749	39	0	2	43	115	3,152	14,398	13,095	6,582	318	3	2
6 新潟	17,421	0	0	6	0	0	0	5,719	9,817	1,879	0	0	0
7 茨城	3,528	478	461	537	428	282	431	388	389	134	0	0	0
8 静岡	1,210	299	180	299	329	102	0	0	0	0	0	0	0
9 石川	865	0	0	0	0	0	0	207	640	18	0	0	0
10 山形	697	0	0	0	0	0	8	248	324	116	0	0	0
本県の市場シェア	2.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.7%	3.4%	7.0%	11.2%	14.4%	0.3%	0.0%



しろさけの令和2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、38t(市場シェア3位3.0%)、出荷額は、約3.8千万円(市場シェア3位2.7%)であった。9～12月にかけて出荷が多くなっており、12月の市場シェア率(重量ベース)は12.2%である。価格については、全国平均を51円/kg下回っている。

平均価格の推移(令和2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	1,053	2,143	2,361	2,277	2,362	1,124	1,020	978	1,098	974	1,006	965	655
B 岩手	1,002	2,794	-	1,118	832	1,337	832	1,042	1,014	994	820	821	413
価格差	△ 51	651	#VALUE!	-	△ 1,530	213	△ 188	64	△ 84	20	△ 186	-	-
1 北海道	1117	1723	1716	1431	1727	1561	1042	976	1048	2096	2767	954	3023
2 宮城	1235	-	-	4741	1102	1695	1309	1164	1115	1021	666	-	1341
3 青森	1155	2356	2929	2052	778	630	721	1157	1164	1133	834	1069	6480
4 東京	1029	1032	1050	1241	1951	1353	962	1078	1603	935	974	1004	728
5 岩手	1002	2794	-	1118	832	1337	832	1042	1014	994	820	821	413

(主要産地上位5産地の平均価格)

(12) 生しいたけ

令和2年度産地別取扱量の推移

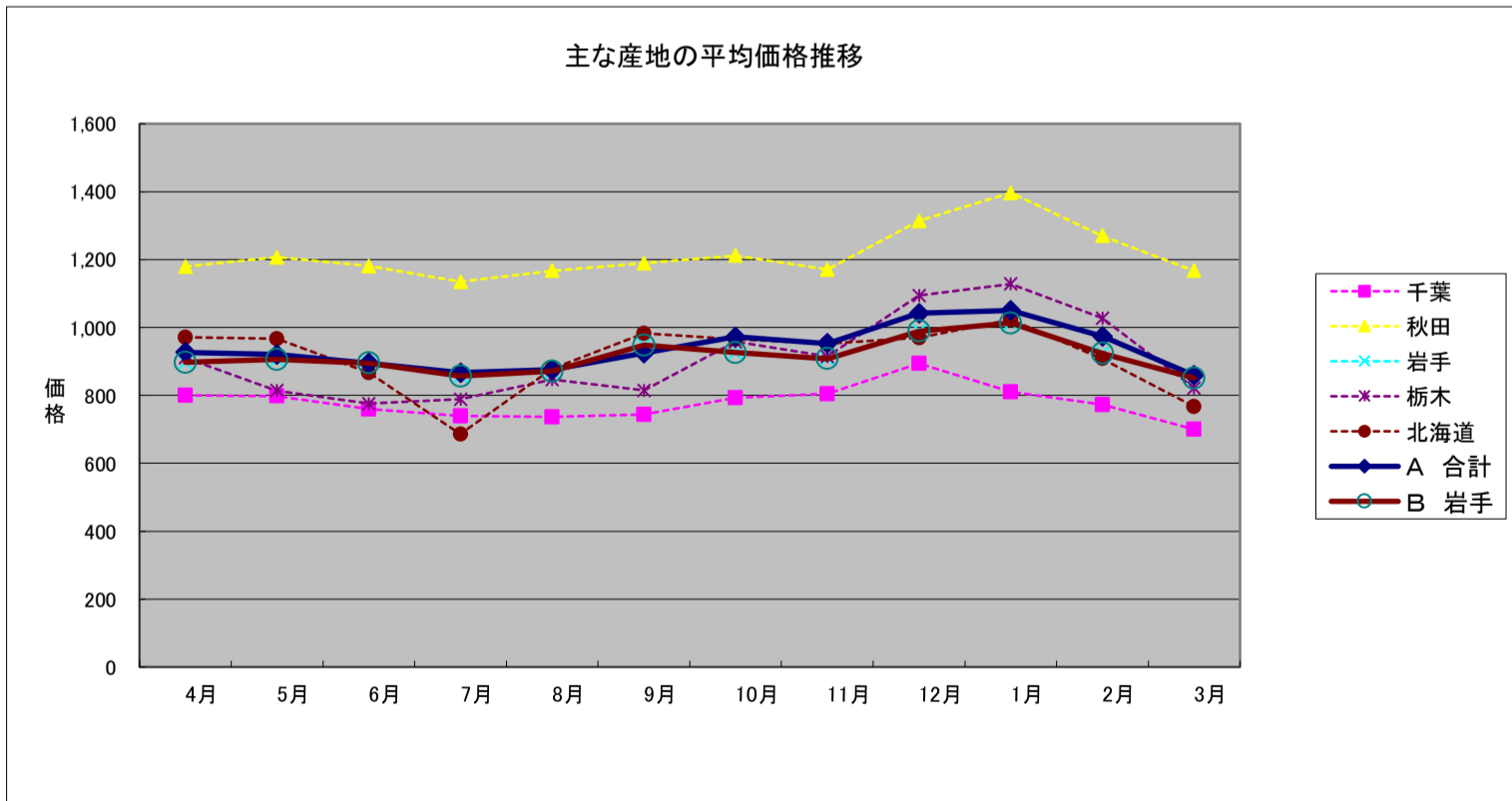
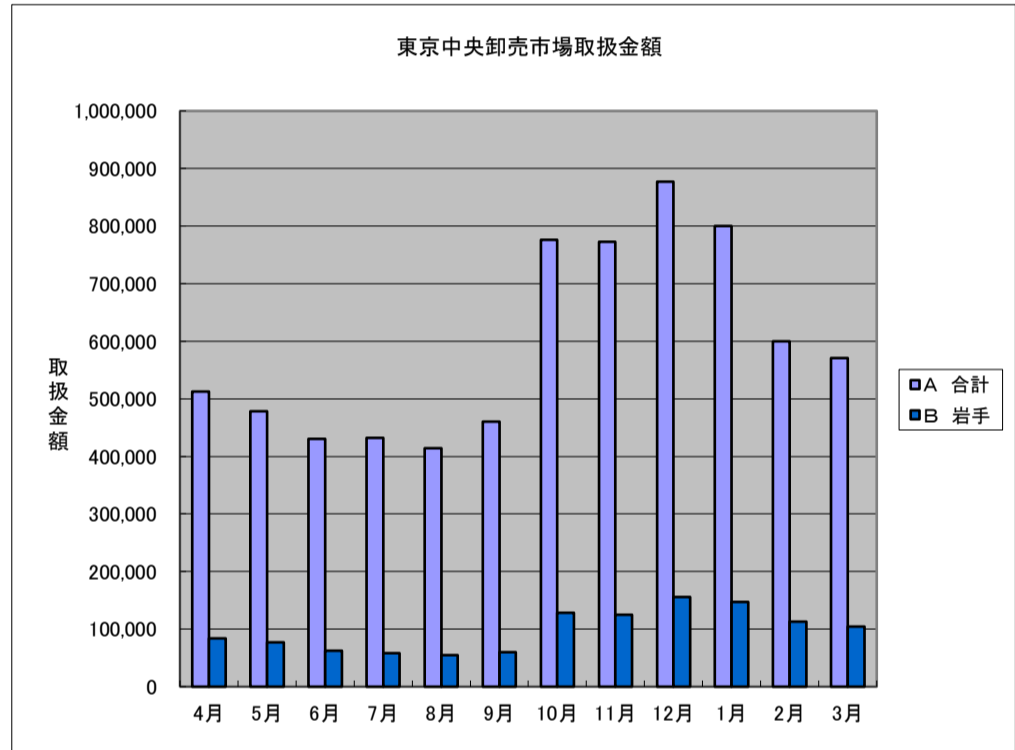
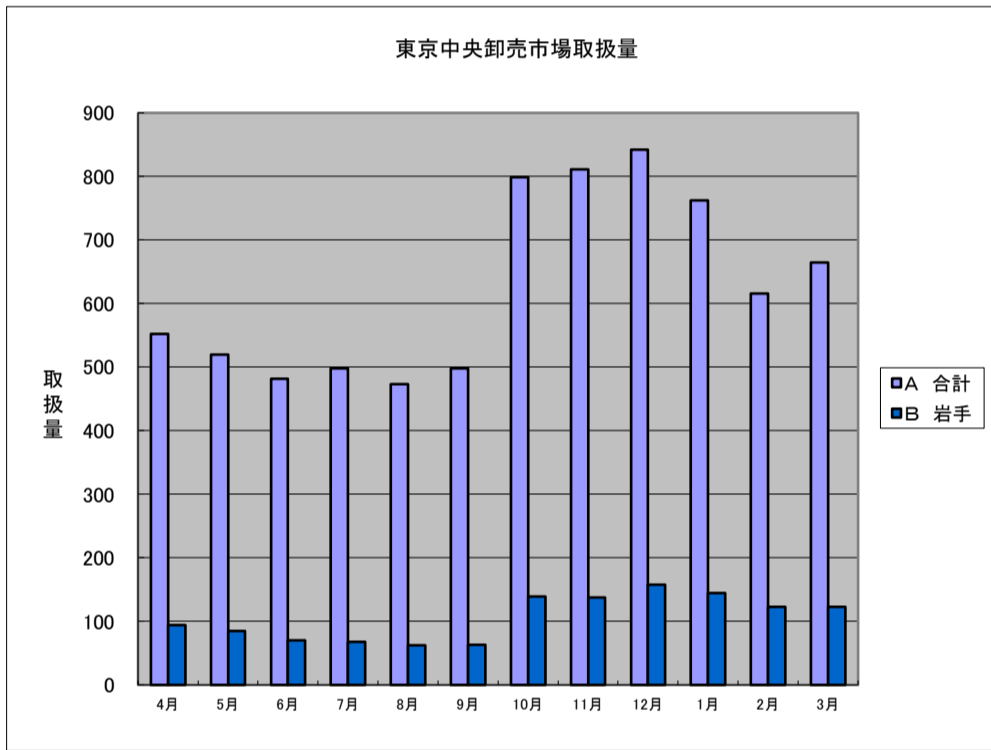
(単位:t)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	7,518	553	520	481	498	473	498	799	811	842	762	615	665
1 千葉	1,525	116	113	96	101	112	113	147	142	149	189	124	122
2 秋田	1,283	85	78	78	91	85	88	149	167	140	114	103	107
3 岩手	1,266	94	85	70	68	63	63	139	137	158	145	122	123
4 栃木	1,067	81	85	81	76	52	69	128	132	106	83	74	100
5 北海道	360	24	24	21	28	25	21	30	24	54	43	30	36
6 福島	349	21	25	30	36	31	26	35	32	30	22	26	35
7 山形	274	19	16	16	11	11	12	36	37	39	27	25	26
8 群馬	270	14	12	12	15	12	13	24	33	39	32	30	33
9 中国	231	21	15	14	15	28	18	22	20	26	17	17	17
10 兵庫	192	21	17	9	4	4	21	24	24	25	20	12	9
本県の市場シェア	16.8%	17.0%	16.3%	14.5%	13.6%	13.2%	12.7%	17.4%	16.9%	18.7%	19.0%	19.9%	18.4%

令和2年度産地別取扱金額の推移

(単位:千円)

産地	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	7,125,198	512,225	478,521	430,722	431,787	414,331	460,740	776,267	772,429	877,040	800,418	599,538	571,179
1 秋田	1,566,389	100,214	93,923	91,585	103,164	98,731	104,392	180,859	195,359	183,931	159,740	130,219	124,271
2 千葉	1,195,952	92,646	90,241	73,097	74,777	82,730	84,394	116,867	114,326	132,909	153,201	95,582	85,183
3 岩手	1,169,829	84,129	77,005	62,701	58,269	54,629	59,840	128,534	124,643	155,851	146,817	113,148	104,263
4 栃木	977,160	73,601	69,365	62,656	60,160	44,137	56,474	122,135	120,251	115,716	94,053	76,123	82,488
5 山形	343,228	23,989	20,760	20,980	13,848	14,037	17,067	45,377	42,626	48,773	38,120	29,907	27,746
6 北海道	329,525	23,747	23,031	18,008	18,879	21,973	20,306	29,141	23,173	52,092	44,053	27,457	27,664
7 福島	292,953	19,772	22,072	22,418	26,624	24,932	22,353	30,884	26,545	26,377	22,947	23,045	24,986
8 群馬	205,253	12,102	10,409	9,347	10,061	7,869	8,948	16,867	23,766	31,979	28,201	24,238	21,469
9 新潟	157,122	15,003	12,993	14,832	12,185	12,103	10,449	12,435	12,940	13,671	17,930	11,327	11,255
10 兵庫	142,311	15,098	11,662	6,491	3,402	2,680	15,880	17,479	16,839	19,458	18,039	9,585	5,697
本県の市場シェア	16.4%	16.4%	16.1%	14.6%	13.5%	13.2%	13.0%	16.6%	16.1%	17.8%	18.3%	18.9%	18.3%



生しいたけの令和2年度の東京卸売市場における年間出荷量は、1,266t(市場シェア3位:16.8%)、出荷額は、約13億円(市場シェア1位:16.4%)であった。年間を通じて出荷されている。価格については、全国平均より24円低い。

平均価格の推移(令和2年度)

(単位:円/kg)

産地	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A 合計	948	927	920	895	867	876	925	972	953	1,042	1,050	974	859
B 岩手	924	897	906	895	857	871	948	926	908	989	1,013	924	851
価格差	△ 24	△ 30	△ 14	0	△ 10	△ 5	23	△ 46	△ 45	△ 53	△ 37	△ 50	△ 8
1 千葉	784	800	798	760	739	736	744	793	805	894	810	773	700
2 秋田	1,221	1,179	1,207	1,181	1,135	1,167	1,190	1,212	1,171	1,314	1,397	1,270	1,167
3 岩手	924	897	906	895	857	871	948	926	908	989	1,013	924	851
4 栃木	916	911	814	776	789	847	815	958	914	1,094	1,128	1,027	822
5 北海道	916	971	967	867	686	878	983	965	952	970	1,023	908	767

(主要産地上位5産地の平均価格)

## IV 資料編

### 1 農林水産物の消費動向（全国・盛岡市）

（資料：総務省 家計調査）

#### (1) 農林水産物の消費動向の概要

「家計調査」は、総務省が行っている統計法に基づく指定統計であり、調査方法は、悉皆調査ではなく、標本調査(抽出調査)です。

なお、都道府県全体の毎年の家計調査は行われていないため、県庁所在地である盛岡市の消費動向をもとに、全国と対比させながら、農林水産物の消費動向について概説します。

また、調査対象となる世帯の構成としては、単身世帯を除く、2人以上の世帯(全国・盛岡市ともに世帯人員約3人で、世帯主年齢は全国平均で59.7歳、盛岡市で平均59.1歳)となっています。

#### ア 穀類等

主食の「米」は、購入数量が全国的に減少し、全国における購入数量は、令和2年で64.16kgとなっています。盛岡市では71.61kgとなっています。

なお、「中華めん」は、支出金額・購入数量とも継続して全国第1位となっています。

#### イ 小麦、大豆等

「豆腐」の支出金額・購入数量ともに全国で高い水準となっており、「納豆」の支出金額は全国2位となっています。

#### ウ 野菜

「ほうれんそう」の購入数量は全国第1位であり、「ねぎ」の購入数量も全国上位で推移しています。

一方、「レタス」の購入数量は、下位の水準で推移しています。

#### エ 果物

「りんご」の支出金額・購入数量はともに全国第3位となっています。

#### オ 花き

「切り花」の支出金額は、全国平均を上回っています。

#### カ 畜産物

「牛肉」の支出金額は全国平均を大幅に下回っています。

また、「ヨーグルト」の支出金額は全国第1位となっています。

#### キ 水産物

4品目すべて、支出金額、購入数量とも上位となっており、特に「さんま」の支出金額・購入数量は全国第1位となっています。

#### ク 林産物

「生しいたけ」の購入数量は全国17位となっています。

#### ケ その他

「外食」の支出金額は全国平均を大きく下回っています。

(2) 各年毎の世帯人員及び世帯主年齢

年	全 国		盛 岡 市	
	世帯人員(人)	世帯主年齢(歳)	世帯人員(人)	世帯主年齢(歳)
平成 28	2.99	59.2	3.05	59.7
29	2.98	59.6	3.14	57.7
30	2.98	59.3	3.09	58.9
令和 元	2.97	59.4	3.21	58.3
2	2.95	59.7	3.03	59.1

※ 2人以上世帯

(3) 品目別の消費動向

※備考欄の順位は、52市(47都道府県庁所在地及び2010年4月1日時点での政令指定都市5市(政令指定都市のうち都道府県庁所在地と重複する市を除いたもの))のうち盛岡市の順位を示している。

※備考欄の順位は、各該当年から該当年を含む過去3年分の平均値をランキング化したものです。

平成28年：平成26～28年の平均

平成29年：平成27～29年の平均

平成30年：平成28～30年の平均

令和元年：平成29～31(令和元)年の平均

令和2年：平成30～令和2年の平均

ア 穀類等

【米】 (うるち米及び他の米)

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(kg)	支出金額(円)	購入数量(kg)	金額(位)	数量(位)
平成 28	23,522	68.74	22,342	72.49	29	17
29	23,681	67.27	23,696	66.46	26	17
30	24,314	65.75	28,137	80.43	16	8
令和 元	23,212	65.07	25,769	74.34	8	6
2	23,815	64.16	25,033	71.61	13	5

【食パン】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	8,904	19,217	6,922	14,244	47	48
29	9,131	19,614	7,784	15,183	44	50
30	9,341	19,724	8,511	17,177	42	47
令和 元	9,912	19,812	8,515	17,296	41	43
2	9,860	20,238	8,472	16,920	44	45

【他のパン】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	21,390	22,120	18,108	18,264	44	49
29	20,826	21,624	21,828	20,848	37	47
30	21,213	21,763	19,959	19,539	33	41
令和 元	22,252	22,052	20,078	20,154	32	38
2	21,531	22,232	20,153	20,198	35	37

【生うどん・そば】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	3,410	10,278	2,907	9,381	34	31
29	3,368	10,269	3,173	10,010	30	30
30	3,313	10,035	3,052	9,640	36	29
令和 元	3,284	10,049	5,369	9,386	29	29
2	3,444	10,427	3,349	9,635	28	31

【乾うどん・そば】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	2,462	3,593	2,353	3,847	8	6
29	2,395	3,594	2,243	3,544	7	8
30	2,256	3,552	2,929	6,458	15	9
令和 元	2,124	3,419	2,087	3,984	13	7
2	2,263	3,378	2,475	4,697	12	6

【中華めん】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	3,926	8,565	5,274	10,698	1	1
29	3,846	8,467	5,496	11,292	1	1
30	3,917	8,562	5,609	11,401	1	1
令和 元	3,904	8,468	5,848	11,909	1	1
2	4,184	8,884	5,991	12,021	1	1

【即席めん】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	1,820	2,604	1,793	2,543	46	39
29	1,781	2,573	1,651	2,461	40	36
30	1,765	2,561	1,948	3,253	26	20
令和 元	1,842	2,577	1,837	2,490	25	19
2	1,946	2,701	1,889	2,790	29	17

イ 小麦、大豆等

【小麦粉】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	652	2,600	562	2,190	45	44
29	628	2,505	498	1,872	46	45
30	596	2,376	557	2,240	38	39
令和 元	602	2,375	765	3,143	21	18
2	650	2,459	644	2,507	19	18



**【もち】**

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	1,858	2,459	1,371	2,045	45	43
29	1,855	2,423	1,265	1,723	46	39
30	1,699	2,250	1,481	1,866	45	39
令和 元	1,726	2,301	1,172	1,781	46	38
2	1,751	2,289	1,431	1,917	40	36

**【豆腐】**

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(丁)	支出金額(円)	購入数量(丁)	金額(位)	数量(位)
平成 28	5,667	80.20	7,022	95.63	2	4
29	5,479	80.16	6,833	90.16	2	3
30	5,351	83.66	7,371	93.49	1	5
令和 元	5,518	81.55	7,057	95.75	1	5
2	5,259	82.97	6,939	9072	1	12

**【油揚げ・がんもどき】**

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量( )	支出金額(円)	購入数量( )	金額(位)	数量(位)
平成 28	3,136	—	3,321	—	20	—
29	3,057	—	2,961	—	20	—
30	2,944	—	3,369	—	16	—
令和 元	2,881	—	3,054	—	17	—
2	2,951	—	3,158	—	15	—

**【納豆】**

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量( )	支出金額(円)	購入数量( )	金額(位)	数量(位)
平成 28	3,835	—	5,562	—	2	—
29	3,949	—	5,538	—	2	—
30	4,232	—	6,631	—	2	—
令和 元	4,238	—	6,399	—	2	—
2	4,375	—	6,497	—	2	—

**ウ 野菜**

**【キャベツ】**

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	3,027	18,375	3,101	17,295	30	23
29	3,010	17,878	3,232	18,404	36	30
30	3,202	17,020	3,640	19,425	14	21
令和 元	2,638	17,350	3,049	21,320	4	3
2	3,006	17,468	3,348	19,652	6	3

【ほうれんそう】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	2,228	3,017	3,471	4,838	1	1
29	2,080	2,937	2,969	4,112	1	1
30	2,223	3,054	3,278	4,154	2	2
令和 元	1,907	2,906	3,202	4,444	2	2
2	2,084	2,925	3,222	4,322	1	2

【ねぎ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	3,196	4,628	2,821	5,956	38	7
29	3,235	4,777	2,890	5,906	38	6
30	3,232	4,415	3,137	6,603	37	4
令和 元	2,980	4,567	2,869	5,955	30	3
2	3,212	4,659	2,925	6,187	34	5

【レタス】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	2,764	5,934	2,544	5,262	40	35
29	2,570	6,389	2,195	4,771	42	44
30	2,566	6,282	2,270	4,724	40	48
令和 元	2,413	6,215	2,029	5,089	48	48
2	2,525	6,182	2,128	4,807	48	51

【きゅうり】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	3,383	7,620	3,430	7,949	18	14
29	3,250	7,797	3,021	7,684	19	18
30	3,403	7,715	3,579	8,345	28	23
令和 元	3,255	7,733	3,447	8,453	25	22
2	3,446	7,794	3,509	8,412	24	21

【トマト】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	8,068	11,866	7,406	11,271	35	16
29	8,008	12,107	7,484	11,810	31	14
30	8,134	11,888	7,787	13,452	33	24
令和 元	7,901	11,947	7,246	11,725	33	22
2	8,091	11,813	7,136	11,685	36	27

【ピーマン】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	2,092	2,756	2,123	2,873	28	26
29	2,139	2,947	2,022	2,828	28	29
30	2,230	2,925	2,160	2,970	24	22
令和 元	2,151	2,921	2,572	3,567	19	15
2	2,273	2,922	2,328	3,157	22	17

エ 果物

【りんご】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	5,346	12,746	8,493	20,908	1	3
29	5,117	12,209	9,226	26,046	1	1
30	4,638	10,363	9,082	32,513	1	1
令和 元	4,650	11,119	8,261	16,867	1	1
2	4,748	10,441	8,976	24,018	3	3

オ 花き

【切り花】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量( )	支出金額(円)	購入数量( )	金額(位)	数量(位)
平成 28	9,317	—	11,174	—	—	—
29	8,757	—	9,632	—	—	—
30	8,255	—	10,929	—	—	—
令和 元	8,401	—	10,581	—	—	—
2	8,152	—	10,018	—	—	—

カ 畜産物

【牛肉】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	21,837	6,422	10,227	3,824	49	49
29	21,961	6,581	10,095	3,989	50	48
30	21,871	6,717	11,580	4,068	49	48
令和 元	21,178	6,612	10,216	3,207	50	50
2	22,241	6,814	11,041	3,856	50	50

【豚肉】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	29,463	20,418	27,563	20,404	32	12
29	30,028	20,788	27,853	21,103	33	17
30	30,592	21,518	30,663	23,174	33	16
令和 元	29,638	21,162	28,587	22,154	29	15
2	31,030	21,896	29,562	22,836	35	15

【鶏肉】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	15,290	16,243	11,414	13,086	46	41
29	15,816	16,315	13,512	14,648	47	42
30	15,879	16,865	14,475	16,821	44	40
令和 元	15,587	16,697	14,115	16,107	39	34
2	16,249	17,517	14,242	16,272	42	35

【ハム】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	5,504	2,782	3,532	2,175	42	35
29	5,333	2,777	4,902	2,702	45	37
30	4,979	2,592	4,992	2,690	42	35
令和 元	5,091	2,693	4,615	2,759	30	26
2	5,076	2,672	4,913	2,767	27	21

【ソーセージ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	7,389	5,222	6,867	4,762	32	32
29	7,434	5,315	6,869	5,008	36	38
30	7,344	5,301	8,560	5,987	23	24
令和 元	7,360	5,313	8,188	5,630	10	14
2	7,536	5,455	8,229	5,751	7	12

【ベーコン】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	2,600	1,471	2,809	1,673	15	11
29	2,601	1,514	2,891	1,654	14	18
30	2,574	1,546	2,758	1,595	13	16
令和 元	2,583	1,532	2,975	1,762	12	18
2	2,682	1,612	2,946	1,758	12	17

【牛乳】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(l)	支出金額(円)	購入数量(l)	金額(位)	数量(位)
平成 28	15,519	78.51	15,064	75.88	25	24
29	15,300	78.03	16,128	80.92	21	18
30	14,950	76.24	17,372	79.71	16	22
令和 元	15,174	76.69	17,315	84.50	5	13
2	15,340	76.74	16,997	81.86	7	12

【ヨーグルト】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量( )	支出金額(円)	購入数量( )	金額(位)	数量(位)
平成 28	13,495	—	16,039	—	1	—
29	13,391	—	14,336	—	6	—
30	13,203	—	19,425	—	1	—
令和 元	13,157	—	17,214	—	1	—
2	13,453	—	17,361	—	1	—

【チーズ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	5,193	3,084	5,002	2,790	17	23
29	5,493	3,309	5,657	3,366	23	23
30	5,887	3,488	6,790	4,051	15	19
令和 元	6,044	3,448	7,357	4,243	12	12
2	6,240	3,696	7,265	4,274	9	6

【卵】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	9,419	31,120	8,377	32,094	40	25
29	9,451	31,264	8,257	31,562	47	27
30	9,437	31,933	8,275	33,935	47	21
令和 元	9,172	31,648	8,527	33,793	47	24
2	9,584	32,560	8,458	34,133	49	20

キ 水産物

【さけ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	4,664	2,744	5,801	3,614	4	3
29	4,490	2,487	4,840	2,843	5	4
30	4,705	2,507	5,663	3,206	5	6
令和 元	4,818	2,505	5,675	3,365	8	5
2	4,926	2,622	5,659	3,342	7	5

【さんま】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	1,072	1,221	1,734	2,126	1	4
29	880	918	1,393	1,791	1	3
30	1,110	1,135	2,625	3,480	1	1
令和 元	732	940	1,268	1,385	1	1
2	793	781	1,622	1,959	1	1

【塩さけ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	2,219	1,525	4,058	2,618	4	4
29	2,252	1,419	4,421	2,872	3	3
30	2,154	1,278	4,146	2,719	4	5
令和 元	2,183	1,340	4,438	2,886	3	2
2	2,185	1,343	4,151	2,780	4	2

【わかめ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	1,584	918	2,774	2,057	1	1
29	1,603	876	2,579	2,072	1	1
30	1,580	865	2,606	1,868	1	1
令和 元	1,583	867	2,565	1,640	1	1
2	1,603	864	2,609	1,756	2	1

ク 林産物

【生しいたけ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	2,017	1,565	1,937	1,735	24	6
29	2,002	1,572	2,173	2,014	20	3
30	1,976	1,586	2,201	2,029	19	3
令和 元	1,908	1,575	2,150	1,934	13	2
2	1,994	1,629	2,124	1,886	17	10

【他のきのこ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	2,201	2,492	3,154	3,157	—	—
29	2,216	2,442	3,104	3,513	3	6
30	2,440	2,447	3,853	3,750	3	7
令和 元	2,470	2,488	3,347	3,347	4	6
2	2,522	2,543	3,534	3,501	5	7

【干しいたけ】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量(g)	支出金額(円)	購入数量(g)	金額(位)	数量(位)
平成 28	463	50	586	85	8	7
29	457	57	471	75	15	10
30	436	47	386	56	18	8
令和 元	387	50	440	47	21	14
2	406	45	402	63	24	6

ケ その他

【アイスクリーム・シャーベット】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量( )	支出金額(円)	購入数量( )	金額(位)	数量(位)
平成 28	8,908	—	9,434	—	12	—
29	9,047	—	9,735	—	13	—
30	9,670	—	10,752	—	11	—
令和 元	9,701	—	11,482	—	4	—
2	9,828	—	10,620	—	9	—

【おにぎり・その他】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量( )	支出金額(円)	購入数量( )	金額(位)	数量(位)
平成 28	4,370	—	4,251	—	40	—
29	4,276	—	4,028	—	36	—
30	4,500	—	4,360	—	34	—
令和 元	4,876	—	4,806	—	33	—
2	4,633	—	4,463	—	28	—

【外食】

年	全 国		盛 岡 市		備 考	
	支出金額(円)	購入数量( )	支出金額(円)	購入数量( )	金額(位)	数量(位)
平成 28	168,067	—	148,264	—	42	—
29	168,646	—	156,146	—	40	—
30	171,571	—	143,091	—	39	—
令和 元	176,917	—	137,827	—	41	—
2	159,405	—	129,824	—	46	—

## 2 国内外の市場の開拓について

### (1) 6次産業化の取組等による国内市場の開拓について

#### ア 基本的な考え方

農林水産業は成長産業として、地域経済の活性化に大きく寄与することが期待されています。

このような期待に応えるためには、関連産業との連携等、農林水産業の構造転換を進めていく必要があります。

県としては、消費トレンドや流通構造の変化に対応するマーケットインの農林水産業への転換を進めるとともに、生産者の収益力の強化を図るため、農林漁業者が生産から加工、流通・販売事業に進出する6次産業化の取組等を推進し、農林水産業を成長産業へと育成していきます。

#### イ 6次産業化の推進

県では、県内の6次産業化の取組を推進するため、6次産業化のモデル事業体の育成と農林漁業者等の取組をサポートする体制の構築に重点的に取り組んでいます。

#### (7) 6次産業化商品開発事業の実施

地元の農林水産物を使った魅力ある6次産業化商品の開発による地域全体の収益性向上を図るため、地域の多様な主体が連携・参画した新商品開発を行い、県内への波及を図るモデル事業に取り組んでおり、令和2年度は、県産小麦もち姫と県産エゴマを使った2つの商品を開発しました(※地域を元気にする6次産業化モデル構築事業)。

このモデルを県内に波及させることにより、地域の生産者や加工事業者、販売事業者が連携した商品開発等の手法を県内に根付かせ、6次産業化商品の開発促進、生産者の収益向上を支援しています。

#### (イ) 食のプロフェッショナルチームの設置

食品流通の専門家等で構成する「食のプロフェッショナルチーム」を設置し、アドバイザーを派遣して6次産業化に向けた以下の取組を支援しています。

- 生産者等の商品開発や販路開拓等のマーケティング
- 生産者等の生産・加工・流通(販売)の一体化
- 2次・3次産業と連携した新たなビジネスの展開

【令和2年度の実績】 支援件数 71件

#### (ウ) フェア等の開催

【令和2年度の実績】

##### a 飲食店等と連携したフェア開催

県外の「黄金の國、いわて。」応援の店や、いわて牛取扱推奨店、フルーツ専門店、量販店等を対象に、野菜、牛肉、果実の各種フェアを展開。



【実施された飲食店・フェア】

名称	場所	対象・内容	時期
岩手 うまいもの市	県内イオン 6店舗	・対象：一般消費者 ・内容：県産農林水産物及び加工品等の販促活動を実施	R2. 6. 12 ～6. 14
	県内イオン 14店舗	・対象：一般消費者 ・内容：県産農林水産物及び加工品等の販促活動を実施	R2. 10. 9 ～10. 11
にぎわい東北	北関東イオン 42店舗	・対象：一般消費者 ・内容：県産農林水産物及び加工品等の販促活動を実施	R3. 3. 4 ～3. 7
社食等での「いわてフェア」	県内 1か所	・内容：県産食材を利用したメニュー提供	R2. 5. 28
	関西・東海 9カ所	・内容：県産食材を利用したメニュー提供	R2. 10. 27 ～11. 27
G A P等認証 食材フェア	東京都	・中央合同庁舎8号館食堂等 ・内容：東京オリパラ開催に係るG A P等認証食材を利用したメニューの提供	R2. 7. 16 ～7. 22
首都圏レスト ランフェア	首都圏	・対象：「黄金の國、いわて」応援店 ・内容：営業自粛を余儀なくされた飲食店の支援及び県産食材の消費拡大	R3. 1. 15 ～1. 31

b 「黄金の國、いわて。」応援の店登録と県産農林水産物の取引拡充

県産食材の利用に意欲的な県外飲食店を増やすため、産地見学会や商談会、フェア等を通じ、応援の店登録店数を拡充。

【令和2年度の実績】

登録状況 192店舗

区分	所在地	店舗数	備考
関東圏	東京都内	125	
	埼玉、神奈川県ほか	26	
中部圏	愛知、静岡県	3	
関西圏	大阪・京都府ほか	26	
国内その他	広島・福岡県	4	
海外	台湾（台北市）ほか	8	

c いわて牛取扱推奨店の登録拡充

「いわて牛」の取り扱いに積極的な県内及び県外の飲食店、量販店、精肉店、ホテル・旅館を登録。産地見学会やフェア等を通じ、いわて牛取扱推奨店の新規登録を拡充。

【令和2年度の実績】

登録状況 344店舗

区分	県外	県内	海外	計
飲食店・ホテル・旅館	61	90	3	154
量販店	111	21	-	132
精肉店	24	28	6	58

## (2) 農林水産物の輸出促進について

### ア 基本的な考え方

日本が少子高齢化社会を迎え、国内市場規模が縮小していくと見込まれる中、海外においては、日本食レストランが年々増加するなど、「和食」への評価は高まっており、今後も海外における日本の農林水産物・食品への需要は、ますます拡大していくことが期待されます。

そのような中、国は、令和元年度の輸出額目標 1 兆円に向け、輸出を拡大するための各種事業に取り組んでいます。本県においても、輸出拡大に取り組むことは、県産農林水産物の需要開拓や高付加価値化につながるものであり、本県農林水産業全体の振興にとって重要であることから、「攻め」の姿勢に立って輸出を積極的に推進する必要があります。

このことから、平成 29 年 3 月に「いわて国際戦略ビジョン」を策定し、ターゲットとする市場や品目を明確にしながら、戦略的に輸出拡大や外国人観光客の誘客拡大に取り組むこととしております。

特に、農林水産物・食品の輸出は、官民一体となった取り組みが重要であることから、平成 20 年 3 月に県及び農林水産関係団体・企業等で構成する「いわて農林水産物輸出促進協議会」を立ち上げ、海外バイヤーの招聘や商談会の開催、現地での販売促進フェアの開催など、輸出拡大に向けた事業を展開してきました。

東日本大震災津波による原発事故の影響により、未だ一部の国から輸入規制等を受けているものの、これまで積み上げてきた海外ネットワークを活用しながら、県産農林水産物の安全性や魅力を海外実需者や現地消費者に情報発信してきたことなどにより、本県の米・牛肉・りんごの輸出は年々拡大しており、令和元年の農林水産物の輸出額は、約 37 億円まで拡大してきました。

平成 30 年度には、同協議会を「いわて農林水産物国際流通促進協議会」と名称を改め、台湾・香港の定期便就航誘致等と連携した取組や、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会などのビッグイベントに向けた県産食材の PR などの取組も加えながら、インバウンド消費と輸出の拡大を好循環させる取組を図っていきます。

### イ 県産農林水産物の輸出促進に向けた取組み

#### (7) いわて農林水産物国際流通促進協議会活動

県及び農林水産関係団体・企業で構成する「いわて農林水産物輸出促進協議会(平成 20 年 3 月設置)」の名称を平成 30 年度から「いわて農林水産物国際流通促進協議会」に改め、輸出のみではなく、東京 2020 オリンピック・パラリンピック等国際競技大会に向けた県産食材の PR や、外国人観光客に向けた県産食材の PR と消費拡大までを含めた国際流通を促進するための事業を展開していきます。

(これまでの取組み)

- 知事によるトップセールス(ベトナム、タイ)
- 海外バイヤーの招聘及び商談会の開催
- 海外日系小売店との協同による、県産農林水産物の販売活動(ベトナム、シンガポール、マレーシア、タイ、香港、台湾、米国、カナダ、オーストラリア)
- 現地大使館と連携した、政府関係者・流通業者等に対する安全な県産農林水産物の PR 活動(ベトナム、米国)

#### (4) いわて農林水産物輸出コーディネーターによるマッチング支援等

商社等民間の専門家を「いわて農林水産物輸出コーディネーター」に委嘱(4名)し、県産農林水産物の海外での評価及び輸出可能性調査、県内生産者と海外実需者のマッチング支援等を実施しています。

(令和2年度の取組み)

- 海外実需者と県内生産者とのマッチング支援
- 東南アジア・中国市場の情報提供
- 海外日系小売店における岩手フェア開催支援
- 新規需要米を中心とした米の海外への販売促進支援（シンガポール、タイ など）
- 小ロット水産物輸出に係る物流課題検討の整理（シンガポール）

(ウ) 輸出促進に向けた県内企業等への情報提供

いわて農林水産物国際流通促進協議会会員等の輸出に意欲のある企業等に対し、国・ジェトロ等が開催する輸出促進セミナー、海外見本市情報を周知しています。

ウ 参考データ

表IV-7-3 海外事務所の設置状況

事務所名	設置年月	設置目的	所管エリア
北東北三県・北海道ソウル事務所 (北海道、青森、秋田、岩手連携)	平成14年11月	観光振興等	韓国
岩手県大連経済事務所 <宮城県大連事務所> (岩手、宮城連携)	平成17年4月	対中ビジネス支援、 中国経済・産業情報 収集等	中国

表 IV-7-4 岩手県の品目別輸出

(単位：百万円、%)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1/H30
水産物	1,619	1,406	1,067	1,165	1,331	1,749	131
農林産物	617	853	1,116	1,651	1,851	1,925	104
木材・家具	12.7	23.3	29.4	15.4	14.3	15.5	108
農林水産物計	2,235	2,259	2,183	2,816	3,182	3,674	115
うち 中国・香港	1,064	844	778	950	1,111	1,118	101
アジア	893	1,101	1,035	1,433	1,537	1,707	111
北米	97	113	236	324	448	378	84

資料：日本貿易振興機構（ジェトロ）盛岡貿易情報センター

### 3 地産地消・食育

#### (1) いわて地産地消推進運動の取組み状況について

県では、地産地消を推進していくために、消費者・流通加工業者、生産者等の一体的な取り組みにより、地産地消の推進を県民運動として幅広く展開することを目的として、次のような取り組みを行っています。

#### ア 「岩手県ふるさと食品」認証制度

本県の農林水産業及び食品産業の振興を図るため、地域の特色を生かした農林水産物を原料とした特産品のうち、県産原料100%使用(主原料)、県内製造所で生産等の一定の基準に適合するものを「ふるさと認証食品」として認証し、消費者の信頼を高めることを目的としています。

##### ① 対象食品及び認証基準の決定

「岩手県農林水産物認証制度運営委員会」に諮ったうえで食品の認証基準を決定。

##### ② 認証状況 (IV - 6 - (1) P81 参照)

対象品目：11品目

認証商品：26商品 (R3年7月末現在)

#### イ 「いわて地産地消弁当」認証制度 (平成20年4月創設)

##### ① 目的

県産食材を利用して製造された弁当に対する消費者の信頼を高め、本県の農林水産業及び食品産業の振興を図ること。

##### ② 認証ガイドライン

- ①使用する原料米及び原料雑穀が岩手県産であること。
- ②そうざいの主な原材料が岩手県産であること。
- ③岩手県内の工場で生産されたものであること。
- ④弁当の名称に岩手の地域を連想される名称が付されていること。

##### ③ 認証状況 (平成20年度～) (P72 参照)

いわて地産地消弁当：20品目 (R3年6月末現在)

#### ウ 「いわて地産地消給食実施事業所」認定制度

##### ① 目的

県内の事業所等内の給食施設における岩手県産農林水産物の利用を促進するとともに、地産地消に係る県民意識の醸成を図り、県内の農林水産業の振興に資すること。

##### ② 認定対象

岩手県内に所在する事業所等で、給食施設を設置し、又は給食を提供している事業所等であって、利用者が特定の範囲の者に限られているもの。但し、学校給食施設を除くもの。

※想定事業者等：社員食堂を有する事業所、社会福祉施設、病院等

##### ③ 認定要件

- ・事業所等で利用する米は岩手県産100パーセントとすること。
- ・年間を通じた岩手県産農林水産物の積極的な利用に努めること。
- ・岩手県産農林水産物を利用したメニュー提供やイベント開催など、地産地消の取組を行うこと。
- ・いわての食財サポーターに登録していること。
- ・メニューに使用した岩手県産農林水産物の情報や事業所等における地産地消の取組を利用者に周知すること。

④ 認定状況 (P73 参照)

(直近3年間) <平成29年度>10事業所  
 <平成30年度>5事業所  
 <令和元年度>2事業所  
 <令和2年度>1事業所(令和3年5月末現在)  
 計79事業所(内訳/福祉施設57、病院13、社員食堂6、学校1、その他事業所2)

エ 「いわての食財サポーター」登録制度(平成24年11月30日創設)

県産農林水産物に興味を持ち、消費拡大やPRに協力いただく消費者や、生産拡大・安定供給等の活動を積極的に行っていただく生産者等を「いわての食財サポーター」として登録するものです。

「消費者」「生産者」「流通加工事業者」の3区分のネットワークを構築し、県産食材に関する情報を発信・交換しながら、県内外での県産食材の消費拡大と評価の向上を図っています。

表4-3-1 いわての食財サポーターののべ登録者数(令和3年6月末現在)

サポーター 区分	消費者 サポーター		生産者 サポーター		流通加工事業者 サポーター		合 計	
	登録者数							
登録者数	7,194		134		349		7,677	
(再掲) 登録者居住地	(県内)	(県外)	(県内)	(県外)	(県内)	(県外)	(県内)	(県外)
	462	6,773	100	14	294	55	856	6,842

オ 「いわて地産地消レストラン」認定制度

いわて地産地消推進会議(事務局:岩手県立大学総合政策学部山本健研究室)が県内の地産地消に取り組む飲食店を対象として認定しているものです。

① 認定要件

次の項目の総合評点により、二ツ星(★★)及び一ツ星(★)の2段階評価にしています。

- ① いわての伝統料理又は新しいいわての食文化を提唱していること。
- ② 県産食材又はそれに準じた食材を使用した料理を提供していること。  
 県産食材の使用のめやすは、主な食材に県産品を使用しているメニューが、全メニューの6割以上あることを一ツ星(★)、8割以上あることを二ツ星(★★)の基本条件とする。
- ③ 看板や店のキャッチコピー、掲示物、チラシ、メニューなどに県内産食材の使用を明記するなど、積極的に地産地消をPRしていること。
- ④ 店づくり、雰囲気づくりにおいて、地域性(いわてらしさ)を打ち出した演出や工夫がなされていること。
- ⑤ 食品の安全性や衛生面に配慮していること。

② 認定状況(令和3年6月末現在)

二ツ星(★★) 13店舗、一ツ星(★) 5店舗 合計18店舗

いわて地産地消弁当認証一覧表(令和3年5月末現在)								
No.	弁当名	写真	主な食材	特 徴	料金	製造業者等	所在地	主な販売場所
1	いわて恵みづくし弁当		あわび、ほたて、さんま	・「あわびのバター焼き」、「ほたての煮浸し」、「さんまのかば焼き」等海産物をふんだんに使用した商品となっております。また、弊社オリジナル「ウニとわかめの炊き込みご飯」はグルメ派も絶賛の逸品です。	1,350円	碁石給食機	大船渡市	海鮮巻番店頭及び配達
2	四季彩弁当～展勝地小唄～		北上コロッケ(白百合ポーク)	・お米は県産米(ひとめぼれ)100%を使用 ・おかずは北上の食材(白百合ポーク、彩菜鶏)を使用	1,500円	株式会社クッキーナ	北上市	予約販売(配達可)
10	岩手短角和牛しぐれ煮弁当		いわて短角和牛	・お米は県産米ひとめぼれ、県産いわてっこのブレンドを使用 ・二戸市で飼育された「いわて短角和牛」、笹がき牛蒡のしぐれ煮	1,029円	生内商事機	二戸市	二戸駅売店、なにやーと物産センター
18	「いわて発」白金豚焼肉弁当		白金豚	・花巻市で生産された白金豚を使用した焼肉弁当(しょうが風味) ・県産「ひとめぼれ」使用	1,050円			
19	いわて大地の恵み弁当		白金豚	・花巻市で生産された白金豚を使用した焼肉弁当(しょうが風味)と白金豚のとんかつ(特製タレ使用)をミックスしたお弁当 ・県産「ひとめぼれ」使用	1,155円	ピーコック・トレテール	矢巾町	自社店舗にて予約販売
56	「岩手発」前沢牛カルビ焼肉弁当		前沢牛、錦糸玉子、山菜きんぴら	旨みいっぱい、前沢牛のバラ肉を焼き、自家製のソースで仕上げた旨みのあふれる弁当です。	1,800円	ピーコック・トレテール	矢巾町	自社店舗にて予約販売
57	岩手のお肉競演味わい弁当		菜彩鶏、白金豚、前沢牛	菜彩鶏、白金豚、前沢牛等、岩手の銘柄肉を一度に味わう豪華な一折です。金婚漬は花巻で生産されたみそ漬の金婚漬です。	2,160円	ピーコック・トレテール	矢巾町	自社店舗にて予約販売
64	いわてしあわせ弁当		雑穀、鶏もも肉、ごぼう	岩手県産のひとめぼれを使用した雑穀ご飯の上に岩手県産の鶏もも肉を唐揚げ、岩手県産のごぼうを使用したピリ辛の煮物の入ったお弁当です。	398円	株式会社手米飯	花巻市	イオン県内16店舗
69	矢越カブぶかし		矢越カブ、小豆	室根地区固有の「矢越かぶ」を使用したおこわ弁当。 地元室根産のもち米「ヒメノモチ」に、幻のかぶと言われやまぶき色が鮮やかな甘味があり食物繊維・ビタミン・ミネラルが豊富な矢越地区に根差した「矢越かぶ」と、小豆を混入し特殊加工したおこわ。	260円	室根12区農産物加工組合 ひこぼえ食工房	一関市 室根町	ふれあいむらね旬菜館 <small>シンサイカン</small>
74	いわてW焼肉重		鶏もも肉、豚肉	岩手県産のひとめぼれを使用した醤油風味ご飯に県産鶏のもも肉、豚肩ロース肉をてりだれで焼いた2種類の肉の味を入れたお弁当。	498円	株式会社手米飯	花巻市	イオン県内16店舗
79	銀河の恵ちゃん弁当		佐助豚、短角和牛、菜彩鳥	佐助豚、菜彩鶏、短角和牛を使用。二戸郷土料理の、へつちよこだんご、そばかけ等を盛り込んだお弁当。	1,080円	生内商事株式会社	二戸市	IGRいわて銀河鉄道ツアー一列車、受注販売
80	いわて県産鶏の照焼き弁当		鶏もも肉	岩手県産のひとめぼれ米を使用した醤油風味のご飯に、岩手県産の鶏もも肉を醤油味のたれに漬込んで、照焼きのたれで焼いた鶏照焼きが入っているお弁当。	537円			
81	いわて県産豚肉の二味重		豚肉	岩手県産のひとめぼれ米を使用した醤油風味のご飯に、しょうゆ味のたれ・みそ味のたれでそれぞれ焼いた県産豚肩ロース肉が入ったお弁当。	591円			
83	いわて県産さんま蒲焼き重		さんま	岩手県産のさんまを蒲焼のたれに漬込んで焼き、たつぷりと蒲焼のたれをかけたお弁当です。	580円	株式会社手米飯	花巻市	
84	いわて県産さんま天井		さんま	岩手県産のさんまを天井のたれに漬込んで焼き、上かけに天井のたれをたつぷりとかけたお弁当です。	540円			
85	いわて県産山海恵み弁当		さんま、鶏肉、すき昆布	岩手県産さんまの生姜煮、醤油味の岩手県産鶏もも唐揚げ、ならびに岩手県産すき昆布煮など、岩手県産の食材が多く入っているお弁当です。	645円			
88	いわて県産鶏かつ弁当 特製ソース添え		鶏かつ、切干大根煮、味わい山菜の人参和え	岩手県産の鶏肉を手造りカツにし、岩手県産の味噌大根漬けをブレンドしたオリジナルソースをトッピングしました。岩手県産の山菜や、十二穀ご飯を使用するなど、穀の郷・岩手をイメージした弁当になっています。	600円	(株)岩手米飯	花巻市	イオン県内16店舗、川徳、さくら野 他
90	いわて 短角牛牛めし弁当		山形短角牛	地元の久慈市山形町で生産されている短角牛を使い、オリジナルのタレで炒め煮して、甘辛く仕上げています。	1,080円	株式会社COEUR	久慈市	焼肉・冷麺福次郎 (予約販売)
92	岩手短角牛弁当やわらか煮		いわて短角牛、ごぼう、梅干し	いわて短角牛をブロックで煮込み、やわらかくなったところで手作業で身をほぐし、ほぐし身の特製のタレで仕上げます。金平ごぼうと牛肉のマッチングが旨さを引き立てます。	1,480円	株式会社ふがね	岩手町	自社店舗、道の駅石神の丘、いわて沼宮内駅(プラザあい)、株式会社川徳等
93	KOMABENTO(こま弁当)		鶏肉、さんま	その時期の旬のものをふんだんに使い、食バランスガイドにのっとり野菜中心の献立で弁当を詰めています。減塩、減糖、減脂を常に心がけて、ヘルシーな食生活を薦めています。	500円	デリカカフェあい〜夢	一関市	自社店舗

いわて地産地消給食実施事業所一覧表(R3.5.31時点)

認定No.	認定事業所名	住所	事業所区分	認定日
1	株式会社 岩手銀行 本店	盛岡市中央通1丁目2-3	社員食堂	H21.7.24
2	岩手県立久慈病院	久慈市旭町第10地割1番	病院	H21.7.24
5	社会福祉法人 高寿会 特別養護老人ホーム 高寿園	陸前高田市高田町字東和野67番地	高齢者福祉施設	H21.7.24
7	医療法人 勝久会 介護老人保健施設 松原苑	陸前高田市高田町字中田69番地2	高齢者福祉施設	H21.7.24
8	岩手県庁生活協同組合	盛岡市内丸10番1号	その他	H21.7.24
9	認定こども園 松の丸幼稚園 まつのまる保育園	二戸市福岡字橋場19	児童福祉施設	H21.7.24
10	社会福祉法人 麗沢会 軽費老人ホーム ケアハウスにのへ	二戸市堀野字馬場50-14	高齢者福祉施設	H21.7.24
11	医療法人 勝久会 介護老人保健施設 気仙苑	大船渡市大船渡町山馬越188番地	高齢者福祉施設	H21.7.24
12	岩手県立中央病院	盛岡市上田1丁目4番1号	病院	H21.7.24
13	岩手県立大船渡病院	大船渡市大船渡字山馬越10番地1	病院	H21.7.24
14	岩手県立釜石病院	釜石市甲子町第10地割483番地6	病院	H21.7.24
15	岩手県立宮古病院	宮古市鎌ヶ崎第1地割11番地26	病院	H21.7.24
16	岩手県立胆沢病院	奥州市水沢区字龍が馬場61	病院	H21.7.24
17	岩手県立磐井病院	一関市弧禅寺字大平17番地	病院	H21.7.24
22	岩手県立中部病院	北上市村崎野17地割10番地1	病院	H21.7.24
23	岩手県立二戸病院	二戸市堀野字大川原毛38番地2	病院	H21.7.24
29	岩手県立南光病院	一関市弧禅寺字大平17番地	病院	H21.7.24
30	社会福祉法人 岩手更生会 知的障害者更生施設 緑生園	盛岡市上飯岡2地割51番地3	障がい者福祉施設	H21.10.23
31	社会福祉法人 くりの木会 ちやいるどスクール	二戸市石切所字天神下9-1	児童福祉施設	H21.10.23
32	社会福祉法人 つつ星会 特別養護老人ホームわくわく荘 わくわく荘ショートステイ	二戸市仁左平字横手6-1	高齢者福祉施設	H21.10.23
33	社会福祉法人 つつ星会 養護老人ホーム紅梅荘	二戸市仁左平字横手6-1	高齢者福祉施設	H21.10.23
34	社会福祉法人 友愛会 特別養護老人ホーム 友愛園	金ヶ崎町西根揚場後8番2	高齢者福祉施設	H21.10.23
35	株式会社 ジャパンセミコンダクター	北上市北上工業団地6-6	社員食堂	H21.10.23
41	株式会社 東北銀行 本店	盛岡市内丸3番地1	社員食堂	H21.10.23
44	株式会社 テレビ岩手	盛岡市内丸2番10号	社員食堂	H21.10.23
47	株式会社 岩手めんこいテレビ	盛岡市本宮字松幅89番地	社員食堂	H21.10.23
48	社会福祉法人 つつ星会 特別養護老人ホーム 白梅荘	二戸市堀野字大畑1番地1	高齢者福祉施設	H21.10.23
49	社会福祉法人 つつ星会 白梅荘 ショートステイサービス	二戸市堀野字大畑1番地1	高齢者福祉施設	H21.10.23
50	社会福祉法人 岩手県手をつなぐ育成会 あすなる園	盛岡市下飯岡8地割106番地	障がい者福祉施設	H21.10.23
52	社会福祉法人 つくし会 特別養護老人ホーム 明生園	一関市滝沢寺下2番地1	高齢者福祉施設	H22.4.23
53	株式会社 中館建設 わがやにのへ横丁	二戸市福岡字横丁15-1	高齢者福祉施設	H22.4.23
54	社会福祉法人 日新福祉会 特別養護老人ホーム すずらんガーデン	盛岡市玉山区好摩字芋田向83-25	高齢者福祉施設	H22.4.23
55	医療法人 日新堂 介護老人保健施設 ケアホームやすみ	盛岡市玉山区好摩夏間木70-190	高齢者福祉施設	H22.4.23
56	医療法人 日新堂 八角病院	盛岡市玉山区好摩夏間木70-190	病院	H22.4.23
57	社会福祉法人 桂泉会 特別養護老人ホーム 浄心園	二戸市浄法寺町サイカツ平97-44	高齢者福祉施設	H22.4.23
60	社会福祉法人 桂泉会 身体障害者療護施設 太陽荘	軽米町大字山内12-89-7	障がい者福祉施設	H22.4.23
61	医療法人 日新堂 介護老人保健施設 ケアホーム川口	岩手町大字川口第13地割26番地6	高齢者福祉施設	H22.4.23
62	電源開発 株式会社 東和電力所	花巻市東和町谷内9区15番地	社員食堂	H22.4.23
63	社会福祉法人 駒形会 駒形こどもの杜	奥州市水沢区中上野町1-83	児童福祉施設	H22.4.23
64	社会福祉法人 桂泉会 特別養護老人ホーム くつろぎの家	軽米町大字山内第12地割字太田向96番地2	高齢者福祉施設	H22.4.23

認定No.	認定事業所名	住所	事業所区分	認定日
65	社会福祉法人 みちのく協会 ケアハウス アーベイン八幡平	八幡平市柏台2-9-3	高齢者福祉施設	H22.4.23
66	社会福祉法人 敬愛会 特別養護老人ホーム 志和荘	矢巾町大字広宮沢第1地割100番	高齢者福祉施設	H22.4.23
67	社会福祉法人 敬愛会 地域密着型介護老人福祉施設 悠和荘	矢巾町広宮沢1-2-312	高齢者福祉施設	H22.4.23
69	社会福祉法人 矢沢保育園	花巻市矢沢第9地割14番地1	児童福祉施設	H22.10.22
70	社会福祉法人 あすなろ会 かがの保育園	盛岡市加賀野4丁目18-60	児童福祉施設	H22.10.22
73	黒川産婦人科医院	盛岡市愛宕町2番51号	病院	H22.10.22
74	社会福祉法人 九戸福祉会 特別養護老人ホーム 折爪荘	九戸村大字伊保内第9地割73番地	高齢者福祉施設	H22.10.22
77	社会福祉法人 宝寿会 養護老人ホーム 宝寿荘	花巻市石鳥谷町上口1-3-3	高齢者福祉施設	H22.10.22
79	医療法人 みうら産婦人科内科医院	盛岡市下太田新堰端4番地3	病院	H23.11.25
80	花巻市老人保健施設華の苑	花巻市東和町安俵6区75番地1	高齢者福祉施設	H23.11.25
81	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町六原蟹子沢14	学校施設	H23.11.25
82	社会福祉法人麗沢会 特別養護老人ホームれいたく苑	滝沢村滝沢字高屋敷15番地	高齢者福祉施設	H23.11.25
83	社会福祉法人日新福祉会 特別養護老人ホーム ジャスミン	盛岡市玉山区洪民字泉田334番地	高齢者福祉施設	H25.12.27
84	社会福祉法人日新福祉会 特別養護老人ホーム ラベンダー	岩手町大字江川内第10地割28番地3	高齢者福祉施設	H25.12.27
85	社会福祉法人日新福祉会 養護老人ホーム 玉寿荘	盛岡市玉山区下田字石羽根99-902	高齢者福祉施設	H26.2.28
86	社会福祉法人いつつ星会 デイサービスセンターおからぎ	二戸市堀野字大河原毛89-6	高齢者福祉施設	H27.5.29
87	社会福祉法人いつつ星会 地域密着型特別養護老人ホーム白梅の森	二戸市堀野字大畑1-1	高齢者福祉施設	H27.5.29
89	社会福祉法人桂泉会 ケアハウスまべち川	二戸市金田一字上田面301-1	高齢者福祉施設	H28.4.28
90	社会福祉法人桂泉会 障がい者支援施設みやび	二戸市金田一字上田面301-2	障がい者福祉施設	H28.4.28
91	社会福祉法人桂泉会 ケアセンターいずみ	二戸市金田一字荒田110-1	高齢者福祉施設	H28.4.28
92	社会福祉法人堤福祉会 特別養護老人ホームらふたあヒルズ	大槌町吉里吉里29-21-57	高齢者福祉施設	H28.4.28
93	社会福祉法人 土沢保育園	花巻市東和町土沢2-315	児童福祉施設	H28.4.28
94	社会福祉法人ちひろ会 ぴっころ保育園	花巻市諏訪町2-4-7	児童福祉施設	H28.7.22
95	特別養護老人ホーム 北松園ハイツ	盛岡市北松園四丁目1番3号	高齢者福祉施設	H28.11
96	特別養護老人ホーム 第二松園ハイツ	盛岡市西松園二丁目5番1号	高齢者福祉施設	H28.11
98	特定非営利活動法人 里・つむぎ八幡平 まるごとケアの家 里・つむぎ	八幡平市田頭12-20	高齢者福祉施設	H29.4
100	特定非営利活動法人 里・つむぎ八幡平 有料老人ホーム ぱんたれい	八幡平市田頭22-108-4	高齢者福祉施設	H29.4
101	特定非営利活動法人 里・つむぎ八幡平 共生型グループホーム白山の里	八幡平市田頭12-18-1	高齢者福祉施設(障がい者福祉施設舎)	H29.4
102	特別養護老人ホーム りんどう苑	八幡平市八幡平市丑山口27-5	高齢者福祉施設	H29.8.24
103	北上市立鳩岡崎保育園	北上市鳩岡崎3-44-17	児童福祉施設	H29.12.11
104	北上市立二子保育園	北上市二子町鳥喰前49-6	児童福祉施設	H29.12.11
105	社会福祉法人しらゆり会 相去保育園	北上市相去町上大谷地55-3	児童福祉施設	H29.12.11
107	社会福祉法人プレイズザロード ハレルヤ保育園	滝沢市葉の木沢山555番地5	児童福祉施設	H30.4.1
108	特定非営利活動法人里・つむぎ八幡平 小規模多機能ホームくるまっこ	八幡平市田頭12-94-1	高齢者福祉施設	H30.7.12
109	社会福祉法人平和会 おにやなぎ保育園	北上市鬼柳町都鳥13-1	児童福祉施設	H31.1.11
111	北上市立口内保育園	北上市口内町新町99-1	児童福祉施設	H31.1.11
112	特定非営利活動法人里・つむぎ八幡平 障がい者グループホーム野駄の家	八幡平市野駄第18地割90番地4	障がい者福祉施設	H31.4.19
113	一般社団法人すばる 地域食堂 なつかしの家	八幡平市田頭22-108-3	その他	R1.5.15
114	社会福祉法人 川崎寿松会 特別養護老人ホーム 寿松苑	一関市川崎町薄衣字久伝26	高齢者福祉施設	R2.8.6

※認定実績: 79事業所



## (2) 給食事業における県産農林水産物等の利用状況

「いわて地産地消推進運動」や「食育」等のため、給食事業における県産農林水産物等の利用促進を図っており、県教育委員会や市町村教育委員会の協力を得て、平成 11 年度からほぼ隔年で、学校給食における県産農林水産物等の利用状況調査を行っていたところであるが、平成 20 年度から調査対象を病院給食や社会福祉施設給食等の給食事業所の給食に拡大、また平成 22 年度からは、いわて地産地消給食実施事業所にも拡大して実施した。

### 1 これまでの調査と平成 30 年度の調査の概要

#### (1) これまでの調査概要

##### ・平成 26 年度

- (ア) 調査対象 学校給食、病院給食及び社会福祉施設給食等の給食事業所並びにいわて地産地消給食実施事業所 (799 施設)
- (イ) 対象数 約 173,985 人
- (ウ) 調査方法 1 年間通して実施

##### ・平成 28 年度

- (ア) 調査対象 学校給食、病院給食及び社会福祉施設給食等の給食事業所並びにいわて地産地消給食実施事業所 (784 施設)
- (イ) 対象数 約 173,985 人
- (ウ) 調査方法 1 年間通して実施

#### (2) 平成 30 年度の調査概要

ア 調査対象 調査施設数 841 施設、回答施設数 279 施設

区分	施設数	一日あたりの提供食数	調査方法
学校	114	96,660	教育委員会を通じて調査
保育所	53	10,133	市町村を通じて調査
県立病院	20	8,435	医療局調査
公立病院	5	609	市町村を通じて調査
社会福祉施設	61	11,532	個別 (郵送) 調査
いわて地産地消給食実施事業所	26	4,521	個別 (郵送) 調査
合 計	279	131,890	

イ 調査方法 食材の全量 (重量ベース) を 1 年間通して調査

### 2 調査結果 (※数値は、重量ベースでの割合)

◎ 年度毎の県産農林水産物等利用割合の推移

(単位: %)

平成 16 年度	平成 18 年度	平成 20 年度	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 26 年度	平成 28 年度	平成 30 年度
50.5	52.6	41.9	42	42	42	58.6	61.4

(1) 県全体の利用割合 (※ 数値は重量ベースでの割合)

給食事業における県産農林水産物の利用割合は、61.4%となっている。

品目別に見ると、米及び牛乳の割合が高い状況となっている。

しかし、通年の確保が難しい野菜等や冷凍食品については、利用割合が低い状況となっている。

品目区分	利用割合	品目区分	利用割合
主食 (うち 米)	90.3% (97.3%)	全県平均	61.4%
野菜等	31.2%		
畜・水産物	49.7%		
加工品	41.5%		
冷凍食品	7.7%		
牛乳等	95.2%		
その他	19.7%		

(2) 施設区分ごとの利用割合 (※ 数値は重量ベースでの割合)

品目区分	学校	保育所	県立病院	公立病院	社会福祉施設	地産地消事業所	合計
主食 (うち米)	94.1% (99.9%)	69.9% (96.6%)	89.2% (98.8%)	29.1% (30.2%)	81.2% (87.4%)	86.5% (99.1%)	90.3% (97.3%)
野菜等	35.7%	25.4%	20.4%	16.5%	19.4%	30.6%	31.2%
畜・水産物	58.4%	66.5%	31.4%	5.9%	20.7%	41.6%	49.7%
加工品	54.3%	44.7%	8.6%	0.0%	13.0%	30.8%	41.5%
冷凍食品	10.4%	1.8%	0.2%	0.0%	0.9%	0.8%	7.7%
牛乳	99.0%	83.1%	52.2%	48.1%	46.9%	94.8%	95.2%
その他	20.3%	6.8%	0.0%	76.3%	20.7%	1.4%	19.7%
合計	69.5%	48.6%	33.8%	16.3%	33.5%	48.8%	61.4%

### 3 学校給食における県産食材の利用状況

学校給食については、平成14年度以降、隔年で調査を行ってきている。県産食材利用割合は、69.5%に増加している。

品目区分	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度
主食	84.3%	85.9%	93.1%	94.1%
野菜等	33.9%	33.6%	34.6%	35.7%
畜・水産物	51.8%	53.8%	54.2%	58.4%
加工品	47.7%	49.5%	48.8%	54.3%
冷凍食品	8.7%	10.7%	11.4%	10.4%
牛乳	—	—	99.6%	99.0%
合計	46.9%	47.5%	66.2%	69.5%

※令和2年度の調査結果は令和3年秋公表予定

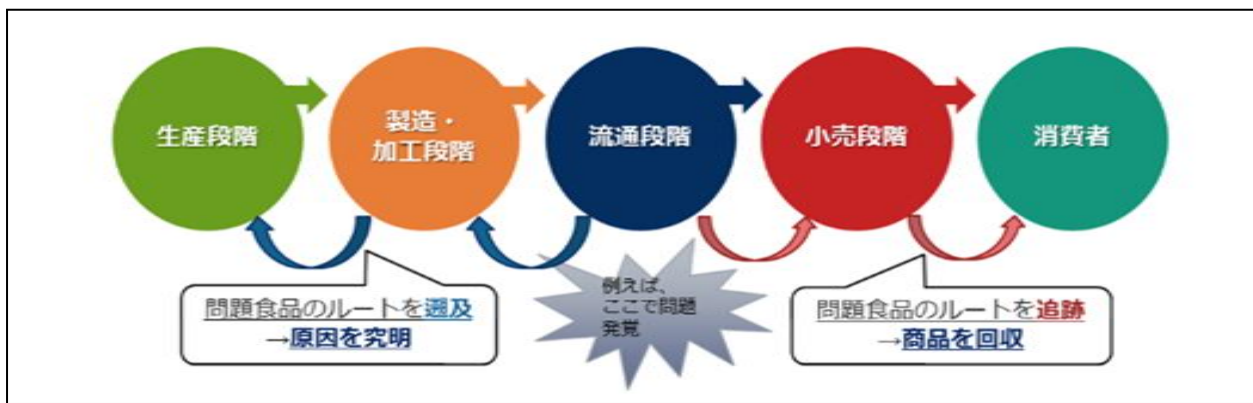
## 4 食の安全・安心

### (1) 食品のトレーサビリティについて

#### 1 食品トレーサビリティとは

「食品の移動を把握できること」です。各事業者が食品を取扱った際の記録を作成し保存しておくことで、食中毒など健康に影響を与える事故等が発生した際に、問題のある食品がどこから来たのかを調べ（遡及）、どこに行ったかを調べ（追跡）することができます。

現在、「牛肉」及び「米穀等」の取扱いについて、法律によりトレーサビリティに係る取組みが義務付けられています。



(本文及び図は農林水産省HPから抜粋)

#### 2 「牛肉」のトレーサビリティ制度

- 平成15年6月11日「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する法律」が制定され、牛肉の取扱いに係るトレーサビリティが義務付け。
- 国内で生まれた全ての牛と輸入牛に10桁の個体識別番号が印字された「耳標」を装着。
- 個体識別番号によって、その牛の性別、種別（黒毛和種など）、出生から肥育を経て、と畜、解体処理まで、その飼養地などを「データベースに記録」。
- 牛肉となってからは、枝肉、部分肉、精肉と加工され、流通されていく過程で、その販売業者などが「個体識別番号を表示」、「仕入れの相手先などを帳簿に記録保存」。
- これにより、牛肉の出生から消費者に提供されるまでの生産流通履歴の把握が可能となっています。



#### 【いわて牛トレーサビリティシステム】

- 県では、平成14年2月22日から、全国に先駆けて、県内産の肉牛でかつ(株)いわちくで処理された牛肉について、量販店の店頭やホームページを通じて生産履歴情報を提供する「いわて牛トレーサビリティシステム」を導入。
- 平成15年12月1日からは、対象が県外出荷牛を含めた県産牛全頭に拡大。
- 平成20年8月1日には、インターネットを通じて各事業者が登録できるシステムに修正。生産者の顔写真入りのトレーサビーフカードが登録できるなど販売促進に活用できるシステムに拡充。



(いわて牛トレーサビリティシステムホームページ <http://www.iwategyu-tbc.jp/>)

### 《TBC (Trace Beef Card) の公開頭数》

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
県外と畜	1,616	1,343	1,502	286	344	97
県内と畜	19,090	18,160	15,801	16,919	15,531	16,164
総数	20,706	19,503	17,303	17,205	15,875	16,261

### 《ホームページアクセス状況》

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
アクセス数	19,107	22,935	20,313	15,392	27,436	35,239

## 3 「米」のトレーサビリティ制度

- 平成21年4月24日「米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律（以下、米トレーサビリティ法）」が制定され、米穀等の取扱いにおけるトレーサビリティが義務付け。
- 米・米加工品を、①取引、②事業所間の移動、③廃棄などを行った場合には、その記録を保存（平成22年10月1日施行）。

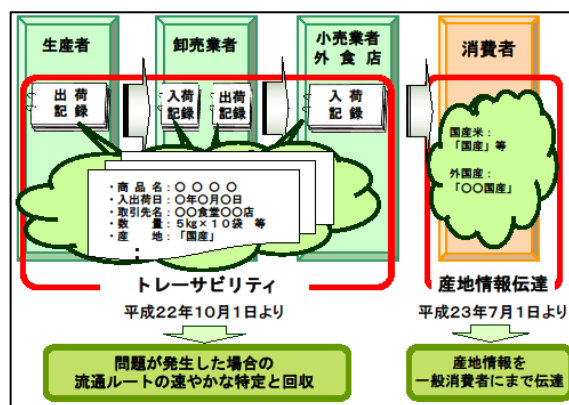
品目：米穀（玄米・精米等）、米粉や米こうじ等の中間原材料、米飯類、もち、だんご、米菓、清酒等

事業者：生産者を含め、対象品目となる米・米加工品の販売、輸入、加工、製造又は提供の事業を行う全ての者

記録事項：品名、産地、数量、年月日、取引先名、搬出入の場所等

- 米・米加工品を他の事業者へ譲り渡す場合には、伝票等又は商品の容器・包装への記載により産地情報を伝達。また、一般消費者へ販売、提供する場合にも産地情報を伝達（平成23年7月1日施行）。

※ 玄米・精米、もち（一部）のように、JAS法で原料原産地表示の義務がある場合は、JAS法により表示。



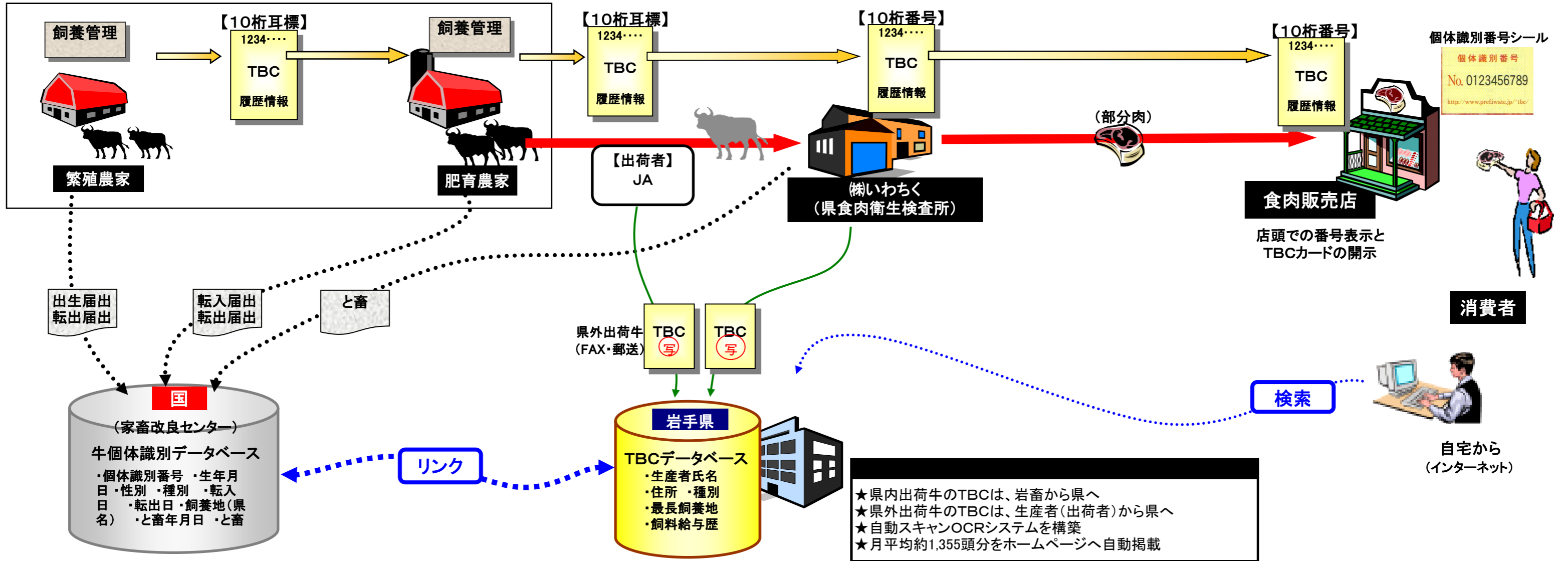
## 4 その他の食品に係るトレーサビリティ制度

- 「米トレーサビリティ法」の附則において、同法の実施状況を踏まえて、
  - ① 飲食料品の、仕入先、仕入日、販売先、販売日等の取引等に係る基礎的な情報についての記録の作成及び保存や緊急時における国等への情報提供
  - ② 加工食品の主要な原材料の原産地表示を義務付けることについて、検討を加え、必要な措置を講じることとされている。

# いわて牛トレーサビリティシステム(岩手県)

15.12.15作成  
 25.6.25一部修正  
 26.6.13一部修正  
 27.6.09一部修正  
 28.6.08一部修正  
 29.6.06一部修正  
 30.5.30一部修正  
 01.6.07一部修正  
 02.8.18一部修正  
 03.8.23一部修正

- 県内で肥育生産・出荷される全ての牛(廃用牛含む。県外出荷牛含む。)
- 他県産であっても、いわちくに出荷される全ての牛
- 年間対象頭数 34千頭 = 県産牛30千頭 + いわちく取扱他県産牛4千頭  
 (現行公表頭数は年間16千頭。いわちくと畜のすべてと県外と畜の一部。)



・牛飼養農家 = 肉牛4,060戸 + 酪農835戸 = 4,895戸  
 ・牛総頭数 = 肉牛91,100頭 + 乳牛41,600頭 = 132,700頭  
 ・TBCの記帳(飼料給与履歴等)及び保管と異動時の伝達、出荷時の県への提出を徹底

■ 法令義務  
 ・ 个体識別番号(耳標)を装着  
 ・ 出生年月日、性別、転入転出等の情報を、各農家の責任で国へ届出

・JAは農家の生産履歴記帳を指導  
 ・飼料給与等適正化指導  
 ・TBC作成指導  
 ・県外出荷は県へTBC提出

■ 法令義務  
 ・ 10桁番号の伝達

・いわちく社内では枝肉、部分肉全てを10桁番号管理  
 ・TBCの徹底と県への提出

■ 法令義務  
 ・ 10桁番号の伝達  
 ・ と畜情報の国届出と保管  
 ・ 販売記録の保管

・枝肉、部分肉とともに番号伝達

■ 法令義務  
 ・ 10桁番号伝達  
 ・ 販売記録の保管

・食肉販売店では、バーコードから10桁番号に再変換  
 ・ 裁断肉を個体ごとに管理、TBCの店頭掲示

■ 法令義務  
 ・ 牛肉パックに10桁番号シールを貼付(HPアドレス付き)  
 ・ 対面販売では、10桁番号をショーケースに掲示  
 ・ 仕入・販売情報の記録と保管

## (2) 特別栽培農産物について

単位:ha、t

作目	27年度(実績)		28年度(実績)		29年度(実績)		30年度(実績)		令和元年度(実績)	
	面積	数量	面積	数量	面積	数量	面積	数量	面積	数量
水稲	9,849.2	42,187.0	9,367.6	39,221.9	8,978.9	34,044.1	8,958.4	31,681.9	8,141.9	28,323.1
野菜	17.3	186.2	21.3	107.6	1.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
果樹・畑作物	196.3	1,230.9	150.9	774.0	189.7	1,054.3	144.9	834.8	182.2	1,132.7
合計	10,062.9	43,604.2	9,539.8	40,103.5	9,169.6	35,098.5	9,103.3	32,516.7	8,324.1	29,455.8

※特別栽培農産物は、県の認証機関の取り扱いを対象として集計(ガイドラインに基づき、独自で運用しているものは含まない)。

## 5 コンクール結果

### (1) 岩手県ふるさと食品コンクール

県においては、県内の6次産業化や農商工連携を推進するため、県産農林水産物を活用した加工食品のコンクールを毎年開催しています。

28年度からイベント名称を「岩手うんめえ〜もん！！グランプリ」とし、商品の審査だけでなく、消費者が参加するイベントとして、多くの消費者と交流しながら積極的に商品のPRを行っています。

#### 1 表彰式開催日

令和2年9月10日（木）

#### 2 開催場所

イオンモール盛岡1階イーハトーブ広場

#### 3 出品要件及び出品部門

##### (1) 出品要件

- ① 岩手県産農林水産物を主原料とし、県内で製造又は加工の最終段階が行われた加工食品であること。
- ② 既に販売又は販売を予定している加工食品であること（学校部門は除く。）。
- ③ 食品表示法、不当景品類及び不当表示防止法、計量法等関係法規に違反しないこと。
- ④ 特許権や商標権等の権利を侵害していないこと。
- ⑤ 本グランプリにおいて、過去に入賞したことのない加工食品であること。
- ⑥ アルコール飲料の出品は認めないこと。

##### (2) 出品部門

- ① 6次産業化部門
- ② 農商工連携部門
- ③ 学校部門

#### 4 応募総数

49件

#### 5 審査結果

##### (1) 最優秀賞（岩手県知事賞）

###### 【6次産業化部門】

西わらび入蕎麦／(株)西和賀産業公社（西和賀町）

##### (2) 優秀賞（いわて農林水産振興協議会長賞）

###### 【農商工連携部門】

ごま摺りゆめソフトmixアイス／(株)松栄堂（一関市）

###### 【学校部門】

タラとポム〜宮古の真鱈とリンゴのガーリックバジル風味〜／宮古水産高等学校食品家政科（宮古市）

##### (3) 優良賞（いわて農林水産振興協議会長賞）

###### 【6次産業化部門】

ミニフランクフルト【和風】／館ヶ森アーク牧場（一関市）

しあわせ牧場アイスクリームセット（牛/山羊/羊）／しあわせ乳業(株)（宮古市）

###### 【農商工連携部門】

岩手短角和牛セシーナ／(株)肉のふがね（岩手町）

山田ふるさと和スイーツあずきぱっとう／釜揚げ屋（山田町）

###### 【学校部門】

南部あげぱん／菜園調理師専門学校（盛岡市）

あわびえパウンドケーキ／花巻農業高等学校3年C組お菓子班（花巻市）

(3) 特別賞（お取り寄せしたいで賞）

【農商工連携部門】

The BREWERS HIRAIZUMI SANSUCO／世嬉の一酒造(株)（一関市）

岩手短角和牛セシーナ／(株)肉のふがね（岩手町）

【6次産業化部門】

しあわせ牧場アイスクリームセット（牛/山羊/羊）／しあわせ乳業(株)（宮古市）



## 6 その他

### (1) 岩手県ふるさと食品認証状況について

#### ① ふるさと認証食品とは

次の3つの基準に適合する商品であること。

- ア 主要原材料は岩手県産100%であること
- イ 生産された工場等が岩手県内であること
- ウ 食品としての品質が優れていること



#### ② 認証商品一覧（令和3年7月末現在）

No	所管振興局	対象品目	認証商品（生産者等）
1	盛岡	トマトジュース	雫石トマトジュース（新岩手農協）
2	盛岡	りんごジュース	りんごジュース（岩手中央農協）
3	盛岡	湯通し塩蔵わかめ	岩手わかめ（県漁連）
4	盛岡	豆腐	いわてもめん（（有）平安商店）
5	盛岡	豆腐	岩手県産大豆使用焼豆腐（（有）平安商店）
6	盛岡	豆腐	いわて絹ごし（（有）平安商店）
7	盛岡	豆腐	岩手県産大豆使用手揚げ（（有）平安商店）
8	盛岡	小麦粉	南部小麦粉（東日本産業㈱）
9	県南	しょうゆ	岩手名産生醤油（（株）佐々長醸造）
10	県南	天然醸造米みそ	岩手田舎みそ本蔵出し（（株）佐々長醸造）
11	県南	豆腐	岩手の恵み もめん豆腐（（有）大内商店）
12	県南	納豆	岩手の恵み 経木納豆（（有）大内商店）
13	県南	納豆	岩手の恵み 小粒納豆（（有）大内商店）
14	県南	納豆	花巻納豆 県産中粒 90g（（有）大内商店）
15	県南	納豆	花巻納豆 ひきわり 70g（（有）大内商店）
16	県南	りんごジュース	岩手ふるさとりんごジュース（岩手ふるさと農協）
17	県南	納豆	いさわ納豆豆太郎（岩手ふるさと農協）
18	沿岸	りんごジュース	りんごジュース（ストレート）（おおふなと農協）
19	沿岸	りんごジュース	いわいずみりんごジュース（新しいわて農協）
20	沿岸	冷凍魚・いかフライ	三陸産真いかの唐揚げ（（株）ナカシヨク）
21	沿岸	冷凍魚・いかフライ	三陸産わかめの唐揚げ（（株）ナカシヨク）
22	県北	ぶどうジュース	山のきぶどう（（株）佐幸本店）
23	県北	干し柿	山口柿の干し柿（株式会社米内造園）
24	県北	干し柿	山口柿の干し柿（木村晴子）
25	県北	ぶどうジュース	小鳥谷ぶどうジュース（新岩手農協）
26	県北	りんごジュース	カシオペアりんごジュース（新岩手農協）
		11品目	26商品

(2) 県内の認定を受けた卸売市場について

市町村名	市場名	区分	取扱品目			開設者	卸売市場住所	開設者電話番号
			青果	水産	花き			
盛岡市	盛岡市中央卸売市場	中	○			盛岡市 (盛岡市中央卸売市場)	〒020-8567 盛岡市羽場10地割100番地	019-614-1000
盛岡市	(株)盛岡生花地方卸売市場	地			○	(株)盛岡生花地方卸売市場	〒020-8567 盛岡市羽場10地割100番地3	019-639-3331
花巻市	花巻市公設地方卸売市場	地	○			花巻市 (商工観光部商工労政課)	〒025-8601 花巻市花城町9-30	0198-24-2111
金ヶ崎町	地方卸売市場メフレ	地		○		メフレ(株)	〒029-4501 胆沢郡金ヶ崎町六原下二の町210	0197-41-9111
金ヶ崎町	(株)岩手県南青果地方卸売市場	地	○			(株)岩手県南青果市場	〒029-4501 胆沢郡金ヶ崎町六原下二の町215	0197-41-9088
一関市	地方卸売市場一印一関青果卸売(株)	地	○			地方卸売市場一印一関青果卸売(株)	〒021-0812 一関市字樋渡25-1	0191-26-4511
大船渡市	地方卸売市場大船渡青果(株)	地	○			地方卸売市場大船渡青果(株)	〒022-0002 大船渡市大船渡町字中港3-1	0192-26-5181
大船渡市	地方卸売市場大船渡魚市場	地		○		大船渡市 (農林水産部水産課)	〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢15	0192-27-3111
釜石市	地方卸売市場釜石市魚市場	地		○		釜石市 (産業振興部水産農林課水産振興係)	〒026-8686 釜石市只越町三丁目9番13号	0193-22-2111
大槌町	新おおつち漁協地方卸売市場	地		○		新おおつち漁業協同組合	〒028-1101 上閉伊郡大槌町吉里吉里二丁目1-13	0193-44-2321
宮古市	地方卸売市場宮古市魚市場	地		○		宮古市 (産業振興部水産課)	〒027-8501 宮古市宮町一丁目1番30号	0193-62-1234
宮古市	地方卸売田老魚市場	地		○		田老町漁業協同組合	〒027-0307 宮古市田老3丁目2番1号	0193-87-2004
山田町	山田漁連地方卸売市場	地		○		山田漁業協同組合連合会	〒028-1343 下閉伊郡山田町境田町138	0193-82-4111
山田町	船越湾漁協地方卸売市場	地		○		船越湾漁業協同組合	〒028-1371 下閉伊郡山田町船越13-104	0193-84-2121
久慈市	地方卸売市場(株)久慈物産市場	地	○			(株)久慈物産市場	〒028-0051 久慈市川崎町5-10	0194-52-3737
久慈市	地方卸売市場久慈市営魚市場	地		○		久慈市 (産業経済部林業水産課)	〒028-0051 久慈市川崎町1-1	0194-52-2111
洋野町	地方卸売市場種市魚市場	地		○		種市漁業協同組合	〒028-7914 九戸郡洋野町種市22-133-1	0194-65-4551
洋野町	地方卸売市場洋野町営八木魚市場	地		○		洋野町 (水産商工課)	〒028-7995 九戸郡洋野町種市23-27	0194-65-2111
野田村	野田村漁協地方卸売市場	地		○		野田村漁業協同組合	〒028-8201 九戸郡野田村大字野田27-73	0194-78-2171
普代村	普代村漁業協同組合地方卸売市場	地		○		普代村漁業協同組合	〒028-8332 下閉伊郡普代村第9地割字銅屋31-4	0194-35-3111

### (3) 地域団体商標の取得状況について

#### 1 地域団体商標について

地域団体商標は、地域ブランドを適切に保護することにより、事業者の信用の維持を図り、産業競争力の強化と地域経済の活性化を支援することを目的とした制度で、平成18年4月1日より施行された。

地域ブランド化に向けた取組みは、地域イメージのブランド化を通じてさらに地域ブランドの価値を上げるという好循環を生み出し、地域外の資金・人材を呼び込むことになり、地域経済の持続的な活性化につながると期待される。

#### 2 地域団体商標の主な要件について

(1) 出願できるのは以下のとおり。

ア 地域の事業協同組合、農業協同組合等の組合

イ 商工会、商工会議所

ウ 特定非営利活動法人(NPO 法人)

※これらに相当する外国の法人を含む

(2) 団体の構成員に使用させる商標であること。

(3) 出願商標の周知性があること。

- ・出願商標が商品(役務)に使用されている実態があること。
- ・出願商標を商品(役務)に使用して、一定程度知られている。

(4) 地名と商品(役務)に密接な関係があること(商品の産地、主要原料の産地など)。

- ・地域団体商標の対象 = 地域名 + 商品(役務)の普通名称又は、商品(役務)の慣用名称

#### 3 本県の登録状況

本県では、農林水産物(下記)6件と「南部鉄器」が登録。

登録商標	出願人	登録日
いわて牛	全国農業協同組合連合会	平成19年3月2日(第5029319号)
いわて短角和牛	全国農業協同組合連合会	平成19年3月2日(第5029320号)
江刺りんご	岩手江刺農業協同組合	平成20年1月18日(第5106022号)
真崎わかめ	田老町漁業協同組合	平成20年2月8日(第5109632号)
岩泉まつたけ	岩泉まつたけ事業協同組合	平成29年3月7日(第5931806号)
八幡平マッシュルーム	企業組合八幡平地熱活用プロジェクト	令和2年10月8日(第6301510号)

#### 【参考:1】 東北各県の取組み (令和3年7月末現在)

	青森県	秋田県	宮城県	山形県	福島県
出願	22件	18件	14件	25件	17件
登録	12件	11件	6件	11件	10件

#### 【参考:2】 全国の状況 (特許庁 HP)

これまで、全国で1,285件の出願があり、このうち727件が登録査定済みとなっている。

<https://www.jpo.go.jp/system/trademark/gaiyo/chidan/shoukai/ichiran/index.html#mokuji>